

(通巻第 29 号)

平成 30 年度事業報告書

社会福祉法人 福栄会

目 次

法人事業報告（概況）	1
事務部事業報告	5
総務課	14
栄養課	20
高齢者福祉部事業報告	33
晴楓ホーム	34
東海ホーム	49
在宅サービス課	57
東品川在宅介護支援センター・大崎在宅介護支援センター	60
在宅サービスセンター	63
品川区ヘルパーステーション東品川	77
福栄会リハビリテーションセンター	79
東品川わかくさ荘	81
障害者福祉部事業報告	85
第一しいのき学園	87
第二しいのき学園	96
品川区立西大井福祉園	106
品川区立西大井つばさの家	116
グループホーム森前	121
グループホーム金子山	125
品川区立かがやき園	129
南品川むつみ園	140
福栄会障害者相談支援センター	149
かもめ第一・第二・第三工房	152
品川区精神障害者地域生活支援センター	160
家庭あんしんセンター	163
品川区ひまわり荘	164
品川区子育て支援センター	167
品川区子育て短期支援事業	169
平塚ファミリー・サポート・センター	171
平塚きぼう荘	172
品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設	183

平成30年度 法人事業報告（概況）

社会福祉法人福栄会は、高齢者福祉事業、障害者福祉事業及び児童福祉事業についての総合社会福祉施設としてサービスの質的向上を図る一方、健全な法人経営を行いながら、利用者やご家族を始め、地域の期待に応えられるようそれぞれの事業分野において、サービスの充実に積極的に取り組みました。

平成30年度の主な成果

- （１）利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、「福栄会3か年計画」に基づき計画的に事業を執行しました。
- （２）地域社会から一層信頼される法人となるため、地域貢献活動の充実に取り組みました。
- （３）知的障害者就労継続支援B型施設の開設については適切な物件がない中、既存施設の利用率減少のため、今後の利用率の動向を十分に見極めます。
- （４）社会経済状況の変化に対応し人事・給与制度を抜本的に見直すとともに、「福栄会キャリアパス」に基づく体系的な研修等により、質の高い人材の確保・育成に努めました。
- （５）施設・設備の改善をさらに進め、利用者にとってより快適な生活環境と職員にとって働きやすい職場づくりに取り組みました。
- （６）堅実な法人運営を行うために、高齢者介護施設、障害者支援施設の利用率の安定・向上に取り組みました。

実績：特別養護老人ホーム100.5%

通所介護施設 85.5%

障害者支援施設 89.5%

- （７）品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設「平塚ゆうゆうプラザ」について、運営事業者のプロポーザルに参加し、選定を受けたことにより、平成31年3月の円滑な開設に取り組みました。

事務部事業報告 目次

事務部事業報告	5
1. 基本方針	5
2. 重点目標	5
3. 地域貢献活動について	5
4. 会議について	6
5. 研修について	10
6. 防災計画について	11
7. 施設設備管理の点検強化	11
8. 苦情解決について	11
 総務課事業報告	 14
1. 基本方針の遵守	14
2. 重点目標への対応	14
3. 事務の執行	14
4. 地域貢献活動	15
5. 防災対策	15
6. 防犯対策	16
7. 施設管理（営繕）体制	16
8. 広報	16
9. 職員について	17
10. その他	19
 栄養課事業報告	 20
1. 基本方針の遵守	20
2. 重点目標への対応	20
3. サービスの実際	20
4. 各施設との連携	22
5. 防災・その他非常時対策	22
6. 連絡調整・諸会議	23
7. 厨房設備等の更新	23
8. 給食状況報告	24
9. 特別献立実施状況	27
10. 給食委員会実施状況	29

事務部事業報告

1. 基本方針

社会福祉法人についての制度改正に基づき、法人事務局として法人役員や職員・関係者が主体的に関与を行ない意思決定が円滑に行い、適正かつ効率的な事業の執行を支援しました。

2. 重点目標

- (1) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、「福栄会3か年計画」に基づき既存事業の見直しを行い、新たな事業展開、施設改修等、計画的に事業を運営しました。特に第三期中期修繕計画にともなう本部建物の大規模修繕について品川区・東京都・関係機関と連携を図り実施しました。
- (2) 平成31年3月に新たに開設した平塚高齢者多世代交流支援施設「平塚ゆうゆうプラザ」について安定した運営が出来るよう主管部と連携して取り組みました。
- (3) 「福栄会キャリアパス」に基づく体系的な研修等により、質の高い人材の確保・育成に取り組むとともに、職場環境の改善に努めました。

3. 地域貢献活動について

- (1) 平成30年度 第26回「福栄会まつり」は、地元品川女子学院のマーチングバンドの出演を頂き、晴れやかな演奏と共に開催しました。また、会場内に東日本大震災被災支援の義援金を募り、総額「26,229円」を品川区を通じて品川区と災害時の相互援助協定を結んでいる地域（岩手県宮古市）へお届けしました。当日は地域と共に開催することを目標に掲げ、中庭と本部2階の2ヶ所にステージを設けると共に、58団体、57店舗のご出演・ご出店協力をしていただき、約2,000人の参加者に来所いただきました。
- (2) 在宅の高齢者、障害者、児童等及びその家族の福祉の向上と、在宅福祉の推進のための社会福祉施設地域開放事業として、福栄会の各施設にある作業室や訓練室・介護者教室や食堂、会議室等を町会等地域5団体に延べ51日間貸出しました。上記の他、テントや綿あめ機等行事物品を9団体に10回貸出す他、近隣の町会祭等開催時には本部施設の敷地を臨時駐車場として無料開放しました。また、11月には本部施設中庭において炊き出し訓練を兼ねたサンマ祭を開催し、宮古より取り寄せたサンマ350尾を近隣地域や保育園児の皆様に提供させていただきました。
- (3) 品川菜園（清水橋資材置き場）では、品川区立西大井福祉園利用者等がジャガ

イモ等を栽培し、収穫祭には地域の方々も参加され、豚汁やおにぎり等の無料配布も行いました。

- (4) 地域の市民5団体88名の視察を受け入れ福祉施設の概況説明を行いました。また、近隣町会の高齢者クラブには東品川在宅サービスセンターや東海ホーム職員と共に町会会館にお弁当を配達し、月4回の交流会を開催しました。
- (5) 折り紙ボランティアによる余暇活動を月2回、地域交流サロンを月4回開催し、誰でも参加できる交流会を行いました。また、福栄会まつりや秋のさんま祭り等、法人の行事にもボランティアの積極的な受け入れを行い、地域福祉の拠点として活動を行いました。

4. 会議について

(1) 理事会開催状況

- | | |
|--------|---|
| 第1回理事会 | 平成30年5月29日(火) |
| 第1号議案 | 平成29年度事業報告について |
| 第2号議案 | 平成29年度指定管理業務事業報告について |
| 第3号議案 | 平成29年度決算について |
| 第4号議案 | 平成30年度定時評議員会の開催について |
| 第5号議案 | 指定通所介護等事業東品川在宅サービスセンター運営規程の改正について |
| 第6号議案 | 指定通所介護等事業品川区立大崎在宅サービスセンター運営規程の改正について |
| 第7号議案 | (介護予防)訪問介護運営規程(品川区ヘルパーステーション東品川)の改正について |
| 第8号議案 | 品川区ヘルパーステーション東品川(居宅介護・重度訪問介護・行動援護)運営規程の改正について |
| 第9号議案 | 平塚高齢者多世代交流支援施設の運営事業者の応募について |
| 報告事項 | ①理事長及び業務執行理事(常務理事)業務執行状況報告
②平成31年度職員採用計画について
③平成30年度契約の締結について
④第3期修繕計画に基づく大規模改修について
⑤第三者評価の結果について
⑥ボランティア懇談会について
⑦その他 |
| 第2回理事会 | 平成30年8月28日(火) |
| 第1号議案 | 社会福祉法人福栄会理事候補者の選任について |
| 第2号議案 | 平成30年度第2回評議員会の開催について |
| 報告事項 | ①平塚高齢者多世代交流支援施設運営事業者選考結果について
②苦情解決・サービス向上第三者委員並びに虐待防止第三者委員の変更について |

- ③第15回福栄会秋のさんま祭りについて
- ④第6回西大井オータムフェスティバルについて
- ⑤第12回品川菜園秋の収穫祭について
- ⑥その他

第3回理事会 平成30年10月9日（火）

- 第1号議案 晴楓ホーム運営規程の改正について
- 第2号議案 指定通所介護等事業東品川在宅サービスセンター運営規程の改正について
- 第3号議案 東品川在宅サービスセンター（併用型指定介護予防認知症対応型通所介護及び併用型指定認知症対応型通所介護）運営規程の改正について
- 第4号議案 指定通所介護等事業品川区立大崎在宅サービスセンター運営規程の改正について
- 第5号議案 品川区立大崎在宅サービスセンター（単独型指定介護予防認知症対応型通所介護及び単独型指定認知症対応型通所介護）運営規程の改正について
- 第6号議案 指定訪問介護等事業品川区ヘルパーステーション東品川運営規程の改正について
- 第7号議案 品川区精神障害者地域生活支援センター運営規程の改正について
- 第8号議案 社会福祉法人福栄会会計監査人候補者選定に係る公募型プロポーザルについて
- 第9号議案 平成30年度第1回補正予算について
- 報告事項 ①平成30年度東品川在宅サービスセンター地域ミニデイ「東品川ふくふく」の新規実施について
②平成30年度本部建物の設備改修及び備品更新計画について
③その他

第4回理事会 平成30年12月14日（金）

- 第1号議案 平成31年度運営計画について（意見交換）
- 第2号議案 社会福祉法人福栄会定款の変更案の承認について
- 第3号議案 品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設の管理運営に関する基本協定の締結について
- 第4号議案 品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設の指定管理料に関する年度協定の締結について
- 第5号議案 平成30年度品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業計画（案）の承認について
- 第6号議案 社会福祉法人福栄会 評議員、役員等の報酬及び費用弁償に関する規程（案）の承認について
- 第7号議案 平成30年度第3回（第95回）評議員会の開催について
- 第8号議案 社会福祉法人福栄会人事・給与制度改革報告の承認について

第9号議案 平成30年度第2回補正予算の承認について

- 報告事項
- ①理事長及び常務理事の業務執行状況報告について
 - ②平成30年度上半期実績報告について
 - ③平成30年度第2回苦情解決・サービス向上委員会について
 - ④平成30年度第2回虐待防止対策委員会について
 - ⑤社会福祉法人福栄会会計監査業務に係る予備調査業務契約について
 - ⑥その他

第5回理事会 平成31年2月19日（火）

- 第1号議案 品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設（介護予防支援事業等）運営規程の制定について
- 第2号議案 品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設（生活支援型一時保育「オアシスルーム」）運営規程の制定について
- 第3号議案 品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設（地域交流室「ポップンルーム」）運営規程の制定について
- 第4号議案 組織管理規程の改正について
- 第5号議案 就業規則の改正について
- 第6号議案 経理規程の改正について
- 第7号議案 建造物等管理規程の改正について
- 第8号議案 東京都実地検査に係る指摘事項への対応（品川区立かがやき園）
- 第9号議案 平成31年度第4回（第96回）評議員会の開催について

- 報告事項
- ①東京都監査委員による平成30年財政援助団体等監査講評について
 - ②品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設について（施設見学）
 - ③その他

第6回理事会 平成31年3月19日（火）

- 第1号議案 平成30年度第3回補正予算（案）について
- 第2号議案 平成31年度事業計画（案）について
- 第3号議案 平成31年度指定管理事業計画（案）について
- 第4号議案 平成31年度当初予算（案）について
- 第5号議案 平成31年度契約の締結について
- 第6号議案 就業規則の改正について
- 第7号議案 給与規程の改正について
- 第8号議案 準職員就業規則の改正について
- 第9号議案 登録訪問介護職員就業規則の改正について
- 第10号議案 幹部職員の任免について

- 報告事項
- ①平成30年度職員採用試験結果について
 - ②子ども食堂について
 - ③第27回福栄会まつりの開催について
 - ④その他

(2) 評議員会開催状況

平成30年度定時評議員会 平成30年6月19日（火）

第1号議案 平成29年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録について

報告事項 ①平成29年度事業報告について
②平塚高齢者多世代交流支援施設の運営事業者の応募について

第2回評議員会 平成30年9月20日（木）

第1号議案 社会福祉法人福栄会理事の選任について

報告事項 ①平塚高齢者多世代交流支援施設運営事業者選考結果について
②苦情解決・サービス向上第三者委員並びに虐待防止第三者委員の変更について
③第15回福栄会秋のさんま祭りについて
④第6回西大井オータムフェスティバルについて
⑤第12回品川菜園秋の収穫祭について
⑥その他

第3回評議員会 平成31年1月17日（木）

第1号議案 社会福祉法人福栄会定款変更の承認について

第2号議案 社会福祉法人福栄会 評議員、役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の承認について

報告事項 ①品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設の開設準備状況について
②その他

第4回評議員会 平成31年3月19日（火）

報告事項 ①平成31年度事業計画について
②平成31年度当初予算について
③幹部職員の任免について
④子ども食堂について
⑤第27回福栄会まつりの開催について
⑥その他

(3) 会議開催状況

運営会議	毎月第1、3木曜日開催
係長・主任会議	毎月第1火曜日開催
安全衛生委員会	毎月第4月曜日開催
防災委員会	毎月奇数木曜日開催
給食委員会	毎月第1水曜日開催
人事給与検討委員会	毎月第1、3木曜日開催

5. 研修について

福栄会キャリアパスに基づき管理職・中間指導職の職層毎に、法人経営研修、経営基礎研修を実施し、人材の育成を図りました。

(1) 管理職研修開催状況

法人管理職に対し法人経営研修として8月25日（土）に第5期品川区障害者福祉計画についての研修及び福栄会3か年計画の実施状況について理事長への報告を行い、15名の職員が参加しました。

(2) 中間指導職研修開催状況

主任・係長職に対し法人経営基礎研修として11月10日（土）・12月1日（土）に職場のメンタルヘルスについて研修を行い、42名の職員が参加しました。

(3) 新任職員フォローアップ研修

平成30年度に採用した職員に対し、10月2日（火）に新任職員フォローアップ研修を行い、12名の職員が参加しました。

(4) 現任研修（実務研究発表）

全職員を対象として、11月17日（土）に実務研究発表を行い、44名の職員が参加しました。

(5) 海外研修

①12月2日（日）～12月8日（土）の間、スウェーデンのストックホルムへの海外研修に1名の職員が参加し、海外の高齢者福祉状況等を視察しました。視察結果を実務研究で発表し、研修成果を共有しました。

②3月16日（土）～3月23日（土）の間、イタリアのトリエステへの海外研修に1名の職員が参加し、海外の精神医療施設等を視察しました。

(6) 法人研修

①全職員を対象として、6月13日（水）・19日（火）に虐待防止研修を行い、180名の職員が参加しました。

②全職員を対象として、11月28日（水）に感染症予防研修を行い、95名の職員が参加しました。

③全職員を対象として、7月20日（金）にメンタルヘルス研修を行い、99名の職員が参加しました。

④全職員を対象として、次のとおり防犯研修を行いました。

本部建物 : 8月23日（木） 63名参加。

かがやき園 : 7月18日（水） 30名参加。

あんしんセンター : 9月18日（火） 15名参加。

⑤運転従事員を対象として、11月13日（水）に安全運転講習を行い、54名の職員が参加しました。

(7) 資格取得研修

介護福祉士	4名合格
社会福祉士	5名合格
精神保健福祉士	2名合格
上級救命講習	3月22日(金)
上級救命再講習	1月31日(木)・2月27日(水)

(8) 採用前研修

全体研修	3月22日(金)～26日(火)
現場研修	3月27日(水)～29日(金)

6. 防災計画について

利用者の安全を確保するため、毎月1回の防災避難訓練を実施すると共に、近隣町会との応援協定書について緊急連絡網を見直しました。

7. 施設設備管理の点検強化

法人本部建物を始め、品川区より受託管理している各建物について専門管理業者と共に適正な維持管理に努めました。また、本部建物の厨房改修工事を行いました。

8. 苦情解決について

利用者サービスの向上・充実を図るため第三者委員による内部検査を実施し、利用者の立場になって業務を点検し、改善を図りました。平成30年度は 6月28日(木)、11月27日(火)に委員会を実施し、以下のとおり対応しました。

<平成30年度苦情内容>

施設名	苦情内容	対応
福栄会障害者相談支援センター	5月16日に福栄会障害者相談支援センターA相談員と区の新しいB相談員(生保・障害の2名)の訪問(C利用者)を受けた。その直前にC利用者は訪問看護による排便介助を行っており、匂いの残る中での訪問により、恥ずかしさを感じた。配慮のない相談員であり、担当者を変更してほしい。	①5月16日、電話による相談を苦情申立人(身元保証人)から相談センター所長が受けた。担当者交代の要請は「もう少し担当者も対応を改善し、関係修復を図ること」と提案し断った。 ②C利用者から心身障害者福祉会館の利用時に交流のあった、品川区重症心身障害者を守る会会長に電話相談があり、会長が6月11日に自宅訪問し、相談を受けた。担当者変更の要請理由が以前からの積み重ねによる信頼関係の欠如によるものであることが判明した。 ③6月11日、品川区重症心身障害者を守る会会長からの報告を受けた。障

		害者福祉部で検討の結果、現担当者のままC利用者と関係回復を図ることは困難であると判断し、担当者を変更する方針でC利用者と面会することとした。 ④6月21日、苦情申立人（身元保証人）立会のもと、C利用者宅を所長、新担当となるD主任と訪問した。これまで配慮に欠け対応への謝罪と担当者の交代を提案したところ概ね受け入れた様子であった。
グループホーム金子山	3月28日に発生したA利用者による「近隣居住の女子中学生への付きまとい行為」事件が発生した。対象施設での利用継続が困難と判断し退所を提案し家族も承諾し、3月29日（木）から5月25日（金）までかがやき園の緊急ショートステイを利用した。 苦情申出人（姉）より、かがやき園利用中に、対象施設退所について不満の申出があった。	① A利用者は対象施設を平成29年11月13日から利用開始し、豊島区の企業に通勤していた。 ②被害にあった女子中学生は、繰り返し付きまといを受けていたことから、家族と警察に相談していた。警察では、2月ごろより防犯カメラの設置など内偵捜査を進めていた。3月28日に被害者の自宅付近で警戒にあたっていた警察官にA利用者が補導され、グループホームに連絡が入る。職員が警察に立ち会った際に「今後、家に近づく等を繰り返した場合、逮捕となる」旨の注意があった。 事件後、苦情申出人（姉）と関係機関（障害者福祉部、福栄会障害者相談支援センター及び品川区）が今後の対応について相談を行った結果、被害者の自宅は、対象施設の近隣に在り、A利用者はその場所を把握していることから再発の可能性がある、再発の場合、被害者の心身への影響の大きさ、逮捕に至るとの警察の口頭注意等からも絶対に再発を防ぐため、移動や夜間における継続した家族の見守りや居住場所の変更が必要と判断し、苦情申出人（姉）に説明し退所の承諾を得た。 ③苦情申出人（姉）から、直ちに家庭に戻ることが困難であるとの申出があったため、かがやき園の緊急ショートステイを3月29日から5月25日まで、利用することとなった。 ④ショートステイ利用中及び最終日

		に、苦情申出人（姉）から「逮捕された訳でもないのにグループホーム金子山を追い出された」の発言があったが、退所に至る経緯を苦情申出人（姉）と確認しその場では納得して頂いている。 現在、就労先や居所等の相談を本人、苦情申出人（姉）、センターで継続している。
--	--	--

総務課事業報告

1. 基本方針の遵守

高齢者、障害者、児童福祉等の総合福祉施設という特色を生かし、人事、給与、会計等事務処理体制について、総合的かつ適切な執行を行いました。また、社会福祉法人として地域住民へ会議室・備品の貸与、地域行事に参加するなど地域との連携・交流を深めました。

2. 重点目標への対応

(1) 第三期修繕計画等に基づき本部建物の大規模改修に取り組みました。

本部建物3階トイレ改修工事や晴楓ホーム4階・5階の西側トイレ改修工事及び洗濯室の改修工事を実施。また、1階ロビーのソファ更新及び2階から5階食堂のテーブル更新等を行い、利用者や職員が安全で使いやすいよう環境整備を行いました。

(2) 平成31年3月に新たに開設した平塚高齢者多世代交流支援施設「平塚ゆうゆうプラザ」について安定した運営が出来るよう主管部と連携して取り組みました。

(3) 人事・給与制度の抜本的な改正に取り組むとともに、積極的な広報活動や職員研修をとおり福祉人材の確保・育成を行いました。

3. 事務の執行

(1) 総合的な福祉施設としての効率的な事務処理

高齢者、障害者、児童福祉等の総合施設という特色を生かし、人事、給与、会計等事務処理について、総合的かつ効率的な執行を行いました。

(2) 福利厚生事業の充実

①職員の健康管理について、定期健康診断・成人病予防検査・インフルエンザ予防接種・メンタルヘルスチェック等を実施し、健康管理に努めました。

②職員親睦会への助成、共済制度の活用を図り、職員の福利厚生を充実させるとともに、親睦会活動を通じて職員交流の充実を図りました。職員親睦会クラブとしてフットサル部への助成を行いました。

③職員室の事務机や椅子の見直しや畳の張り替えなど、出先施設を含む職員の職場環境改善計画等を考慮しながら実施しました。

(3) 事務処理の迅速化

会計と経理、請求事務と出納事務、人事と給与など業務区分を更に明確にし、会計監査、給与計算事務会社とさらに連携しながら迅速な事務処理を行いました。

(4) 事務員の育成

法人の事務局として適切に事務業務を行うため専門的事務員の育成に努めました。

4. 地域貢献活動（地域開放事業）

(1) ボランティア等の受入

法人業務を支援して下さるボランティアの意見を直接伺う場として、6月23日（土）にボランティア懇談会を開催し、45名の方が参加されました。また、10月6日（土）にジブラルタ生命から50名以上の方々が参加され、法人本部建物の各所清掃を行っていただきました。その他、福栄会まつりやさんまつり等、各行事にも多くのボランティアの方々が参加されました。

(2) 会議室・介護者教室等の貸し出し

NPO法人による講習会や近隣マンション組合、住民説明会の場として、会議室、介護者教室等を貸し出しました。

(3) 車両や行事物品の貸し出し

町会行事等への参加のため、住民団体に行事物品（テントや綿飴製造機等）の貸し出しや、関係団体に対し駐車場所の提供をするなど便宜を図りました。

また、要援護者の移送のため法人所有の福祉車両を貸し出しました。

(4) 地域交流

地域の市民等の視察を積極的に受け入れ福祉施設の概況説明を行いました。

また、折り紙交流会や喫茶コーナーを活用した地域サロンを開催し1階ロビーの有効活用を行いました。

5. 防災対策

利用者の安全を確保するため、消防署と連携のうえ防災対策を実施しました。また居室等の家具の転倒防止、物品の落下防止などを行いました。

(1) 小規模社会福祉施設防火実務講習の開催

新規採用職員を中心に、防災機器の取り扱いや避難方法についての講習会を実施し緊急の場合に備えました。

(2) 消防避難訓練の実施

毎月1回、昼夜想定消防避難訓練を実施しました。また、マニュアルを確認するとともに、職員に周知徹底を図りました。

(3) 救命講習（上級講習、自動体外式除細動器業務従事講習）

上級救命講習会を年1回及び上級救命再講習会を年2回実施しました。なお自動体外式除細動器業務従事講習（AED）も併せて実施しました。

(4) 近隣との協力

地元四町会及び品川消防団、品川消防署、品川警察と合同で11月25日(日)に総合防災訓練を実施しました。

6. 防犯対策

本部建物、品川区立かがやき園及び品川区立家庭あんしんセンターにおいて、所轄警察署の協力を得て、全職員を対象とする防犯対策訓練を実施しました。

防犯訓練実施状況

建物名	実施月日	参加人数
本部建物	8月23日(木)	63人
かがやき園	7月18日(水)	30人
家庭あんしんセンター	9月18日(火)	15人

7. 施設管理(営繕)体制

第三期修繕計画等に基づき本部建物の大規模改修に取り組みました。また、経年劣化した法人建物を適正に効率よく管理するため、建物ごとに保守管理計画を作成し実施しました。工事に職員が立ち会うなど、利用者の安全確保と工事個所の確認を適切に行いました。

8. 広報

法人の広報活動のあり方を幅広く検討し、福栄会についての情報開示をより推し進め、区民及び関係者の理解と協力を得るよう働きかけました。

法人総合情報誌「ふくえいだより」・ホームページ等での広報活動の充実を図りました。

第82号・春号 平成30年 5月 1日 発行

第83号・夏号 平成30年 8月30日 発行

第84号・秋冬号 平成31年 1月11日 発行

9. 職員について

(1) 職員の配置状況 * () 内は準職員等数 平成31年3月31日現在

施設名	施設長	事務員	介護支援員	看護師	栄養士	医師	施設管理	OT PT	計	委託
										運行
晴楓ホーム	1	(2) 1	(19) 30	(3) 2	1	(3)		1	(27) 36	
東海ホーム	1	1	(2) 5	1	1				(2) 9	
東品川在宅	1	(1) 1	(34) 24	(2) 1			(1) 1	(3)	(41) 28	(1)
大崎在宅	1	(3)	(15) 19	(3) 1					(21) 21	(1)
第一 しいのき学園	1		(14) 10	(2) 1		(1)			(17) 12	(2)
第二 しいのき学園	1	(1)	(17) 9						(18) 10	
福栄会障害者 相談支援センター			5						5	
西大井福祉園 (GH森前・GH金子 山を含む)	1	(1) 2	(18) 14	(1) 2		(1)			(21) 19	(2)
家庭 あんしんセンター	1	(1) 1	(22) 15			(1)			(24) 17	
かがやき園	1	(1) 2	(22) 18	1	1	(1)			(24) 23	
南品川むつみ園			(3) 3	(1)					(4) 3	
かもめ工房	1	(2)	(21) 20			(1)			(24) 21	
五反田 ふれあいディ			(4) 2	(1)					(5) 2	(1)
平塚高齢者多世 代交流支援施設			(1) 3						(1) 3	
計	10	(12) 8	(192) 177	(13) 9	3	(8)	(1) 1	(3) 1	(229) 209	(7)

※産前・産後休暇等4名 品川区地域包括支援センター出向1名

(2) 平成30年度の職員採用及び退職

平成30年度採用	4月 1日	介護福祉士取得見込	: 2名
		介護福祉士	: 4名
		社会福祉士取得見込	: 5名
		社会福祉士	: 2名
		精神保健福祉士	: 1名
		看護師	: 1名
		保育士	: 1名
			<u>合計</u> 16名
平成30年度退職	3月 31日	介護支援専門員	1名
		介護福祉士	3名
		精神保健福祉士	1名
		保育士	3名
			<u>合計</u> 8名

(3) 平成31年度の職員採用活動

平成31年度新規職員採用については、人事担当職員が積極的に学校訪問した結果、品川介護福祉専門学校など10学校や一般から32名の受験生のうち中途採用者含め26名を採用しました。これらの新規採用者につきましては、5日間の事前研修を行い各施設に配属しました。

平成30年	6月 2日 (土)	受験者	1名	内定者0名
平成30年	7月 8日 (日)	受験者	2名	内定者2名 (10月採用2名)
平成30年	9月 8日 (土)	受験者	8名	内定者8名 (10月採用1名)
平成30年	10月 27日 (土)	受験者	4名	内定者3名 (12月採用1名) (1月採用1名)
平成30年	11月 13日 (火)	受験者	1名	内定者1名
平成30年	12月 16日 (日)	受験者	3名	内定者2名 (2月採用1名) (3月採用1名)
平成30年	12月 20日 (木)	受験者	1名	内定者1名 (2月採用1名)
平成30年	12月 27日 (木)	受験者	2名	内定者0名
平成31年	1月 10日 (木)	受験者	3名	内定者3名 (3月採用1名)
平成31年	1月 22日 (火)	受験者	1名	内定者1名 (2月採用1名)
平成31年	1月 29日 (火)	受験者	3名	内定者3名 (正規化採用1名)
平成31年	2月 14日 (木)	受験者	2名	内定者2名
平成31年	3月 20日 (水)	受験者	1名	内定者0名
		合計	32名	26名

(4) 職員親睦会について

第1班	平成30年	7月11日	日帰り旅行(クルーズ)
第2班	平成30年	9月 9日	日帰り旅行(山梨バスハイク)
第3班	平成30年	10月26日	日帰り旅行(ハプナブッフェ)
第4班	平成30年	11月21日	日帰り旅行(アラジン)
第5班	平成31年	1月18日	日帰り旅行(叙々苑)
忘年会	平成30年	12月14日	きゅりあん7階イベントホール
総 会	平成31年	3月29日	福栄会本部2階どんぐり広場

10. その他

(1) 行事等

5月13日(日)	福栄会まつり
6月 9日(土)	町内祭礼
6月23日(土)	ボランティア懇談会
8月 4日(土)	刈崎町会納涼祭
8月21日(火)	物故者法要
9月 6日(木)	自衛消防審査発表会
9月11日(火)	敬老の集い
9月30日(日)	品川宿場祭り
11月 6日(火)	福栄会さんま祭り
11月13日(火)	品川菜園収穫祭
11月17日(土)	実務研究発表会
11月25日(日)	総合防災訓練(四町会合同)

栄養課事業報告

1. 基本方針の遵守

利用者、各施設職員、調理スタッフ3者間におけるコミュニケーションの場として東海ホーム利用者及び東品川デイサービス利用者との給食懇談会を各2回（年間4回）実施しました。

2. 重点目標への対応

(1) 利用者のニーズにあった食事の提供

喫食時の観察・声かけや残菜調査及び嗜好調査、給食委員会・利用者給食懇談会での意見交換、検食簿での評価等により利用者のニーズを把握し、献立に反映させることができました。

生活に潤いと日本の文化や季節を伝える行事食を年20回実施しました。

(2) 食品衛生管理の充実を図るため、(株)日京クリエイトのスーパーバイザーによる衛生講習会を開催しました。

また、給食施設における大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、毎朝礼時における調理従事者の服装・毛髪・手指のチェックや厨房全域・器具機材、配膳車等の清掃・消毒を厳重に行い、年間を通して食中毒予防に努めました。

(3) 厨房設備、備品類は計画に基づき更新を図り、厨房作業環境の構築に努めました。

3. サービスの実際

(1) 食事提供内容の充実と適切な食事週間の育成等に向けた取り組みとして

①選択食の充実

ア 朝食・・・通常米飯食・粥食での提供、毎週日曜日と水曜日はパン食メニューで提供しました。

イ 昼食時、麺選択を年16回、主菜選択を10回実施しました。

ウ 夕食時の複数メニューについては実施できなかったため、平成31年度から実施するよう努めます。

②嚥下困難者への食事の提供として、状態に応じて刻み食、みじん切り食、ペースト食で対応しました。

③知的障害者施設しいのき学園の利用者を対象に予定していた食事30分前の嚥下体操については実践し難く平成31年度計画の見直しを図ります。

④介護者教室において、高齢者の食事に関する講習会を実施しました。

(2) 調理技術向上の取り組み

①給食委員会を本部施設、西大井地区でそれぞれ12回開催し、利用者のニー

ズの把握に努めました。

- ②調理技術講習会として、委託事業者の調理師が厨房設備会社の開催するスチコン研修に参加し調理技術のレベルアップを図りました。

(3) 食品衛生管理の充実

- ①定例給食委員会において食品衛生管理体制の確立を図りました。
- ②厨房清掃の徹底を図るため、毎日の清掃に加え定期清掃を計画的に計48回実施しました。また厨房の水道水（飲料水）の残留塩素濃度測定を毎日行いました。
- ③調理従事者の健康管理
 - ア 検便を毎月1回、調理師は11月から3月までの5ヶ月間、ノロウイルスの検査も実施しました。
 - イ 健康診断を年1回実施しました。
 - ウ 毎日、自己チェックと朝礼時の全体相互チェックを行いました。

(4) 栄養管理

①栄養摂取基準量

平成30年4月15日現在で、利用者個々の年齢・性別・基礎代謝量・生活活動強度により適正量を算出し、各施設の平成30年度目標栄養量を設定しました。

- ②①の栄養摂取基準量に基づき、食品構成表を作成しました。

③献立作成

②の食品構成に基づき、利用者の嗜好や歳時・季節感等を考慮しながら高齢者・知的障害者向けにそれぞれバランスのとれた献立を作成しました。

④栄養ケアマネジメント

特別養護老人ホーム（晴楓ホーム）及び障害者入所施設（かがやき園）の各利用者に栄養ケアマネジメントを実施し、計画に沿ったサービスの提供により適正な栄養管理や肥満防止に努め、栄養管理体制の充実を図りました。

(5) 食事の種類

- ①一般食（常食・軟菜食）
- ②摂食・嚥下機能に応じて一口大・刻み食・みじん切り食・ペースト食で対応しました。
- ③生活習慣病など医療的配慮を必要とする場合や、機能障害等に対応した療養食にも対応しました。
- ④アレルギーや禁忌食品に対応し代替食を実施しました。

(6) 食事時間

朝食 7:30から8:30まで、昼食12:00から13:00まで
夕食18:00から19:00までを遵守し、食事提供を行いました。

(7) 行事食等

- ①日本人の食文化や季節を伝える行事食を概ね毎月1回実施しました。

- ②お楽しみメニュー食として、ミニバイキングを年４回実施しました。
- (８) 配食サービス
- ①在宅の利用者の食事を日曜・祝日を除き、年間８９食配送しました。
- ②希望者にはお粥での個別対応を行いました。
- ③地域貢献活動として在宅サービス課主催のミニサロンのお弁当の調理を行いました。
- (９) １食当たりの食材単価は下表により履行しました。

	高齢者部門	障害者部門	職員・外来	配 食
朝 食	２００円	２００円	２００円	—
昼 食	３２０円	３２０円	３２０円	３２０円
夕 食	３００円	３００円	３２０円	—

なお、行事食については別枠で行いました。

- (１０) 検食・保存食
- ①検食・・・栄養士及び各施設管理者が毎食実施し、記録しました。
- ②保存食・・・１品５０ｇを２週間以上冷凍保存しました。
- (１１) 食事管理
- 献立と調理内容の適合、個別の食種コメント等のチェックを配膳前に行い盛り付けや食器の工夫など、食事環境面にも配慮しました。

４．各施設との連携など

- (１) 調査・研究
- ①嗜好調査・・・各施設職員の協力を得て嗜好調査を実施し、結果をもとに献立に反映させることができました。
- ②残菜調査・・・毎食ごとに残菜を確認し、喫食状況の観察とあわせて必要な栄養量が確保されているか確認しました。
- (２) 栄養指導・相談
- ①医師・看護師・介護職員からの要請に応じ、実施しました。

５．防災・その他非常時対策

- (１) 業務終了時におけるガス器具の元栓、電気器具の電源の点検と記録を確実に行いました。
- (２) 法人本部の防災訓練時に合わせ、課内初期消火訓練に取り組みました。
- (３) 非常食の有効利用を目的として、消費期限の直前に献立に取り入れて提供し、使用分の補充も行いました。

6. 連絡調整・諸会議

(1) 課内連絡

朝礼を毎日行いました。

(2) 他部門との連絡

①晴楓ホーム職員朝礼、事務部朝礼に栄養士が参加しました。

②給食委員会を毎月実施し、栄養士・調理師・各施設管理者及び給食委員が参加しました。

(3) 利用者給食懇談会

東海ホーム・東品川デイサービスで各2回開催し、利用者と介護職員、栄養士、調理師及びその他関係者で給食に関する意見などをお聞きしました。

7. 厨房設備等の更新

(1) 厨房簡易自動消火装置の更新を行いました。

(2) 厨房冷蔵・冷凍室冷却設備の更新を行いました。

(3) 球根皮剥機及び立体炊飯機（2台）の更新を行いました。

(4) 厨房スタッフの更衣室兼休憩室の畳替えを行いました。

8. 給食状況報告

(1) 福栄会本部

利用者（延食数） H30. 4. 1～H31. 3. 31

施 設 食種・形態		晴楓	ショート ステイ	東海	東品川S・C		しいのき			計(人)	
					デイ	配食	第 1	第 2	むつみ園		
主食	米飯	20,567	4,750	28,850	12,428	828	9,253	12,869	3,181	92,726	
	粥	62,095	3,507	17,909	1,329	2	523	234	0	85,599	
	流動	2,146	0	0	0	0	0	0	0	2,146	
計		84,808	8,257	46,759	13,757	830	9,776	13,103	3,181	180,471	
一般食	常食	普通	3,421	3,019	39,548	9,618	830	5,926	12,579	3,181	78,122
		一口切	11,748	457	2,413	1,151	0	1,509	0	0	17,278
		刻み	3,069	0	943	210	0	0	0	0	4,222
		みじん	0	0	0	0	0	504	0	0	504
	軟菜食	普通	2,412	107	1,091	807	0	274	0	0	4,691
		一口切	7,585	2,140	706	453	0	214	0	0	11,098
		刻み	26,116	917	92	698	0	0	0	0	27,823
		みじん	1,367	75	0	17	0	0	0	0	1,459
	ペースト食		18,083	795	0	178	0	0	0	0	19,056
	経管流動食		2,146	0	0	0	0	0	0	0	2,146
治療食	減塩食	普通	2,313	50	608	371	0	61	509	0	3,912
		一口切	1,211	358	1,358	37	0	0	0	0	2,964
		刻み	4,210	0	0	0	0	0	0	0	4,210
		ペースト	32	40	0	14	0	0	0	0	86
	糖尿病食	普通	0	261	0	203	0	245	0	0	709
		一口切	612	25	0	0	0	594	0	0	1,231
		刻み	483	0	0	0	0	211	0	0	694
		みじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ペースト	0	13	0	0	0	0	0	0	13
	その他	普通	0	0	0	0	0	238	15	0	253
		一口切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		刻み	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		流動	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		84,808	8,257	46,759	13,757	830	9,776	13,103	3,181	180,471

外来食

見学	J&F	ボラ	実習生	体験利用	その他	計
10	954	89	913	25	21	2,012

職員食

計
30,195

(2) 西大井福祉園

利用者(延) H30. 4. 1～H31. 3. 31

食種・形態			西大井福祉園
主食	米飯		11,234
	粥		0
	ミキサー粥		268
計			11,502
一般食	常食	普通	9,940
		一口切	699
		刻み	0
		みじん	0
	軟菜食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	ペースト食		272
	流動食		0
治療食	減塩食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
	糖尿病食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	脂肪制限 その他	普通	591
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
計			11,502

外来食

つばさの家	森前	実習生
24	25	87
金子山	体験	計
44	37	217

職員食

計
4,248

(3) 大崎在宅S・C

利用者(延) H30. 4. 1～H31. 3. 31

食種・形態			大崎在宅S・C
主食	米飯		9,947
	粥		1,876
	ミキサー粥		
計			11,823
一般食	常食	普通	8,317
		一口切	1,281
		刻み	398
		みじん	0
	軟菜食	普通	255
		一口切	473
		刻み	234
		みじん	0
	ペースト食		11
	流動食		0
治療食	減塩食	普通	657
		一口切	65
		刻み	0
	糖尿病食	普通	0
		一口切	132
		刻み	0
		みじん	0
	蛋白制限 その他	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
計			11,823

外来食

視 察 者	実習生	
0	199	
そ の 他		計
3		202

職員食

計
5,555

(4) かがやき園

利用者（延食数） H30. 4. 1～H31. 3. 31

施 設 食種・形態			入所者	ショート	計(人)	
主食			米飯	25,800	1,978	27,778
			粥	2,823	0	2,823
			流動	0	0	0
計			28,623	1,978	30,601	
一 般 食	常食	普通	10,017	1,775	11,792	
		一口切	7,231	124	7,355	
		粗刻み	0	0	0	
		刻み	7,834	6	7,840	
		みじん	0	0	0	
	軟菜食	普通	0	0	0	
		一口切	0	0	0	
		粗刻み	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
		みじん	0	0	0	
	ペースト食		1,088	0	1,088	
	療 養 食	減塩食	普通	0	0	0
			一口	0	0	0
		糖尿病食	普通	71	18	89
			一口切	84	55	139
刻み			0	0	0	
みじん			0	0	0	
糖・腎食		一口	767	0	767	
		刻み	1,531	0	1,531	
糖・肝食		普通	0	0	0	
		脂肪制限	普通	0	0	0
刻み			0	0	0	
計			28,623	1,978	30,601	

外来食

職員食

視察者	ボラ	実習生	その他	計	計
0	11	225	63	299	4,966

9. 特別献立実施状況（平成30年度）

◎…東海ホーム昼食

◇…入所施設（高齢者、知的障害者）

実 施 日		行 事 名	献 立 内 容
5月	1日	火 開設記念日	焼そば ブロッコリーサラダ スープ 祝まんじゅう
	5日	土 こどもの日	穴子ちらし 炊き合せ すまし汁 鯉のぼり水ようかん
6月	17日	日 ◎ミニバイキング	そうめん 手綱寿司 天ぷら ローストポーク 新じゃが煮 酢味噌和え 味噌汁 りんごゼリー 和菓子<紫陽花> 果物
7月	7日	土 七夕 /昼食	御飯 天ぷら 茄子と鶏肉の煮物 すまし汁 七夕ゼリー
	20日	金 土用の丑 /昼食	鰻の二色丼 炊き合わせ すまし汁 果物
9月	17日	月 敬老の日 /昼食	御飯 チキンソテー茸ソース ポテトサラダ 味噌汁 デザート：入所＝オレンジ、通所＝栗入り羊羹
		/夕食	赤飯 天ぷら 炊き合わせ 茶碗蒸し お吸い物 栗入り水羊羹 梨
	23日	日 秋分の日 /夕食	御飯 ムニエル ひじき炒り煮 浅漬 すまし汁 おはぎ
	24日	月 十五夜 /昼食	御飯 コロッケとメンチ 豆腐サラダ 味噌汁 お月見ゼリー
		/夕食	茸御飯 卵のふくさ焼 野菜の含め煮 すまし汁 衣かつぎ
10月	14日	日 ◎ミニバイキング	散らし寿司 茸おこわ 鴨南蛮そば 天ぷら 太刀魚柚庵焼 焼とん 里芋煮 白和え 赤だし蜆汁 芋入り蒸しパン
11月	3日	土 文化の日 /夕食	鉄火丼 高野豆腐の含め煮 胡瓜浅漬 味噌汁
	18日	日 ◎ミニバイキング	にぎり寿司 大根あら煮 菊花浸し だし巻卵 味噌汁 プリン
12月	22日	土 冬至 /昼食	御飯 酢鶏 白菜のナムル 南瓜のいところ煮 味噌汁
	24日	月 クリスマスイブ/昼食	ケチャップライス 照焼チキン フレンチサラダ 南瓜ポタージュ ヨーグルトケーキ
		/夕食	御飯 クリームシチュー キャンドルサラダ 浅漬
	25日	火 クリスマス /昼食	御飯 海老フライ さつま芋サラダ スープ ケーキ
	31日	月 ○大晦日 /夕食	御飯 チキンサラダ サラダ 漬物 年越しそば
1月	1日	火 ◇朝食	雑煮(すまし仕立) 口取(紅白蒲鉾 黒豆 紅白なます 数の子)
		祝 膳	お屠蘇 日本酒 ビール ジュース
		◇昼食 (二の重)	赤飯 鯛塩焼 松風焼 二色卵 海老 煮ゑ 栗きんとん お吸い物
		◇夕食	天井 菜の花とあさりの辛子和え 浅漬 味噌汁 みかん
		◇朝食	雑煮(味噌仕立)
	2日	水 祝 膳	口取 (伊達巻・昆布巻・豆きんとん・ポン酢和え)
		◇昼食	海鮮ちらし寿司 お浸し 味噌汁 さつま芋の重ね煮
		◇夕食	七福神雑炊 筑前煮 茶碗蒸し キャベツの重ね漬

実 施 日		行 事 名	献 立 内 容
1月	7日	月 ◇七草 /昼食	七草粥 卵とし アスパラのお浸し 漬物 味噌汁 牛乳
	11日	金 鏡開き /昼食	御飯 豚肉マスタード焼 フレンチサラダ 漬物 スープ ぜんざい
	15日	火 ◇小正月 /夕食	小豆粥 魚のホイル焼 根菜の煮物 すまし汁 みかん
2月	3日	日 節分 /昼食	御飯 焼とり 白菜の胡麻まぶし 煮豆 すまし汁
		/夕食	恵方巻(寿司) 魚の粕漬焼 浅漬 味噌汁 みかん
	17日	日 ◎お楽しみ給食	御飯 天ぷら 茶碗蒸し やりいかと分葱のぬた 漬物 すまし汁 デザート<キャラメリーゼ>
3月	3日	日 ひな祭り /昼食	雛ちらし 焼豆腐と南瓜の炊き合せ お吸い物 苺ババロア
	21日	木 ◇春分の日 /夕食	御飯 魚のホイル焼 野菜の炊き合わせ 味噌汁 おはぎ

10. 給食委員会実施状況(平成30年度)

(1)福栄会本部開催日(毎月第1水曜日)

晴楓・東海・東品川在宅サービスセンター・大崎在宅サービスセンター・しいのき

月	内 容	月	内 容
4月	給食委員会の主旨について 平成30年度利用者名簿の提出について 平成30年度の検食担当者について 予定献立について	12月	寿司バイキングの振り返り 年末年始の行事について 予定献立について
5月	平成30年度栄養課年間行事計画について 平成30年度栄養摂取基準量について 6月のミニバイキングについて 予定献立について	1月	行事食の振り返り 嗜好調査の実施について 予定献立について
6月	利用者給食懇談会の開催について ミニバイキングについて 予定献立について	2月	嗜好調査について 東海ホームお楽しみ給食について 予定献立について
7月	東海ホームミニバイキングの振り返り 予定献立について	3月	嗜好調査結果について 予定献立について
8月	夏場の食事管理について 予定献立について		
9月	東海ホーム秋のミニバイキングについて 予定献立について		
10月	東海ホームミニバイキングについて 利用者給食懇談会について 予定献立について		
11月	ミニバイキングの振り返り 寿司バイキングについて 利用者給食懇談会開催について 予定献立について		

(2) 西大井福祉園開催日(毎月第1木曜日)

かがやき園・西大井福祉園

月	内 容	月	内 容
4月	給食委員会の主旨・内容について 検食について 利用者名簿の提出について 予定献立について	12月	年末年始の行事予定について 厨房設備について 利用者状況について 思考調査について 異物混入について 予定献立について
5月	利用者状況について 予定献立について	1月	年末年始の行事食の振り返り 嗜好調査の実施について 予定献立について 利用者状況について
6月	平成30年度利用者食事摂取基準量について 年度旅行計画について 予定献立について	2月	嗜好調査について かがやき園下膳台の搬入について 予定献立について
7月	日帰り旅行について 8月の行事予定について 厨房設備の更新について 献立について	3月	嗜好調査結果について 利用者状況について 行事予定について 予定献立について
8月	オータムフェスティバルについて 厨房設備の更新について 非常食について 予定献立について		
9月	オータムフェスティバルについて 利用者状況について 予定献立について		
10月	利用者及び職員状況について オータムフェスティバルについて クリスマス会について 予定献立について		
11月	クリスマスについて 年末年始の食事について 利用者及び職員状況について 年末年始の食事について		

高齢者福祉部事業報告 目次

高齢者福祉部事業報告	3 3
晴楓ホーム事業報告	3 4
東海ホーム事業報告	4 9
在宅サービス課事業報告	5 7
在宅介護支援センター事業報告	6 0
品川区東品川在宅介護支援センター	
品川区大崎在宅介護支援センター	
在宅サービスセンター事業報告	6 3
東品川在宅サービスセンター	
品川区立大崎在宅サービスセンター	
品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム	
品川区ヘルパーステーション東品川事業報告	7 7
福栄会リハビリテーションセンター事業報告	7 9
東品川わかくさ荘事業報告	8 1

高齢者福祉部事業報告

1. 基本方針

利用者の人権を尊重し、利用者に寄り添ったサービスを行いました。

利用者の能力に応じて自立的な暮らしができるように利用者・家族・職員との協力関係の構築に努め支援を行いました。

また、利用者の健康生活を大切にし、特にノロウイルス等の感染症に対する予防技術を万全な対応をしました。

2. 重点目標

- (1) 生活施設及び通所施設において利用者の安全を第一とし、万全の配慮を行い利用者及び家族が安心して利用できるサービスを提供しました。
- (2) 地域住民と連携を図り地域に根ざした施設運営を行うことにより、高齢者の生活を支えるための適切なサービス提供を行いました。
- (3) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、既存事業の見直し、新たな事業展開、計画的な施設改修等について「福栄会3か年計画」に基づいて引き続き推し進めました。

(4) 各施設の利用実績

①晴楓ホーム

ホーム事業（80床）	短期入所生活介護（8床）	合計利用率(88床)
98.7%	118.7%	100.5%

※短期入所生活介護(ショートステイ)は空床利用(4床)を含めた数値。

②在宅サービス事業（通所介護・訪問介護・居宅介護支援）

東品川在宅サービスセンター	83.0%
〃 認知症デイホーム（ぽかぽか）	43.3%
（なごみ）	50.5%
大崎在宅サービスセンター	87.9%
〃 認知症デイサービス（ほのぼの）	58.3%
五反田ふれあいデイホーム	82.6%
ヘルパーステーション東品川	483.2時間/月

③東海ホーム（軽費老人ホームA型）

ホーム事業（50名）	100.0%
------------	--------

晴楓ホーム（特別養護老人ホーム・介護老人福祉施設）事業報告

1. 事業実績報告

晴楓ホームとショートステイの年間合計利用率は、100.5%でした。
(ホーム98.7%・ショート118.7%)

30年度月別利用率の推移（定員：ホーム80名・ショート8名）（単位%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホーム	99.5	99.3	99.6	97.7	98.9	97.7	99.5	98.9	99.6
ショートステイ	122.7	125.4	129.6	128.6	129.4	129.2	124.6	117.5	108.5
合計利用率	101.5	101.6	102.3	100.5	101.7	100.5	101.8	100.6	100.4

	1月	2月	3月	年間利用率	29年度年間利用率
ホーム	98.6	96.6	98.6	98.7	99.0
ショートステイ	87.1	109.8	113.3	118.7	119.0
合計利用率	97.5	97.8	99.9	100.5	100.8

2. 重点目標報告

(1) 抱えない介護の実践を推し進めます。

移乗用リフトやスライディングボード等の移乗用補助具の使用を徹底し、抱えない介護の実践を行い、介護職員の負担軽減を図りました。職員2名がリフトリーダー養成研修会に参加し、リフトインストラクター実技試験に合格しました。

介護職員が腰痛予防に対して意欲的に取り組んだこともあり、腰痛により長期的な療養を必要とする介護職員の発生はありませんでした。

(2) 設備整備及び施設改修を行います。

4階5階の食堂（共有スペース）のテーブル、椅子、ソファを交換しました。また、4階5階西側トイレの更新工事を行いました。

4階浴室に天井走行式リフトを新たに設置し、職員の腰痛防止とともに、利用者にも負担が掛からぬように入浴をしていただけるようになりました。

(3) 安定した利用の確保に努めます。

利用者の健康管理に留意し、嘱託医と連携し、早期発見、早期対応に努めました。また、緊急対応訓練を事業所内研修で行い、対応技術の向上を図りました。

事故防止対策として、リフトインストラクターの職員が中心となり、リフト操作の実技勉強会を実施しました。

事故報告・ヒヤリハット報告書を再発防止に活用し、転倒防止用のセンサーマット（床用・ベッド用・車椅子用）等の活用を行いました。

感染症の防止対策として法人全体研修及び施設における研修を実施し、実践的な防止対策の習得を行いました。面会者の手洗い、マスクの装着等の協力もあり、感染予防に努めましたが、インフルエンザA型に4名、胃腸炎に6名の利用者が罹患されました。

3. 家族との連携・協力

利用者の家族との連携によりその理解のもとに、利用者のホームでの健康で豊かな生活ができるように努めました。

「晴楓家族友の会」による交流会の開催、福栄会まつりへの参加、会報発行などの幅広い活動による協力をいただきました。

4. 身体拘束廃止・虐待防止

（1）身体拘束廃止に向けた取り組み

身体拘束の廃止に向けた取り組みとしてセンサーマット、立位時にブレーキが掛かる車椅子等の活用をするなど、身体拘束防止に努めました。

（2）利用者に対する人権擁護（虐待防止）

利用者の人権を擁護するとともに、対人援助における介護者の精神的ストレスを軽減するため、チームでのケア、抱えない介護の取り組みを行い、虐待を生まない施設作りを行いました。

また、法人の取り組みである虐待防止チェックを行い、その結果を基に事業所内で事例検討や意見交換等を行いました。

東京都福祉保健財団主催の高齢者虐待防止研修に職員2名が参加しました。

5. 機能回復訓練の実施について

（1）個別機能訓練実施計画書に基づく機能訓練の実施

機能訓練指導員（理学療法士）・介護・看護チームと作成した個別機能訓練実施計画書に基づき、リハビリを実施し、利用者の身体機能

の維持・向上に努めました。

- (2) 各利用者の生活に合わせながら『介護者の視点』に立ったリハビリテーションを行いました。

リハビリ室に誘導が困難な利用者に対して、フロアで離床時のリハビリの機会を増やし、食事の際の姿勢の保持を目的にするなど、より生活に関連するリハビリを実施しました。

各利用者の生活上での問題点に着目し、食事姿勢・摂食動作・車椅子やベッドでの安楽なポジショニング、クッションの置き方等の検討を介護職と連携して行いました。

ショートステイ利用者については、入所日・退所日も含めてリハビリを実施しました。

- (3) 職員の腰痛予防対策を一層推進しました。

「抱えない介護」を進めるために、持ち上げない介助を前提とした利用者の移乗介助の検討を行いました。トランスファーボード・ターンテーブル等の介護用具を使った移乗方法の検討、リフト及び適切なシートの選定を行いました。

ベッドと車椅子の高さの調整を行う等、利用者個々の生活場面に合わせた配慮も行いました。安全なリフト移乗にも一層配慮し、退院後や骨折後の利用者のリフト移乗の確認を介護職員と一緒に行いました。

リフト移乗による機能低下の可能性についても着目し、残存機能の評価も併せて行い立位機能のある利用者にはリハビリ室での立位訓練等を実施しました。

6. 東京都福祉サービス第三者評価受審及び自己評価の実施

- (1) 福祉サービス第三者評価の受審

平成29年度に受審した「福祉サービス第三者評価 利用者調査」の評価結果に基づいて利用者へのサービス内容について検討しました。

利用者の余暇の拡大については、ボランティアによるピアノやハープ演奏、職員によるミニレクリエーションの実施等、利用者が楽しんでいただける余暇活動が行えるように努めました。

今年度も公益社団法人長寿社会文化協会による利用者調査を受審しました。

- (2) 施設サービス自己評価の実施

平成29年度に実施した施設サービス自己評価結果（セルフチェック）に基づき、サービス向上計画を作成しサービスの質の向上に努めました。

晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業報告

1. 事業実績報告

平成30年度晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業の年間利用率は、118.7%でした。

2. 重点目標報告

特別養護老人ホーム 晴楓ホーム利用者の入院等で生じる空所利用を推進し、多くの利用者がサービスを利用できるようになりました。

入退所業務を担当する中堅職員の育成に努めることで、円滑な入退所業務を行うことができました。

キャンセル等の空所が生じた場合は、キャンセル待ちの利用者等に速やかに連絡するなど柔軟に対応し、利用者のニーズに応えるように努めました。

品川区、在宅支援センター等からの緊急の利用要請に対しては、可能な限り受け入れを行いました。

3. 晴楓ホーム実績資料

(1) 利用者の入退所状況(入院退所・退院再入所を含む)

		入 所 者 数				退 所 者 数			1日付 在籍者数
		在宅	病院を退院	退院再入所	その他	入院	死亡	その他	
4月	男	0	0	2	0	2	0	0	8
	女	1	0	1	0	2	0	0	71
	計	1	0	3	0	4	0	0	79
5月	男	0	0	0	0	0	0	0	8
	女	1	0	4	0	5	0	1	71
	計	1	0	4	0	5	0	1	79
6月	男	0	0	2	0	2	0	0	8
	女	0	0	5	2	5	0	0	70
	計	0	0	7	2	7	0	0	78
7月	男	0	0	1	0	3	0	0	8
	女	1	0	3	1	5	0	0	72
	計	1	0	4	1	8	0	0	80
8月	男	0	0	2	0	2	0	0	6
	女	0	0	2	1	3	0	0	72
	計	0	0	4	1	5	0	0	78
9月	男	1	0	1	0	1	0	0	6
	女	0	0	6	0	7	0	0	72
	計	1	0	7	0	8	0	0	78
10月	男	0	0	1	0	1	0	0	7
	女	0	0	3	0	1	0	0	71
	計	0	0	4	0	2	0	0	78
11月	男	0	0	1	0	0	0	0	7
	女	0	0	2	2	3	2	0	73
	計	0	0	3	2	3	2	0	80
12月	男	0	0	0	0	1	0	0	8
	女	1	0	6	0	8	0	0	72
	計	1	0	6	0	9	0	0	80
1月	男	0	0	1	1	1	1	0	7
	女	0	0	4	0	4	0	0	71
	計	0	0	5	1	5	1	0	78
2月	男	0	0	0	1	0	0	0	7
	女	0	0	7	1	6	1	0	71
	計	0	0	7	2	6	1	0	78
3月	男	0	0	0	0	1	0	0	8
	女	2	0	2	0	2	1	0	72
	計	2	0	2	0	3	1	0	80
30年度総計		7	0	56	9	65	5	1	
29年度総計		10	5	27	11	41	9	3	

※退所欄「その他」は在宅復帰者・一時利用(入所)契約の終了者等。

※入所欄「その他」は、軽費老人ホーム・老人保健施設、有料老人ホーム等からの入所。

※一時入所者2名含む。(29年度4名)

※入院による退所は7日経過後の人数。(介護保険法上の規定)

※入院者総数(7日以内退院者含む)65名(29年度46名)

[最近3年間の推移]

年度	入所者数	退所者数
28	62	62
29	53	53
30	72	71

(2) 年齢分布等の構成

平成31年 3月31日現在(以下同)

年齢区分	男 性		女 性		計	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
100歳以上	0	0.0	2	2.7	2	2.5
90～99	2	28.5	38	52.1	40	50.0
85～89	2	28.5	14	19.2	16	20.0
80～84	2	28.5	11	15.1	13	16.3
75～79	0	0.0	5	6.8	5	6.2
70～74	1	14.5	1	1.4	2	2.5
65～69	0	0.0	2	2.7	2	2.5
60～64	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	7	100.0	73	100.0	80	100.0

(小数点第2位四捨五入)

平均年齢 88.4歳

最高年齢 102歳

男性 84.6歳

最低年齢 66歳

女性 88.8歳

※過去平均年齢 28年度89.2歳 29年度88.0歳

男女比

性 別	人数	(%)
男 性	7	8.8
女 性	73	91.2
合 計	80	100.0

(3) 認知症日常生活自立度状況(年度末現在)

認知レベル	28年度	29年度	30年度	%
自 立	0	1	1	1.2
I (軽度)	2	4	3	3.8
II (中度)	18	17	17	21.2
III (重度)	44	37	35	43.8
IV (最重度)	12	17	19	23.8
M (治療対象レベル)	3	3	5	6.2
合 計	79	79	80	100

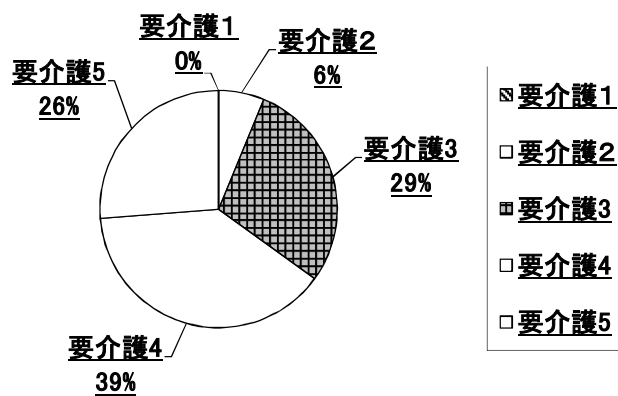
※Ⅱ・Ⅲは各々a・bに分かれるが一括して集計

※Ⅲ以上の割合：74% (29年度72.2%)

(4) 要介護度別分布

区 分	要 介 護 度 別 内 訳					計
	1	2	3	4	5	
人 数	0	5	23	31	21	80
構成比 (%)	0.0	6.2	28.8	38.8	26.2	100.0
29年度構成比	0.0	5.1	32.9	39.2	22.8	100.0

※ 4+5 合計割合比率：28年度 59.5% 29年度 62.0% 30年度 65.0%



※平均要介護度：平成28年度 3.80 平成29年度 3.71 平成30年度 3.85

(5) ホーム骨折件数及びインフルエンザ等感染症発生状況

月	日	年齢	発生部位	時 間	発生場所	入院期間	処 置
4	7	99	左尺骨骨折	不明	不明	0	保存
4	27	97	腰椎圧迫骨折	不明	不明	0	保存
8	3	90	左上腕骨外科頸骨折	不明	不明	0	保存
10	29	92	第2腰椎圧迫骨折左上腕骨外科	5時43分	居室	0	保存
11	9	82	腰椎圧迫骨折	不明	不明	21	保存
1	29	93	第1腰椎圧迫骨折	不明	不明	0	保存
合計	6		※29年度骨折件数5件				

・インフルエンザ（A・B型）－4名(A)

※インフルエンザ予防接種－76名 11月実施

・胃腸炎－5名

(6) ホーム救急車要請件数

月	日	年齢	症 状	時 間	場 所
4	30	94	嘔吐等	18時30分	居室
5	21	86	肺炎の疑い	22時00分	居室
6	4	91	意識低下	17時30分	居室
	21	92	酸素飽和度低下	1時50分	居室
	28	92	発熱、血圧低下	3時40分	居室
8	11	78	呼吸不全	11時00分	居室
	26	99	酸素飽和度低下	19時30分	居室
10	1	92	酸素飽和度低下	20時00分	居室
	21	98	意識低下	8時45分	居室
11	10	93	呼吸停止	10時40分	居室
1	13	95	意識低下	11時00分	居室
	14	93	意識低下	10時00分	居室
	18	90	顔面蒼白	23時20分	居室
	26	99	心肺停止	12時50分	居室
	28	84	吐血	19時20分	居室
2	12	93	酸素飽和度低下	14時10分	居室
	16	92	酸素飽和度低下	17時25分	居室
3	4	89	血圧低下	10時05分	居室
合計	18		※29年度救急車要請19件		

※夜間・早朝時間帯オンコール件数9件（オンコール：看護職員との24時間連絡体制）

※（5）（6）ショートステイは救急車要請0件 骨折事故0件。

(7) ヒヤリハット・事故状況

ヒヤリハット報告状況

※受診・治療にいたらなかったもの

	ホーム	ショート	合計
4月	12	5	17
5月	8	1	9
6月	19	4	23
7月	11	1	12
8月	5	1	6
9月	9	3	12
10月	15	3	18
11月	8	1	9
12月	14	0	14
1月	5	2	7
2月	11	0	11
3月	3	0	3
合計	120	21	141
28年度	152	19	171
29年度	151	19	170

事故報告状況(感染症含む)

※受診・治療を行ったもの

但し、感染症はホーム内療養者含む。

	ホーム	ショート	合計
4月	3	0	3
5月	1	0	1
6月	4	0	4
7月	1	0	1
8月	4	0	4
9月	1	1	2
10月	3	0	3
11月	2	1	3
12月	4	0	4
1月	7	0	7
2月	4	2	6
3月	4	0	4
合計	38	4	42
28年度	55	7	62
29年度	37	3	40

[内訳] 創傷・打撲等－2件
骨折－6件
胃腸炎－5件
インフルエンザ－6件
所在不明－1件
肺炎等その他－22件

(8) 医療器具使用者等医療状況

項 目	30年度 末人数	割合(対在籍80 名)	29年度 末人数
胃瘻実施者	2	2.5%	2
痰吸引者	4	5.0%	1
バルン挿入者	0	0.0%	0
ペースメーカー	3	3.8%	3
B・C型肝炎	3	3.8%	5
MRSA・ 緑膿菌保菌	0	0.0%	0

(9) 防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓 練 内 容
4	26	木	夜間出火想定（火点：4階 機械浴室）
5	24	木	夜間出火想定（火点：5階 給湯室）
6	28	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム6階 洗濯室）
7	26	木	夜間出火想定（火点：4階 機械浴室）
8	23	木	夜間出火想定（火点：5階 給湯室）
9	27	木	夜間出火想定（火点：わかくさ荘 306号室）
10	25	木	昼間出火想定（火点：1階 クリーニング室）
11	25	日	町会合同防災訓練（火点：5階 511号室）
12	20	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム7階 洗濯室）
1	25	木	夜間出火想定（火点：4階 機械浴室）
2	28	木	夜間出火想定（火点：4階 機械浴室）
3	28	木	夜間出火想定（火点：5階 事務室）

(10) 職員研修・見学参加状況

(外部研修)

主催	研修名	実施日	人数
東京都社会福祉協議会	第1回ソーシャルワークアカデミー	4月21日～全11回実施	1
品川介護福祉専門学校	医療的ケア（喀痰吸引等）研修	5月～3月	5
しかくの学校ホットライン	介護福祉士 実習指導者講習会	6月10.29日、7月12.19日	1
品川介護福祉専門学校品川福祉カレッジ	認知症研修専門コース	6月4日、7月18日、11月19日、11月22日、2月21日	1
田園調布大学	社会福祉士 実習指導者講習会	6月30日～7月1日	1
㈱ゆう建設設計	これからの特養ホームのスタンダードを考える	6月30日	1
JASPA介護リフト普及協会	リフトリーダー養成研修会	8月2.3日	2
東京都福祉保健財団	虐待防止研修	8月22日、1月15日	2
東京都福祉保健財団	ヒヤリハット事例を交えたリスク管理と福祉用具を使った安全で質の高いケア	9月6日	1
品川介護福祉専門学校品川福祉カレッジ	高齢者の骨折 転倒予防と合併症予防の観点から	9月12日	1
品川介護福祉専門学校品川福祉カレッジ	口腔機能向上・ケア講座	9月21日、10月10日 11月12日	2
品川区高齢福祉課	第1回地域共生社会推進全国サミットinながくて	10月18.19日	1
全国社会福祉協議会	国際福祉機器展	10月10～12日	2
アビリテーズ	介護リフト活用セミナー	10月30日、11月9.27日、 12月14日	6
東京都社会福祉協議会	認知症に関する研修会 体験から基礎を学ぶ	11月2日	1
東京都社会福祉協議会	ショートステイ情報連絡会	11月20日	1
品川介護福祉専門学校	認知症の特性を有する知的障害者のケア	12月20日	1
アビリテーズ	天井走行リフト活用セミナー	1月23日	1
社会保険連絡協会	ターミナルケアの実践	1月24日	1
社会福祉保健協会	家族からのヘビークレームへの対抗策	2月1日	1
㈱ブティックス	ケアテックス 介護施設産業展 介護施設ソリューション	2月7日	1
東京都福祉保健財団	指定更新事業者研修会	2月20日	1
品川消防署	上級救命講習	1月31日、2月27日、3月22日	9
品川消防署	小規模福祉施設防火講習会	3月26日	1
東京都福祉保険財団	東京都介護支援専門員実務者研修	年間通して参加	1

(内部研修)

主催	研修名	実施日	人数
晴楓ホーム	全体ミーティング（第1回） （事業計画・報告・虐待防止・身体拘束・事故防止・看取り・感染症・予算 等）	①6月26日 ②7月3日 ③7月10日	全介護 職員 対象
晴楓ホーム	全体ミーティング（第2回） （事業計画・虐待防止・身体拘束・事故防止等）	①2月6日 ②2月13日 ③2月20日	全介護 職員 対象
晴楓ホーム	感染症予防研修（ガウンテクニック、吐しゃ物処理等）	全2回実施	全介護 職員 対象
晴楓ホーム	リフト勉強会（リフトリーダー研修受講者による実技勉強会）	全12回実施	全介護 職員 対象
法人研修	法人経営者研修	8月25日	1
法人研修	法人経営基礎研修	①11月10日 ②12月1日	4
法人研修	虐待防止研修	6月13, 19日	全介護 職員 対象
法人研修	新人フォローアップ研修	10月2日	2
法人研修	現任研修（実務研究発表）	11月17日	4
法人研修	感染症予防研修	11月28日	4
法人研修	現場リーダー研修	7月8日	1

(11) 行事等実施状況

月 日	行事名等	内 容	備 考
4 5 22 26	利用者集会 家族会交流会 防災訓練(4階)	※毎月第1木曜日実施	車いす清掃V○10日 習字V○(4階)18日 ピアノV○(5階)24日 ハーブV○(4階)25日
5 1 3 3 13 24 20	福栄会開設記念日 菖蒲湯週間 利用者集会 福栄会まつり 防災訓練(5階) 家族会交流会	模擬店、アトラクション等	ひろまち保育園交流会18日 ピアノV○(5階)22日 ハーブV○(4階)30日
6 7 9,10 17 28 28	利用者集会 町内祭礼(お神輿来所) 家族会交流会 防災訓練(東海ホーム) 利用者健康診断	1階中庭 ※消火訓練参加 採血・心電図	車いす清掃V○12日 アコーディオンV○12日 ピアノV○(5階)26日
7 5 7 13 15 16 19 26	利用者集会 七夕 お盆/迎え火 家族会交流会 お盆/送り火 花火大会 防災訓練(4階)	短冊作り・飾りつけ 1階中庭(東海ホーム合同) 1階中庭(東海ホーム合同) 1階中庭(東海ホーム合同)	コーラスV○(4階)6日 韓国ムハクコンサート16日 ピアノV○(5階)24日 ウクレレV○(5階)30日 ハーブV○(4階)31日
8 2 4 21 23	利用者集会 刈崎町会納涼祭 物故者慰霊法要 防災訓練(5階)	利用者参加 1階ロビー・中庭にて慰霊札安置供養	ハーブV○(4階)28日
9 2 6 11 17 27 26 30	家族会交流会 利用者集会 長寿を祝う会 敬老の日 防災訓練(わかくさ荘) 不在者投票 東海道・宿場まつり	行事食 消火班にて参加 品川区長選挙 江戸風俗行列参加・見学(天候不良中止)	ひろまち保育園交流会12日 ピアノV○(5階)18日 ハーブV○(4階)26日

月 日	行事名等	内 容	備 考
10 4 25 26 28	利用者集会 防災訓練(クリーニング室) 福祉サービス第三者評価利用者調査 家族会交流会	消火班にて参加 調査機関：公益社団法人長寿社会福祉文化協会	合唱V○5日 ジブラルタ生命清掃V○6日 車いす清掃V○9日 アコーディオンV○12日 ピアノV○(5階)23日 ハーブV○(4階)30日
11 1 4 6 18 18 25	利用者集会 運動会(4階) 秋のさんま祭り 家族会交流会 寿司メニュー 町会合同防災訓練(火点5階) インフルエンザ予防接種	1階中庭 行事食 ※ホーム嘱託医にて複数回実施	ピアノV○(5階)21日 ハーブV○(4階)29日
12 6 16 19 20 23 25～ 31	利用者集会 家族会交流会 冬至 柚子湯週間 防災訓練(東海ホーム7階) 年末大会 書道展 大晦日	消火班にて参加 クリスマス・忘年会等行事 1階ロビー東海、在宅、しいのき合同 年越しそば	ウクレレV○3日 車いす清掃V○11日 ピアノV○(5階)17日 ハーブV○(4階)25日 (～1月4日まで)
1 1 7 10 11 17 20 24	元旦・新年理事長挨拶 七草粥 利用者集会 鏡開き 職場訪問(東海中学校7年生) 家族会交流会 防災訓練(4階)	祝膳行事食(1、2日) 初詣等 昼食ぜんざい 4名来園 介護の仕事説明	ハーブ演奏V○(4階)28日 ピアノV○(5階)30日
2 3 7 7,8 28	節分 利用者集会 職場体験(東海中学校8年生) 防災訓練(5階)	法人合同による豆まき、鬼退治	車いす清掃V○12日 ハーブ演奏V○(4階)25日 ピアノV○(5階)26日
3 3 7 24 24 28	ひな祭り 利用者集会 家族会交流会 晴楓家族懇談会 防災訓練(5階)		ウクレレV○22日 ハーブ演奏V○(4階)25日

(12)晴楓ホームの利用者状況経過

※入所・退所者実数は退院再入所・入院退所者を含む。

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入所者実数	51	67	77	52	45	64	68	67	90	74	49	54
退所者実数	54	65	51	45	51	56	71	74	80	67	54	50
平均年齢	87.0	87.0	87.0	88.0	89.0	89.9	90.6	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
男性数(3月末)	13	12	10	14	14	13	14	10	7	8	9	11
女性数(3月末)	63	65	67	64	64	67	63	62	64	71	68	65
平均要介護度	3.88	3.80	3.92	3.83	3.73	3.50	3.60	3.60	3.60	3.60	3.70	3.70
特養利用率	96.7%	93.1%	94.3%	95.0%	94.2%	95.7%	96.9%	93.7%	95.0%	97.8%	97.7%	95.9%
ショート利用率	118.0%	133.9%	119.5%	133.7%	136.9%	127.0%	128.3%	109.1%	114.4%	109.0%	96.0%	92.8%
合計利用率	98.7%	96.8%	96.6%	98.5%	97.7%	98.5%	99.7%	95.1%	96.1%	98.8%	97.5%	95.4%

	28年度	29年度	30年度
入所者実数	62	53	71
退所者実数	62	53	70
平均年齢	89.2	88.0	88.4
男性数(3月末)	10	8	7
女性数(3月末)	69	71	73
平均要介護度	3.80	3.71	3.85
特養利用率	95.0%	99.0%	98.7%
ショート利用率	107.0%	119.0%	118.7%
合計利用率	96.1%	100.8%	100.5%

東海ホーム（軽費老人ホームA型）事業報告

1. 基本方針

- （１）家庭的で開放された施設作りを目指しました。
- （２）虐待防止規定に基づき虐待防止に向けた取り組みを進めました。
- （３）地震等災害への自衛防災体制の徹底を図りました。

2. 重点目標

- （１）レクリエーション活動などのプログラムの提供を図り、利用者が健康を維持し、その人らしい活動的な生活を送れるよう生活支援の向上を図りました。
- （２）利用者が地域で生活することを支援するとともに、社会参加を押し進めました。また、地域貢献活動等への職員派遣を行うなど地域で支え合う関係作りを進めました。
- （３）設備整備を行い良好な居住環境を提供し、利用者が快適な生活を送れるように整備しました。

3. 東海ホーム実績資料

(1) 利用者の入退園状況

月		入園者数			退園者数		
		家庭から	その他	病院から	特養ホームへ	その他へ	ご逝去
4月	男				1		
	女	1					
	計	1			1		
5月	男						
	女		1				
	計	1					
6月	男						
	女						
	計						
7月	男						
	女						
	計						
8月	男	1					
	女					1	
	計	1			1		
9月	男					1	
	女					1	
	計				2		
10月	男	1					
	女						
	計	1					
11月	男						
	女						
	計						
12月	男						
	女						
	計						
1月	男				1		
	女						
	計				1		
2月	男						
	女	1					1
	計	1			1		
3月	男	1				1	
	女						
	計	1			1		
総計	男	3			2	2	
	女	2	1			2	1
計		6			7		

※入園その他とは、特養ホーム・老人保健施設・有料老人ホーム等

※退園その他とは、民間アパート・高齢者住宅・老健・病院・有料老人ホーム等

(2) 年齢構成等

[平成31年3月31日現在]

年齢区分	男性 (20名)		女性 (29名)		合 計	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
100歳以上	0		0		0	
95～99	0		3	6.9%	3	4.0%
90～94	2	19.0%	6	20.7%	8	20.0%
85～89	3	9.5%	6	20.7%	9	16.0%
80～84	5	23.8%	7	31.0%	12	28.0%
75～79	3	19.0%	3	10.3%	6	14.0%
70～74	5	23.8%	2	6.9%	7	14.0%
65～69	2	4.8%	2	3.5%	4	4.0%
60～64	0		0		0	
合計	20	100%	29	100%	49	100%

平均年齢 82.0 歳

男性 78.9 歳

男性最高年齢

94歳 (大正14年生)

女性 84.2 歳

女性最高年齢

96歳 (大正12年生)

(3) 在籍期間

[平成31年3月31日現在]

	1月以内	1月 ～6月以内	6月 ～1年以内	1年 ～3年以内	3年 ～5年以内	5年 ～10年	10年以上
男	1	0	1	4	4	6	4
女	0	1	2	10	8	4	4
合計	1	1	3	14	12	10	8

※最長 平成2年8月入所 28年在籍 (女性)

※平均 5.6年

(4) 介護度状況・ホームヘルプ[※]-利用状況 (人)

[平成31年3月31日現在]

区分	人数	ホームヘルプ [※] -利用状況		デイサービス・リハビリ 等利用状況	訪問看護	訪問リハ 単リハ
		生活援助	身体介護			
なし	4	0	0	0	0	0
総合事業	11	7	0	4	0	1
要支援1	7	2	1	0	1	2
要支援2	10	10	5	5	1	3
要支援合計	17	12	6	5	2	5
要介護1	10	7	5	4	1	1
要介護2	7	7	5	5	0	1
要介護3	2	0	2	2	0	0
要介護4	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0
新規調査中	0	0	0	0	0	0
区分変更中	0	0	0	0	0	0
要介護合計	19	14	12	11	1	2
合計	36	26	18	16	3	7

※生活援助 (洗濯・外出同行等)

※身体介護 (通院・外出介助等)

(5) 要介護者の主な職員介助内容

[平成31年3月31日現在]

介助内容	人数	備考欄
入浴	15	見守り・声掛け含む
喫食	8	声掛け・誘導
通院	12	職員通院同行者 *生活保護受給者含む
服薬	21	居室セット含む
排泄	4	トイレ誘導・オムツ交換

(6) 身体障害者手帳所持状況

[平成31年3月31日現在]

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
1種	2	0	0	0	0	0	2
2種	0	0	1	1	0	0	2

(7) 愛の手帳所持状況

[平成31年3月31日現在]

	1度	2度	3度	4度	計
人数	0	1	2	3	6

(8) 利用料別内訳

[平成31年3月31日現在]

①本人負担額 (平成12年7月1日以降に入所の方)

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	54,230	10,000	64,230	35
2	54,230	13,000	67,230	2
3	54,230	16,000	70,230	
4	54,230	19,000	73,230	2
5	54,230	22,000	76,230	1
6	54,230	25,000	79,230	4
7	54,230	30,000	84,230	2
8	54,230	35,000	89,230	2
9	54,230	40,000	94,230	
10	54,230	45,000	99,230	
11	54,230	50,000	104,230	
12	54,230	57,000	111,230	
13	54,230	64,000	118,230	
14	54,230	71,000	125,230	
15	54,230	78,000	132,230	
16	54,230	85,000	139,230	
17	54,230	93,000	147,230	
18	54,230	101,000	155,230	
19	54,230	109,000	163,230	
20	54,230	117,000	171,230	
21	54,230	119,100	173,330	
	合計			48

②本人負担額

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	35,550	0	35,550	
2	38,950	0	38,950	
3	41,250	0	41,250	
4	43,250	0	43,250	
5	45,250	0	45,250	
6	47,250	0	47,250	
7	49,250	0	49,250	
8	51,250	0	51,250	
9	53,250	0	53,250	
10	55,850	0	55,850	
11	58,550	0	58,550	
12	61,250	0	61,250	1
13	63,850	0	63,850	
14	64,230	0	64,230	
	合計			1

※本人負担額＝生活費＋サービスの提供に要する費用＋冬季暖房費

※冬季暖房費・本人負担額（11月～3月） 一室を一人で利用しているもの 2, 130円(月額)

注1) 平成12年6月30日以前入所者で、前年の対象収入が126万円以下の者は、②の表を適用する。

注2) 対象収入(利用料算出の基になる収入)とは、前年の収入(社会通念上収入として認定することが適当でないものを除く)から租税、社会保険料、医療費等必要経費を控除した後の収入をいう。

(9) ヒヤリハット・事故報告状況

ヒヤリハット状況報告				
	6階	7階	その他	合計
4月				
5月				
6月	1			1
7月	1	2		3
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月		1		1
2月				
3月		1		1
合計	2	4	0	6
29年度	3	3	0	6
28年度	2	0	1	3
27年度	2	2	0	4

<内訳> 熱中症(1)・転倒(5)

事故報告状況			
	6階	7階	合計
4月	1	1	2
5月			
6月			
7月	1		1
8月	1		1
9月	1		1
10月	1		1
11月		1	1
12月			
1月		1	1
2月	1		1
3月			
合計	6	3	9
29年度	4	3	7
28年度	5	2	7
27年度	5	2	7

<内訳> 腹痛(1)・緊急対応(1)・転倒(5)・頭痛(1)
その他(1)

(10) 結核・インフルエンザ・感染性胃腸炎疑い発生状況

	結核	インフルエンザ	感染性胃腸炎
27年度	0	1	0
28年度	0	5	0
29年度	0	5	0
30年度	0	5	0

(11) 救急対応8件

頭痛(1)、腎盂腎炎(1)、左大腿骨頸部骨折(1)、低ナトリウム血症(1)
呼吸苦(1)、一過性貧血(1)、転倒(2)

(1 2) 防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓練内容 (火 点 等)	利用者参加者数
4	26	木	夜間出火想定 (火点：4 階 機械浴室)	29
5	24	木	夜間出火想定 (火点：5 階 給湯室)	40
6	28	木	夜間出火想定 (火点：東海ホーム 6 階 洗濯室)	39
7	26	木	夜間出火想定 (火点：4 階 機械浴室)	38
8	23	木	夜間出火想定 (火点：5 階 給湯室)	33
9	27	木	夜間出火想定 (火点：わかくさ荘 3 0 6 号室)	37
10	25	木	昼間出火想定 (火点：1 階 クリーニング室)	35
11	25	日	町会合同防災訓練 (火点：5 階 5 1 1 号室)	44
12	20	木	夜間出火想定 (火点：東海ホーム 7 階 洗濯室)	33
1	24	木	夜間出火想定 (火点：4 階 機械浴室)	33
2	28	木	夜間出火想定 (火点：4 階 機械浴室)	33
3	28	木	夜間出火想定 (火点：5 階 事務室)	32

(1 3) 外部研修参加状況

主催	実施日	研 修 名	受講職員職種
東京都レクリエーション協会 (年4回)	7月21日・29日、2月9日・11日	介護予防レクリエーションセミナー	介護職員 (4 名)

(1 4) 福祉専門学校等実習生の受入れ

学校名：品川区社会福祉協議会社会福祉士養成コース

同	6月1日～12日 (8日間)	1名
同	7月3日～12日 (8日間)	1名
同	9月10日～20日 (8日間)	1名
東京医科歯科大学	8月1日～3日	1名
同	8月20日～22日	1名

(15) 事業実施報告

月	日	行事・活動名	内 容	備 考
4	1 5 8 10 11 13 28	お花見 利用者集会・体重測定 花まつり甘茶 茶話会 折り紙クラブ 書道クラブ 五月人形飾り・工作お花作り	都内ドライブ（千鳥ヶ淵等） 東海ホーム親睦会について	18浜崎町会ミニサロン
5	1 9 10 11 13 18 20 22 31	開設記念日 折り紙クラブ 利用者集会・体重測定 書道クラブ 福栄会まつり ひろまち保育園来訪 カラオケ 東京マックス美容 ワンセットバー	福栄会まつりについて 18:30～19:30	16浜崎町ミニサロン
6	5 7 8～9 8 11 17 19 22 23 26	手話ダンス 利用者集会・体重測定 町内祭礼 町会子ども神輿 書道クラブ ビデオ観賞会 ミニバイキング 東海マップ作り 給食懇談会 ボランティア懇談会 お出かけ行事①	ボランティア 健康診断について 町会 栄養課 栄養課 【日本銀行貨幣博物館・築地・豊洲ドライブ】	20浜崎町会ミニサロン
7	4 5 11 11 12 13 19 19 20 22	お出かけ行事② 利用者集会・体重測定 北品川第二保育園来訪 折り紙クラブ 東海マップ作り お盆入り 16日送り火 ウクレレC 花火大会 ビューティークラブ 音楽療法	【日本銀行貨幣博物館・築地・豊洲ドライブ】 花火大会について・お盆について ボランティアグループ・ウクレレC	18浜崎町会ミニサロン
8	2 4 8 9 14 21 24	利用者集会・体重測定 浜崎町会納涼祭 折り紙クラブ 書道クラブ 東海マップ作り 物故者慰霊法要 ビデオ観賞会	物故者慰霊法要について	15浜崎町会ミニサロン
9	6 11 12 12 13 14 20～26 29～30	利用者集会・体重測定 長寿を祝う会 ひろまち保育園園児来訪 折り紙クラブ 東海中学校敬老訪問 書道クラブ お彼岸 宿場まつり	長寿を祝う会について・宿場祭りについて 卒寿2名、米寿2名、傘寿2名	19浜崎町会ミニサロン

月	日	行事・活動名	内 容	備 考
10	4 6 9 10 10 12 24 25 27	利用者集会・体重測定 第1回家族懇談会 東京マックス 折り紙クラブ ワンセットバー 書道クラブ お出かけ行事① 北品川第二保育園交流会 お出かけ行事②	秋のお出かけ行事について ボランティアグループ 18:30～19:30 【カレッタ汐留・歌舞伎座】 【カレッタ汐留・歌舞伎座】	17洲崎町会ミニサロン
11	1 2 5 6 9 13 16 18 25 26	利用者集会・体重測定 インフルエンザ予防接種 介護予防口腔衛生について 福栄会さんまつり 書道クラブ 東海マップ作り 東海カフェ 寿司バイキング 総合防災訓練 ウクレレC	予防接種・総合防災訓練について 栄養課 ボランティアグループ・ウクレレC	14洲崎町会ミニサロン
12	6 11 14 16 16 21・22	利用者集会・体重測定 利用者健康診断 北品川第二保育園来訪 品川消防署少年消防団来訪 年末の集い ゆず湯	健康診断・年末年始について	19洲崎町会ミニサロン
1	1 7 10 11 17 20 27 28 30	元旦ご挨拶 七草がゆ 利用者集会・体重測定 鏡開き 東海中生徒職場訪問 利用者新年会 ビデオ観賞会 PT体操 ビューティクラブ	感染症予防・新年会について	16洲崎町会ミニサロン
2	3 7 8 13 18 24	節分 利用者集会・体重測定 書道クラブ 折り紙クラブ 東海マップ作り 音楽療法	感染症予防について	20洲崎町会ミニサロン
3	5 7 17～23 23 26 29	手話ダンス 利用者集会・体重測定 お彼岸 第2回家族懇談会 お花見ドライブ ウクレレC	ボランティアグループ・アミカ 年度末・お花見について 【池上本門寺】 ボランティアグループ・ウクレレC	20洲崎町会ミニサロン

(16) 入所選考委員会実施状況

月	日	委員会
4	12	第1回入所選考委員会
11	29	第2回入所選考委員会

在宅サービス課事業報告

1. 基本方針の遵守 ―在宅課共通―

「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」ことを目指し、利用者への自立支援また家族支援等、多職種（他事業所）と連携し柔軟なサービス提供を行い、関係事業者と共に、ご家族・ご本人にとって最適な支援を速やかに実施しました。

2. 重点目標への対応 ―在宅課共通―

（1）安定した利用の確保に努めました。

介護サービスを必要とされている利用者に対して、早急に適切な支援を行いました。また、他事業所との詳細な連絡・連携を取ることで、より一層信頼される事業所づくりを行いました。また、職員の資格取得を推奨し、専門性の高い職員育成を行いました。

（2）地域に根ざした施設運営の充実を図りました。

地域サロンの開催拠点の拡大は検討致しましたが、実施には至りませんでした。総合事業対象者へのサービス（通所型サービスB）の事業開始を行い、30年度は事業の充実を図り、地域住民と連携して地域に根ざした施設運営を図りました。

（3）高齢者・障害者福祉部との連携強化を図りました。

障害者福祉サービスや高齢者福祉サービス等、包括的支援を目指し、利用者にとって切れ目のないサービス提供を行いました。

在宅サービス課職員研修報告（東品川在宅介護支援センター／東品川在宅サービスセンター／ヘルパーステーション東品川）

※区分 ①法人 ②品川区 ③東京都・社協 ④その他（事業所外） ⑤事業所内

区分	研 修 名	内 容	実 施 日	参 加 者
東品川在宅介護支援センター				
③	精神保健福祉研修	高齢期の精神疾患の理解を深めるために	6月8日	1名
①	虐待防止研修	虐待予防・防止について学ぶ	6月13日、19日	8名
②	虐待防止研修	虐待予防・防止について学ぶ	6月26日	1名
③	精神保健福祉研修	アウトリーチ支援について学ぶ	6月28日	1名
④	認知症ケア専門コース研修	認知症の方への支援について学ぶ	6月13日～9月13日	1名
②	住宅改修研修	住宅改修理由書等について学ぶ	7月19日	3名
①	安全衛生委員会研修	「うつ」予防と早期対処について	7月20日	4名
①	在宅サービス課全体研修	30年度重点目標、基本方針など	7月21日	6名
①	防犯研修	施設内における危機管理および防犯の知識を学ぶ	8月23日	4名
②	介護予防機能強化推進事業研修	自立支援の重要性について学ぶ	9月20日	3名
③	主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員の役割などについて学ぶ	9月28日～平成31年1月22日	1名
②	ケアマネジメント質の向上研修	課題整理総括表の活用し、ケアプラン点検を行う	10月22日、29日	2名
①	法人経営基礎研修	計画的に部署目標を達成するための基礎知識を学ぶ	11月10日	2名
①	安全運転講習会	安全運転や危機管理について学ぶ	11月13日	7名
①	平成30年度感染症予防研修	消毒法と感染症の基礎知識、吐物処理方法を学ぶ	11月28日	4名
③	自立支援・重度化防止に向けた介護支援専門員研修	医療等の多様な視点からのアセスメントを学ぶ	12月4日～H31年2月20日	1名
③	精神保健福祉研修	精神保健福祉の動向を読み、今後の支援につなぐ	12月18日	1名
③	精神保健福祉研修	ネット・ゲーム依存について理解し、支援に活かす	1月16日	1名
③	精神保健福祉研修	障害のある方を地域で支えるために	1月17日	1名
①	法人研修	上級救命研修	1月31日	1名
④	介護予防研修	介護予防事業について学ぶ	3月1日	3名
②	認知症カフェフォーラム研修	認知症カフェの意義や目的を学ぶ	3月17日	1名
②	介護予防マネジメント研修	予防事業、予防マネジメントについて学ぶ	3月18日	1名
東品川在宅サービスセンター				
③	介護支援専門員実務研修	介護支援専門員実務研修	4月～7月	1名
③	社会福祉施設長資格認定講習	施設長として必要な資格要件を取得	5月～1月	1名
②	新任研修(品川区福祉部)	福祉部新任職員向け部内事業概要	5月22日	1名
①	虐待防止研修	虐待予防・防止について学ぶ	6月13日、19日	16名
②	多職種連携システム説明会	システム概要を理解するための説明会	6月25日	1名
⑤	送迎についての研修	送迎マニュアルの見直し	6月中	33名
①	安全衛生委員会研修	「うつ」予防と早期対処について	7月20日	8名
①	在宅サービス課全体研修	30年度重点目標、基本方針など	7月21日	14名
①	防犯研修	施設内における危機管理および防犯の知識を学ぶ	8月23日	10名
①	法人経営者研修	福栄会3か年計画及び社会福祉法改正について	8月25日	1名
②	介護予防～自立支援について考える～	自立支援の重要性について学ぶ	9月20日	5名
②	地域ミニデイ運動講習会	地域ミニデイで実施する体操講習	10月1日	4名
③	認知症介護実践者研修	認知症介護実践者研修	10月4日～30日	1名
③	認知症対応型サービス事業管理者研修	認知症対応型通所介護等の事業運営について	11月6日～13日	1名
①	法人経営基礎研修	計画的に部署目標を達成するための基礎知識を学ぶ	11月10日、12月1日	2名
①	安全運転講習会	安全運転や危機管理について学ぶ	11月13日	10名
④	リハビリテーション専門講座(品川福祉カレッジ)	リハビリテーション専門講座	11月14, 21, 28日、12月12日	2名
①	業績評価者研修	職員の業績評価の方法を学ぶ	11月21日、28日	2名
①	平成30年度感染症予防研修	消毒法と感染症の基礎知識、吐物処理方法を学ぶ	11月28日	9名
③	指定更新事業者研修会	介護サービス利用者の尊厳の確保等	2月20日	1名
④	上級救命講習	上級救命講習	3月22日	2名
ヘルパーステーション東品川				
⑤	基礎研修	訪問時の注意・接遇マナーについて	5月14日	7名
①	虐待防止研修	虐待予防・防止について学ぶ	6月13日・19日	6名
④	難病患者等ホームヘルパー養成研修難病基礎課程Ⅰ	難病の定義等	6月23日	1名
①	安全衛生委員会研修	「うつ」予防と早期対処について	7月20日	6名
⑤	基礎研修	緊急時の対応について	9月28日	6名
①	平成30年度感染症予防研修	消毒法と感染症の基礎知識、吐物処理方法を学ぶ	11月28日	5名
④	行動援護従業者養成研修	行動援護について	11月3・22・30日	1名
⑤	基礎研修	生活援助	12月18日	6名

在宅サービス課職員研修報告（大崎在宅介護支援センター／大崎在宅サービスセンター／五反田保育園ふれあいデイホーム）

※区分 ①法人 ②品川区 ③東京都・社協 ④その他（事業所外） ⑤事業所内

区分	研 修 名	内 容	実 施 日	参 加 者
大崎在宅介護支援センター				
③	精神保健福祉研修	高齢期の精神疾患の理解を深めるために	6月8日	1名
①	法人研修	虐待予防・防止研修	6月13日	11名
③	精神保健福祉研修	パーソナリティー障害の理解	6月22日	1名
①	品川区の施設入所について	施設入所支援研修	6月25日	2名
③	精神保健福祉研修	アウトリーチ支援研修	6月28日	1名
③	精神保健福祉研修	家族を理解し支援につなげるために	7月30日	1名
①	法人研修	防犯研修	8月23日	6名
②	介護予防ケアマネジメント研修	介護予防研修	9月20日	3名
②	ケアプランサポート研修	ケアプランサポート研修	10月22日	3名
①	法人研修	法人経営基礎研修	11月10日	1名
①	法人研修	安全運転者研修	11月13日	5名
①	法人研修	感染症研修	11月28日	1名
③	精神保健福祉研修	自殺に傾くところを読み取る	12月7日	2名
③	虐待防止について	高齢者虐待防止研修	1月15日	1名
③	精神保健福祉研修	障害のある方を地域で支えるために	1月17日	3名
①	上級救命研修	上級救命研修	2019/1/31:2/28	4名
③	精神保健福祉研修	高齢者詐欺に遭わないために	2月13日	1名
②	介護予防ケアマネジメント研修	介護予防研修	3月1日	3名
②	介護予防ケアマネジメント研修	介護予防マネジメント研修	3月18日	2名
大崎在宅サービスセンター				
②	新任研修(品川区高齢者福祉部)	福祉部の新任職員向けの部内に係わる事業概要	5月22日	1名
①	虐待防止研修	虐待予防・防止について学ぶ	6月13日、19日	10名
⑤	送迎についての研修	送迎マニュアルの見直し	6月19、20日	1名
②	多職種連携システム説明会	システム概要を理解するための説明会	6月25日	1名
①	安全衛生委員会研修	職場のメンタルヘルスについて	7月20日	6名
①	在宅サービス課全体研修	30年度重点目標、基本方針など	7月21日	10名
③	初任者職員研修（都社協）	新任研修職員の在り方を学ぶ	8月1、2日	1名
④	認知症ケア専門コース(品川福祉カレッジ)	認知ケアを学ぶ	6月13、7月11、24日、8月22日9月18日	1名
⑤	緊急対応研修	デイサービスにおける緊急対応訓練	8月17日	7名
⑤	OJT研修	介護技術取得の為	8月17日	8名
①	防犯研修	施設内における危機管理および防犯の知識を学ぶ	8月23日	5名
①	法人経営者研修	福栄会3か年計画及び社会福祉法改正について	8月25日	1名
②	介護予防機能強化推進事業研修	介護予防ケアマネジメントについて学ぶ	9月20日	5名
①	法人経営基礎研修	法人経営基礎研修	11月10日	1名
①	安全運転講習会	安全運転や危機管理について学ぶ	11月13日	7名
①	業績評価者研修	職員の業績評価の方法を学ぶ	11月21日	1名
②	緊急対応研修	デイサービスにおける緊急対応訓練	11月23日	9名
①	平成30年度感染症予防研修	適切な感染対策の必要性和その実践方法	11月28日	3名
③	高齢者権利養護研修	高齢者虐待防止研修	1月5日	1名
③	指定更新事業者研修会	介護サービス利用者の尊厳の確保等	2月20日	1名
④	上級救命講習	上級救命講習	3月22日	2名
五反田保育園ふれあいデイホーム				
①	異動職員OJT研修	異動職員OJT研修	4月1日～6月30日	1名
①	虐待防止研修	虐待予防・防止について学ぶ	6月13日、19日	4名
①	安全衛生委員会研修	職場のメンタルヘルスについて	7月20日	3名
①	在宅サービス課全体研修	30年度重点目標、基本方針など	7月21日	2名
①	防犯研修	施設内における危機管理および防犯の知識を学ぶ	8月23日	2名
②	介護予防機能強化推進事業研修	介護予防ケアマネジメントについて学ぶ	9月20日	1名
③	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員更新	9月～10月	1名
①	安全運転講習会	安全運転や危機管理について学ぶ	11月13日	1名
①	実務研究発表会	日常業務の中において改善していること等発表	11月17日	1名
①	法人経営基礎研修	法人経営基礎研修	11月10日	1名
①	平成30年度感染症予防研修	適切な感染対策の必要性和その実践方法	11月28日	3名

在宅介護支援センター事業報告
品川区東品川在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所）
品川区大崎在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所）

1. 基本方針の遵守【共通】

支援を必要とする方のニーズと社会資源を結びつけ、住み慣れた地域で自立した生活ができることを目指します。予防から介護まで継続的包括的支援を行い、一体的・効果的なサービス提供を行いました。

2. 重点目標への対応【共通】

(1) 支援センター機能の充実

①地域包括支援センター機能

品川区と連携し、介護予防事業の効果的な実施・充実を図りました。

②在宅介護支援センター機能

地域の身近な相談窓口として、さまざまな介護相談に対し迅速かつ適切に対応しました。

③ケアマネジメントの質の向上・職員の育成

さまざまなケースに対応できるよう外部研修等に参加し、介護支援専門員のスキルアップに努め、問題解決力の向上を図りました。

また、OJTの流れを整理し、施設全体で新任職員の育成に当りました。

④高齢者虐待の防止

高齢者虐待を防止するため、高齢者保護のための措置、また高齢者を支える養護者の負担軽減を図ることができるよう、関係機関と連携を密にとり適切な対応を行いました。

(2) 地域ネットワーク作りへの取り組み

①外出に不安がある高齢者及び認知症高齢者の支援として、品川区高齢者探索支援システム「くるみプラン」を生活状況や必要度に応じて情報提供を行いながら、申請への促しを行いました。又、品川区や関係機関と連携し、安心して生活が出来る地域づくりを継続して行ないました。

②地域のニーズ把握

支援センターの広報活動を展開すると共に、地域の高齢者ニーズが把握できるよう地域の会議等へ定期的に参加しました。民生委員や町会等との情報共有・連携の強化を図りました。

③認知症高齢者への支援

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らすことを目指し、定期的に認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を開催し一人で

も多くの認知症サポーターを養成しました。

④地区ケア会議の充実

個別のケース検討を通し、他機関・多職種が協働して課題解決にあたり、地域の問題解決力の向上を図ると共に、地域課題を明らかにし、地域づくりについて検討しました。

(3) 介護保険法改正への対応

平成30年度の介護保険法改正について情報収集に努め、その対応について品川区やサービス事業所との連携を図りました。

3. 各支援センター目標

＜東品川在宅介護支援センター＞

①地域との連携

認知症・うつ・閉じこもり予防を目的とした介護予防プログラムなど地域拠点での開催の継続が出来るよう、民生委員やボランティアとの協力関係を構築します。高齢者の健康維持に効果的な活動を提供すると共に、活動を通して自立支援を促しました。

また、「ちえのわ教室」の継続実施、及び「アットホームカフェ」内にて開催している「認知症カフェ」についても継続し、高齢者本人、家族が抱えるさまざまな相談に対応しました。

②品川区立東品川わかくさ荘（品川区立高齢者住宅・50室）等への継続支援及び「東品川身体障害者住宅」（2室）居住者への援助（東品川）

品川区の管理委託を受けて、東品川支援センターと同一建物内にある上記住宅居住者に対し、緊急対応も含め必要な生活支援を行いました。

また、防災対策の意識向上のため、年間複数回の防災訓練及び避難訓練を計画し実施しました。

＜大崎在宅介護支援センター＞

①地域との連携・社会貢献活動（地域交流・元気高齢者等への生きがい活動）の充実）を実施しました。

地域の核となる大崎第二地域センターで行われる会議や交流事業等に参加し、近隣の町会等と連携を密に行いました。又、地域のニーズを把握し、大崎エリア3施設協働で社会貢献活動を実施しました。

②事業所間連携の強化

当法人通所介護事業所と情報交換・連携を綿密に行い、柔軟かつ強みを生かした事業運営を行い、また障害者地域生活支援センターとも連携を図り、高齢障害者の介護保険サービス利用が円滑に行えるよう支援しました。

在宅介護支援センター利用状況

東品川在宅介護支援センター

項 目 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数（新規）	4	6	2	7	2	2	4	1	2	1	3	7	41
認定調査件数（更新）	17	30	29	31	22	16	32	23	12	34	25	32	303
認定調査件数 合計	21	36	31	38	24	18	36	24	14	35	28	39	344
実態把握ﾌﾟﾚｽ予防・介護給付	23	14	18	19	24	19	16	28	16	13	25	22	237
実態把握ﾌﾟﾚｽ予防事業	9	8	18	11	12	4	1	6	7	4	9	6	95
介護予防ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ(生活機能向上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アセスメント等件数合計	32	22	36	30	36	23	17	34	23	17	34	28	332

予防給付（要支援１）	76	76	78	75	82	82	78	79	80	81	78	76	941
予防給付（要支援２）	74	76	76	80	81	78	75	75	72	70	66	66	889
総合事業対象者	32	31	29	28	28	27	31	30	29	32	32	31	360
予防給付特高 合計件数	182	183	183	183	191	187	184	184	181	183	176	173	2190
介護給付（要介護１）	78	78	75	71	75	75	75	73	72	68	64	64	868
介護給付（要介護２）	31	39	41	41	42	42	42	40	39	39	39	41	476
介護給付（要介護３）	28	27	27	26	25	28	28	31	29	28	28	32	337
介護給付（要介護４）	15	11	12	14	13	15	15	13	15	14	14	15	166
介護給付（要介護５）	6	10	7	9	6	5	3	7	10	5	7	3	78
介護給付合計	158	165	162	161	161	165	163	164	165	154	152	155	1,925
予防+介護給付 合計件数	340	348	345	344	352	352	347	348	346	337	328	328	4,115

ちえのわ教室利用実績

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日	7	中止	2	7	4	1	6	3	1	5	2	2	40
参加者人数	10		11	11	7	10	9	7	8	10	5	9	97

大崎在宅介護支援センター

項 目 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数（新規）	5	10	6	8	6	3	7	4	5	3	7	9	73
認定調査件数（更新）	29	35	32	42	28	37	37	39	31	45	33	45	433
認定調査件数 合計	34	45	46	50	34	40	44	43	36	48	40	54	506
実態把握ﾌﾟﾚｽ予防・介護給付	17	27	29	25	28	24	29	19	23	25	29	22	297
実態把握ﾌﾟﾚｽ予防事業	17	13	15	21	14	9	7	9	8	4	11	14	142
介護予防ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ(生活機能向上)	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	11
アセスメント等件数合計	34	41	44	46	42	33	46	28	31	29	40	36	450

予防給付（要支援１）	108	106	108	118	119	114	114	113	109	107	107	110	1,333
予防給付（要支援２）	95	95	96	94	95	92	96	100	103	104	106	104	1,180
総合事業対象者	10	10	11	13	13	13	16	16	16	14	14	14	160
予防給付特高 合計件数	213	211	215	225	227	219	226	229	228	225	227	228	2,673
介護給付（要介護１）	93	92	98	98	95	92	97	90	94	90	90	94	1,123
介護給付（要介護２）	43	43	47	44	46	45	48	52	54	49	52	56	579
介護給付（要介護３）	28	31	31	29	28	33	36	38	36	33	30	28	381
介護給付（要介護４）	26	26	22	20	21	20	21	18	20	18	18	15	245
介護給付（要介護５）	15	15	16	15	14	13	13	13	12	11	10	9	156
介護給付合計	205	207	214	206	204	203	215	211	216	201	200	202	2,484
予防+介護給付 合計件数	418	418	429	431	431	422	441	440	444	426	427	430	5,157

在宅サービスセンター（通所介護事業所）事業報告

1. 基本方針の遵守

利用者のケアプラン（介護サービス計画）に基づき、質の高いサービスの提供を行いました。利用者の心身の状況や変化にいち早く気づき、また介護者である家族等への支援を行いながら、在宅生活の継続に視点を置いたサービスの提供を行いました。

2. 重点目標への対応

- （1）利用者や介護者及び関係事業者と連携を図り、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けることが出来るように、包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を図りました。また、医療的ケアが必要な利用者や認知症高齢者を積極的に受け入れ、同時に家族の介護負担の軽減を図れるように努めました。
- （2）職員が積極的に地域に出て、開放的な施設運営が図れるように町会や関係者との密な関わりを深めました。
- （3）本部施設利用者の他、外部施設利用の利用者にもリハビリサービスが提供できるように、職員（理学療法士）が出向し、高齢者施設、障害者施設、分け隔てなく利用者の身体状況を確認しながら適切なリハビリを提供しました。また、施設職員がリーダーとなり日々のレクリエーション等での生活リハビリを継続しました。

3. サービス提供内容

- （1）東品川在宅サービスセンター（通常規模型通所介護 定員40名）
 - ①品川区総合事業を推進するとともに、中重度の高齢者及び医療的ケアの必要な方を積極的に受け入れました。また、認知症ケアにおいては、専門性のあるプログラムを提供し、認知症予防や利用者の能力の最大活用が出来るように、個々のニーズに合わせたサービスの提供を行いました。
 - ②高齢者福祉部として取り組んでいる地域開放事業（ミニサロン）の活動も内容を見直し、参加者がより楽しめるようなプログラム作りを行いました。
- （2）大崎在宅サービスセンター（通常規模型通所介護 定員35名）
 - ①品川区総合事業対象者や中重度の要介護者等、個々の利用者に合わせた送迎・入浴・排泄等の介護サービスを行いました。胃瘻・痰の吸引・ストマー等の医療的ケアが必要な方についても積極的に受け入れを行いました。また、認知症ケアにおいて、「ご本人の能力の最大発揮」を見出せるよう、個々のニーズに合わせたサービスの提供を行いました。30年度は認知症対応型通所介護の利用者が増加しました。
 - ②デイサービスの休日を利用した地域開放事業での体操教室・予防事業等を継続的に実施できました。地域のニーズを把握しながら近隣住民や自治会長などと連携

- を取りながら、元気高齢者への対応について柔軟かつ積極的に取り組めました。
- (3) 品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム（地域密着型通所介護 定員10名）
- ①利用時の転倒等の事故を予防し、安全に過ごせる環境を整備しました。
 - ②介護予防、いきいき活動の強化を図り、身体的また認知症予防等の重度化を防止できるように努めました。
 - ③大崎在宅介護支援センターと協働で地域開放事業を実施し、施設が地域の拠点となるように地域貢献活動の取組みの充実を図りました。

(4) 介護予防事業

「マシンでトレーニング」（東品川 定員10名）

「身近でトレーニング」（東品川・大崎 定員各12名）

介護予防事業の充実を行い、虚弱高齢者を積極的に受け入れました。また、トレーニング修了者の対応も行いました。

(5) 介護者教室の開催

在宅介護者の方々への介護に関する専門的な情報提供や関心のある身近なテーマを通して、参加者同士の自由な意見交換の場を作りました。開催にあたっては、法人や品川区、関係各機関の協力の下、町会の掲示板等を利用し、多くの方に参加を呼びかけました。

4. 家族介護者、在宅介護支援センター等との連携

サービス担当者会議等を通じて、利用者の心身の状況、おかれている環境、保険・医療サービスの利用状況の把握に努める他、下記の事項を実施しました。

- ①戸別訪問の実施（介護計画作成時等、随時実施）
- ②家族懇談会の実施（年1回実施：4月に実施）
- ③利用者集会の実施（年1回以上：4月のほか、必要に応じ随時実施）

5. 地域との交流、ボランティアの受け入れ促進

- ①行事や施設開放を通じて地域との交流を行い、町内会や近隣の保育園・小学校等の地域活動にも積極的に参加し交流を深めました。
- ②地域開放事業として、折り紙教室「海岸通り」（毎月第2木曜日・第4金曜日）・「東品川ミニサロン」（毎月第2・4金曜日）、「自治八潮会サロン」（毎月第1金曜日）、「洸崎町会サロン」（毎月第3水曜日）を開催し、地域の方の参加を募り、地域交流を促進しました。
- ③デイサービスプログラムメニューを工夫し、ボランティアの方々が短時間でも活動しやすい体制を作り、多くのボランティアの受け入れができました。

認知症対応型通所介護事業報告

1. 基本方針の遵守

少人数で家庭的な雰囲気の中、個別のアセスメントを基に、その人らしさを引き出ししながら個々の利用者の有する能力に応じた支援を提供しました。

2. 重点目標への対応

(1) 認知症対応型通所介護の特性を活かし、特色のある事業運営を行いました。

認知症高齢者の特性を理解することで、個々の利用者に合わせた対応機能の充実を行いました。利用者や家族のニーズに合わせた柔軟な受け入れ体制やサービス提供時間の設定を行い、家族の介護負担軽減に努めました。定期的な家族懇談会を実施し、介護者の孤立を防ぐとともに家族同士による支えあいの活動が実るよう支援しました。

(2) ケアプランに基づく、適正なサービス提供の実施

個々のケアプランに基づき、身体介護、入浴サービス、食事サービス、送迎サービス等を適正に実施・提供しました。個別ケアによる自己選択・自己決定が出来る環境作りに取り組むとともに、個別機能訓練では、福栄会リハビリセンターと連携し、日常生活に生かせる「生活リハビリ」を実施しました。

3. サービス提供内容

(1) 東品川在宅サービスセンター(1単位目 定員12名 「福栄会の家 ぽかぽか」)

利用者サービス向上・家族の介護負担軽減を視野に入れた提供時間の調整を行い、より充実したプログラムを提供しました。(1・2単位共通)

①サービス内容に対する取り組み

ア 入浴サービスは、個々の身体状況に合わせ、利用者・家族と相談の上で、機械浴、介助浴での入浴サービスを行いました。

イ 「なごみ」とのサービス提供時の連携を図り、情報共有に努めました。

ウ 利用者の能力を最大限引き出して頂くために、余暇活動やおやつ作りなど自己決定(選択)できる環境を整えました。

(2) 東品川在宅サービスセンター(2単位目 定員12名 「福栄会の家 なごみ」)

①認知症予防プログラムの構築など、より個々の利用者の有する能力に応じた自立した支援を提供しました。

②サービス内容に対する取り組み

ア 入浴サービスは、「個別浴」方式を採り入れ、体調に留意し、各利用者のペースを重視して実施する体制を整えました。しかし、30年度は利用者が他利用者と入浴することを楽しんでいただけたため、個別浴の実施はありません

でした。

イ 利用者の能力を最大限引き出して頂くために、余暇活動やおやつ作りなど自己決定（選択）ができる環境を整えました。

（３）大崎在宅サービスセンター（定員１２名 「福栄会の家 ほのぼの」）

①住み慣れた家庭や地域の中で日常生活を営むことが出来るよう、日常生活上の支援や機能訓練などのサービスを提供しました。

②サービス内容に対する取り組み

ア 着替えや食事等の日常生活場面では、ゆっくりと自分のペースを保ちながら行って頂くなど、自分で出来ることを維持して頂けるよう支援しました。

イ 入浴サービスは、「個別浴」方式を採り入れ、体調に留意し、各利用者のペースに合わせた入浴を実施しました。３０年度は利用者が他利用者と入浴することを楽しんでいただけたため、個浴の実施数はほとんどありませんでした。

ウ 利用者個々の思いを汲み取りながら、画一的にならないよう自己決定（選択）を尊重し、趣味活動などを一緒に行いました。

（４）在宅介護支援センターと連携し、認知症サポーター研修終了のサポーターグループ等のボランティアの力を活用しました。

（５）介護者教室や認知症家族懇談会を通して、認知症介護から生じるさまざまな問題や課題を理解し、家族同士が交流の場を持つことで、不安やストレスの軽減を図るなど家族支援にも取り組みました。

（６）認知症高齢者の理解をさらに深める取り組みとして、認知症介護基礎研修・認知症介護実践者・管理者研修等を受講し、介護サービスの質の向上を行いました。

〔別紙①〕在宅課年間行事

①東品川在宅サービスセンター・支援センター・ヘルパーステーション

月	日	行事名等	内 容
4	2	お花見ドライブ	季節行事
	2	マシンでトレーニング開始	一般介護予防事業、以降毎週月曜日実施
	3	福栄会まつり実行委員会	以降毎週火曜日実施
	3	係長・主任会議	以降毎月第1火曜日実施
	4	給食委員会	毎月第1週の水曜日実施
	4	身近でトレーニング（水曜日）開始	一般介護予防事業、以降毎週水曜日実施
	5	東海ミーティング（東支援）	以降毎月第1木曜日実施
	6	うんどう教室（北浜公園）	一般介護予防事業、以降毎月第1・3木曜日実施
	6	自治八潮会サロン（東支援）	以降毎月第1金曜日開催
	6	折り紙教室	地域開放交流事業、以降毎月第2木曜日・第4金曜日
	7	身近でトレーニング（土曜日）開始	一般介護予防事業、以降毎週土曜日実施
	7	ちえのわ教室（東支援）	以降毎月第1土曜日実施
	9	東品川地区ケア会議（東支援）	以降毎月第2月曜日実施
	11	管理者会・居宅支援事業所連絡会（東支援）	以降毎月第2水曜日に実施
	11	刈崎町会サロン	以降毎月第3水曜日実施、東海ホーム職員が実施
	13	東品川ミニサロン（第2金曜日）	以降毎月第2金曜日実施
	13	支援職員会議（東支援）	以降毎月第2金曜日実施
	16	茶話会（お誕生会）週間	以降毎月第3週に実施
	19	台場地区ケア会議	以降毎月第3木曜日開催
	20	職員会議	以降毎月1回実施
	21	アットホームカフェ（東支援）	以降毎月第3土曜日実施
	23	ヘルパーミーティング（東支援）	以降毎月第4月曜日実施
	24	在宅課ミーティング	以降毎月最終火曜日実施
	26	法人防災訓練	以降毎月第4木曜日開催
	27	東品川ミニサロン（第4金曜日）	以降毎月第4金曜日実施
5	1	開設記念日	
	5	菖蒲湯週間	
	13	福栄会まつり	5歳児との交流
	18	ひろまち保育園交流	年1回開催
	19	家族懇談会	奇数月第4水曜日に実施
	23	ちえのわ南校（東支援）	年3回開催
	25	認知症サポーター養成講座（東支援）	年3回開催
	26	認知症家族懇談会（アットホーム）	年3回開催
6	5	昭和大学医学部付属看護専門学校実習	5日～8日、11日～14日、26日～29日
	5	城南小学校訪問	5年生体験授業
	7	昭和大学医学部付属看護専門学校実習（東支援）	7日・8日
	20	社会福祉士実習（東支援）	20日・21日
	23	介護者教室	夏場の熱中症対策
	23	ボランティア懇談会	年1回開催
7	4	昭和大学医学部付属看護専門学校実習（東支援）	4日・5日
	6	城南第二小学校職場体験	6年生3名職場体験
	9	東京医療保健大学実習（東支援）	9日・11日
	10	城南小学校訪問	5年生体験授業
	13	わかくさ荘防災訓練（東支援）	年2回開催、法人総合防災訓練
	17	北品川保育園交流	4歳児との交流
	18	東京福祉専門学校実習受け入れ	18日～25日
	21	介護者教室	家庭で出来るやさしい介護技術
	30	すいか割り	30日・31日実施
	31	在宅課全体ミーティング	年1回開催
8	2	社会福祉士実習（東支援）	2日・3日・6日・7日・8日・9日・10日・13日
	4	刈崎町会納涼祭	
	7	社会福祉士実習受け入れ	7日～31日
	20	介護体験実習（教員実習）	以降10月下旬まで（約15名）
	27	運営推進会議	第1回（年2回開催）
9	7	センター祭り	7日・8日
	12	ひろまち保育園交流	
	15	認知症家族懇談会（アットホーム）	年3回開催
	18	北品川保育園交流	

月	日	行事名等	内 容
10	4 6 10 10 12 13 27 30	品川介護福祉専門学校実習受け入れ ジブラルタル生命ボランティア来所 昭和大学医学部付属看護専門学校実習（東支援） 運動会 東京医療保健大学実習（東支援） 市民後見人見学 介護者教室 城南小学校訪問	4日・5日・9日・10日 法人ボランティア 10日・11日 10日・11日 12日・15日 施設見学 リハビリについて 5年生体験授業
11	5 6 6 9 10 19 21 24 25	地域ミニデイ「東品川ふくふく」開始 秋の収穫祭（さんま祭り） 城南小学校訪問 品川介護福祉専門学校実習受け入れ（東支援） 法人経営基礎研修 介護者激励の集い（東支援） 紅葉ドライブ行事 介護者教室 総合防災訓練・わかくさ荘防災訓練（東支援）	以降毎週月曜日実施 法人行事 5年生体験授業 6日・13日・20日・27日 9日・10日・30日 季節行事 21日～27日 高齢者の食事 年1回・年3回開催
12	1 1 15 24	品川介護福祉専門学校実習（東支援） 法人経営基礎研修 介護者教室 クリスマス会	 感染症について 24日・25日実施
1	4 15 22 31 31	初詣ドライブ 実習生受入プログラム 理事長ヒヤリング 品川学園職業体験 上級救命講習	季節行事 15日・16日・18日・22日 31日・2月1日 7年生2名職業体験
2	3 7 19 20 23 23 27	介護支援専門員実習（東支援） 東海中学校職業体験 品川区デイサービスセンター合同作品展 運営推進会議 品川女子学院インターアクト部 認知症家族懇談会（アットホーム） 上級救命講習	合計3日（3日・8日・16日） 7日・8日 8年生2名職業体験 19日～25日開催 年2回開催 ボランティア活動 年3回開催
3	5 22 22 27 29	ひろまち保育園交流 上級救命講習 小さな作品展 新任研修 親睦会総会・歓送迎会	 福栄会ロビー 1 階22日～28日 配属先での研修

②大崎在宅サービスセンター・支援センター・五反田保育園ふれあいデイホーム

月	日	行事名等	内 容
4	2	お花見週間（五反田）	1～7日まで毎曜日実施
	3	書道ボランティア（五反田）	毎月2回実施
	3	係長主任会議	以降毎月第1火曜日に実施
	4	給食委員会	以降毎月第1水曜日に実施
	6	将棋ボランティア（大崎）	毎週金曜日に実施。
	7	大崎SCセンター職員会議	以降毎月1回実施
	9	五反田保育園ふれあいデイホーム職員会議	以降毎月1回実施
	9	保育園との打ち合わせ（五反田）	以降毎月1回実施
	11	管理者会・居宅支援事業所連絡会（大支援）	以降毎月第2水曜日午前に実施
	12	折り紙ボランティア（五反田）	季節の折り紙、毎月1回実施
	12	認知症サポーター養成講座（大支援）	随時実施
	13	親睦会会議	毎月開催
	13	大崎地区ケア会（大支援）	以降毎月第二金曜日実施
	13	大正琴ボランティア	大正琴を使用した演奏と合唱。月に1回実施
	17	絵手紙ボランティア（五反田）	季節の絵手紙、月1回実施
	17	上大崎・西五反田ケア会議（五反田）	以降毎月1回実施
	19	支援職員会議（大支援）	以降毎月1回実施
	20	八潮ウクレレボランティア	以降毎月1回実施
	23	利用者集会（大崎）	毎年1回開催 27日まで
	24	認知症サポーター養成講座（大支援）	随時実施
	24	運営推進会議（五反田）	毎年2回開催
	24	在宅課ミーティング	以降毎月最終火曜日に実施
	26	台場地区ケア会議（五反田）	以降毎月1回実施
	28	家族懇談会（大崎）	毎年2回開催
5	2	菖蒲湯（大崎）	
	7	お話しどこでも隊ボランティア（大崎）	以降毎月1回実施
	12	ソプラノ	
	13	福栄会祭り	不定期に開催。模擬店・ギター・ハーモニカ演奏会
	17	ギター・ハーモニカボランティア	以降毎月1回実施
	25	東京保健大学看護実習（大支援）	（1名 25日・28日）
	26	認知症家族懇談会（アットホーム）	年3回開催
	28	落語ボランティア	不定期に開催。落語・合唱
6	3	大崎館内清掃	年4回実施
	5	東京医療保健大学実習（大支援）	（5日・6日）
	7	昭和大学医学部付属看護専門学校実習（大支援・五反田）	（7日・8日）
	10	貴船神社祭礼	10、11日
	12	お楽しみ会（五反田）	15～16日保育園と開催
	14	利用者集会（五反田）	～6月20日で実施
	17	地域貢献事業「ふくふく」（支援：デイ・五反田）	
	20	ふれあいサポート会議	大崎第二地域センター
	20	大崎ウィズタワー全館防災訓練	11月・年2回実施
	23	介護者教室	夏場の熱中症対策
	23	ボランティア懇談会	年1回開催
	26	認知症サポーター養成講座（大支援）	随時実施
7	10	品川区立日野学園職場体験（五反田）	（10、11日）
	12	夏祭り（五反田）	（12、13日）保育園との交流
	21	在宅課全体ミーティング	年一回開催
8	13	社会福祉士実習（大支援）	（13日～22日）
	14	教員介護等体験ボランティア（大崎）	（～12月、各週2名ずつ）
	20	介護等体験ボランティア（五反田）	（～11月、各週2名ずつ）
	24	運営推進会議（大崎支援：デイ）	
	29	夏祭り（大崎デイ）	29～31日開催
	25	運営推進会議	第一回
		品川介護福祉専門学校	3日間
9	2	地域貢献事業「ふくふく」（支援：デイ）	
	4	昭和大学医学部付属看護専門学校実習（大支援）	2名（4日・5日）
	13	東京医療保健大学（大支援）	1名（13日・14日）
	15	認知症家族懇談会（アットホーム）	年3回開催
	14	コスモスの会（五反田）	保育園との交流
	26	昭和大学医学部付属看護専門学校実習（大支援）	2名（26日・27日）

月	日	行事名等	内 容
10	5 6 11 11 12 27 29	大崎中学職場体験（2名） 運動会（五反田） 認知症サポーター養成講座（大支援） 社会福祉士実習（大支援） 東京医療保健大学実習生（大支援） 介護者教室 東京医療保健大学実習生（大支援）	5日6日 保育園と開催（日野学園にて実施） 11日～31日 土・日以外 （12日：15日） リハビリについて （29日：30日）
11	5 6 6 11 16 20 28 24 27	品川介護福祉専門学校実習受け入れ（大支援） 秋の収穫祭（さんま祭り） 日野学園職場学習（五反田） 地域貢献事業「ふくふく」（支援：デイ） 認知症サポーター養成講座（大支援） 紅葉ドライブ行事 感染症予防研修 介護者教室 介護者激励の集い（大支援）	各2名（5日～10日）（12日～17日）（26日～12/1） 法人行事 4名来園、取材形式。 季節行事 法人全体研修 高齢者の食事
12	1 1 10 15 22 24 24 29	社会福祉士実習（大支援） 法人経営基礎研修 東京医療保健大学実習受け入れ（大支援） 介護者教室 大崎SCクリスマス会 ゆず湯週間 大掃除週間（大崎） 年末年始休業（五反田）	（1日～19日） 法人内研修 （10日・11日） 感染症について 22～25日実施。 24～26日実施。 24～29日実施。 12月29日～1月3日まで。
1	5 9 15 22 22 18 31	初詣ドライブ（大崎） お正月の会（五反田） バイオリンボランティア（五反田） 認知症サポーターステップアップ講座（大支援） 理事長ヒヤリング 品川区指定管理ヒアリング 上級救命講習	季節行事 保育園との交流 以降毎月1回開催
2	1 2 14 17 19 23 27	節分の会（五反田） 節分（大崎） 保育園展（五反田） 地域貢献事業「ふくふく」（支援：デイ） 品川区デイサービスセンター合同作品展（大崎・五反田） 認知症家族懇談会（アットホーム） 上級救命講習	保育園との交流 14日～16日開催。保育園の作品展に出展。 19日～25日開催 年3回開催
3	2 16 22 22 28 29	ひなまつり会（大崎・五反田） 五反田保育園 卒園式参加 上級救命講習 小さな作品展（大崎・五反田） 新任研修 親睦会総会・歓送迎会	大崎・五反田保育園にて実施 五反田保育園にて実施 22日～28日開催。 配属先での研修

[別紙②] 年間利用状況

東品川在宅サービスセンター

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数 ÷ (稼働日数 × 1日定員)

3) 東品川在宅サービスセンターの個別機能訓練については、機能訓練実施状況に記載

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	
1. 基本事業	稼働日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307	
	要介護 実利用者数	95	96	97	96	93	87	88	87	85	80	79	76	1,059	
	総合事業 実利用者数	37	37	37	36	34	35	35	35	36	35	34	35	426	
	要介護 延利用数	687	741	722	724	710	621	673	667	580	562	567	585	7,839	
	総合事業 延利用数	200	201	211	205	204	195	200	203	191	178	177	204	2,369	
定員40名		利用率%	88.7	87.2	89.7	89.3	84.6	81.6	80.8	83.7	80.3	77.1	77.5	75.9	83.0
2. 認知症対応型 通所介護 (ぼかぼか)	要介護 実利用者数	16	15	18	15	15	14	13	14	13	12	12	12	169	
	総合事業 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護 延利用者数	145	150	151	149	139	130	149	134	111	105	115	121	1,599	
	総合事業 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	定員12名		利用率%	48.3	46.3	48.4	47.8	42.9	43.3	46.0	42.9	38.5	36.5	39.9	38.8
3. 認知症対応型 通所介護 (なごみ)	要介護 実利用者数	20	18	20	20	21	23	21	20	17	14	13	18	225	
	総合事業 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護 延利用者数	149	148	154	152	179	186	192	176	138	120	118	152	1,864	
	総合事業 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	定員12名		利用率%	49.7	45.7	49.4	48.7	55.2	62.0	59.3	56.4	47.9	41.7	41.0	48.7
4. 入浴		延利用数	795	843	840	815	832	754	807	787	688	634	644	707	9,146
5. 給食サービス		延利用数	1,176	1,234	1,234	1,225	1,228	1,125	1,204	1,171	1,014	961	971	1,058	13,601
6. 訪問給食		延利用数	4	8	9	7	7	8	9	6	7	7	8	9	89
7. 送迎サービス		延利用数	2,229	2,335	2,338	2,314	2,323	2,130	2,286	2,245	1,945	1,866	1,890	2,044	25,945
8. 相談件数		延利用数	119	112	95	152	135	110	91	85	76	92	81	87	1,235
9. 介護者教室		参加者数		7		16			16	14					53
10. 身近でトレーニング ※全24回開催 ※週2回開催・各回10名定員		実利用数	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	22	281	
		延利用者数	79	71	91	79	66	88	82	76	74	68	67	78	919
11. マシンでトレーニング ※全24回開催		実利用数	10	10	10	10	10	10	9	9	10	10	9	8	115
		延利用者数	36	32	34	41	25	38	27	28	27	29	26	26	369
12. 東品川ミニサロン (月2回開催)		実利用数	17	14	15	12	13	12	12	12	12	11	13	155	
13. 自治八潮会サロン (月1回開催)		実利用数	23	19	15	13	16	13	13	20	14	18	16	19	199
14. 洲崎町会サロン (月1回開催)		実利用数	15	16	15	15	17	18	15	13	15	16	17	18	190
15. 折り紙教室 (月2回開催)		実利用数	8	9	12	11	12	9	7	11	8	14	15	18	134
16. 地域ミニデイ (週1回開催)		実利用数								8	5	6	5	8	32

※「15. 折り紙教室」12月は月1回開催

※「16. 地域ミニデイ」は平成30年11月より開催

大崎在宅サービスセンター

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数÷(稼働日数×1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
1. 基本事業	稼働日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307
	要介護 実利用者数	81	80	75	77	74	77	76	78	78	71	73	67	907
	総合事業 実利用者数	24	26	27	30	26	28	30	31	29	31	34	31	347
	要介護 延利用者数	638	644	607	625	625	593	663	661	620	572	544	577	7,369
	総合事業 延利用者数	152	185	168	175	167	152	188	181	148	180	196	200	2,092
	定員35名 利用率%	90.3	87.7	85.2	87.9	82.3	85.1	90.1	92.2	91.4	89.8	86.9	85.4	87.9
2. 認知症デイ	稼働日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307
	要介護 実利用者数	17	19	21	23	23	23	25	24	25	23	25	26	274
	要支援 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 延利用者数	132	153	167	179	175	157	194	190	198	183	189	227	2,144
	要支援 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定員12名 利用率%	44.0	47.2	53.5	57.4	54.0	52.3	59.9	60.9	68.8	63.5	65.6	72.8	58.3
3. 入浴	延利用数	758	831	791	819	808	749	854	839	793	769	759	828	9,598
4. 個別機能訓練	延利用数	754	782	760	785	787	737	841	835	802	741	705	785	9,314
5. 給食サービス	延利用数	911	972	928	971	962	890	1032	1021	956	928	917	992	11,480
6. 訪問給食	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 送迎サービス	延利用数	1,838	1,949	1,873	1,933	1,910	1,775	2,051	2,024	1,894	1,837	1,815	1,955	22,854
8. 相談件数	延利用数	67	73	60	58	88	76	76	58	72	95	85	48	856
9. 介護者教室	参加者数	/	/	11	/	/	11	/	/	11	/	6	/	39
10. 予防事業 身近でトレーニング (定員10名)	実利用者	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	11	140
	延利用者	43	40	40	42	33	33	37	46	28	28	38	35	443

品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数÷(稼働日数×1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
1. 基本事業	稼働日数	24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	292
	要介護 実利用者数	24	23	22	22	22	24	23	22	20	17	17	18	254
	要支援 実利用者数	9	9	9	10	10	10	11	11	11	11	11	11	123
	要介護 延利用者数	172	170	179	168	157	143	182	148	130	127	120	146	1,842
	要支援 延利用者数	48	53	50	47	50	48	52	48	48	42	43	42	571
	定員10名 利用率%	91.7	93.3	88.1	86.4	80.0	83.0	90.0	82.1	77.4	73.5	70.9	75.2	82.6
2. 給食サービス	実利用数	33	32	31	32	32	34	34	33	31	28	28	29	377
	延利用数	220	223	229	215	207	191	234	196	178	169	163	188	2,413
3. 送迎サービス	延利用数	361	377	388	374	366	341	405	333	290	277	287	314	4,113
4. 相談件数	延利用数	11	13	10	10	15	11	14	12	12	8	11	20	147

〔別紙③〕 過去の各事業の推移

小数点第2位四捨五入
延利用数÷(稼働日数×1日定員)

実利用数は月平均数
延利用数は年間合計数

ア 東品川在宅サービスセンター

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	備 考
1 . 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	148.5	164.3	142.1	142.8	131.8	130.7	123.8	平成13年1月より定員数を、基本25名から40名に変更。
	延利用数	10,857	10,295	10,707	10,851	10,360	10,843	10,208	
	平均利用率(%)	87.8	82.9	87.0	88.9	84.9	85.8	83.0	
2 . 認知症対応型 デイサービス	平均実利用数	24.9	37.4	35.6	30.2	31.9	33.0	32.8	平成24年12月1日より2単位目「なごみ」開始に伴い、定員数を12名から24名に変更
	延利用数	3,272	4,357	3,712	3,323	3,621	3,447	3,463	
	平均利用率(%)	66.4	62.9	50.0	45.7	48.6	47.5	46.9	
3 . 入浴(介助浴)	延利用数	6,434	5,948	4,906	5,080	4,507	5,801	5,601	
4 . 入浴(機械浴)	延利用数	3,903	3,648	2,983	2,858	2,696	3,379	3,545	28年度チェアインバス入替
5 . 機能回復訓練	平均実利用数	174.0	173.3	194.0	191.4	194.0	198.0	176.0	平成20年11月1日より認知症デイ機能訓練請求開始
	延利用数	12,823	13,763	14,343	14,600	14,921	15,965	14,212	
6 . 給食サービス	平均実利用数	166.5	169.9	161.8	170.0	158.7	171.4	154.9	
	延利用数	13,557	14,328	14,227	13,874	13,921	14,290	13,601	
7 . 訪問給食	平均実利用数	18.6	14.5	11.4	4.9	5.3	1.0	1.0	
	延利用数	1,590	1,260	956	151	498	307	89	
8 . 送 迎	延利用数	24,576	26,488	27,119	27,391	26,897	26,688	25,945	片道送迎を1回としてカウント。
9 . 相談件数	年間相談件数	1,333	1,505	1,293	1,369	1,632	1,546	1,235	
10 . 介護者教室	総参加者数	60	65	88	58	133	30	53	

イ 大崎在宅サービスセンター

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	備 考
1 . 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	113.0	106.0	104.1	106.5	109.9	114.0	104.5	平成13年1月より定員数を、基本25名から35名に変更。平成15年8月より定員数を基本35名から30名に変更。平成19年11月より定員数を基本30名から35名に変更。
	延利用数	9,968	9,649	8,974	9,292	9,667	10,202	9,461	
	平均利用率(%)	92.5	90.1	83.5	85.5	88.8	83.4	87.9	
2 . 認知症対応型 デイサービス	平均実利用数			15	19.5	20.4	16.8	22.8	平成15年8月より認知デイ開設(定員10名)。平成19年11月より認知デイ休止。平成26年6月より認知デイ定員12名で開始。
	延利用数			1,375	1,773	1,911	1,191	2,144	
	平均利用率(%)			45.1	47.8	51.2	39.8	58.3	
3 . 入浴(介助浴)	延利用数	4,048	4,225	5,388	5,848	5,348	5,595	6,264	平成26年6月より認知デイ開始。(個浴を含む)
4 . 入浴(機械浴)	延利用数	3,360	3,470	2,989	3,452	3,828	3,164	3,334	平成22年度よりチェアインバス設置。平成26年3月よりチェアインバス1台増設。
5 . 機能回復訓練	平均実利用数	111	108.5	98	102	107.2	95	143	平成28年度から本部より理学療法士が月4回(平均週1回)来所し、機能訓練を行う。
	延利用数	6,690	6,482	8,111	8,667	9,581	8,307	9,314	
6 . 給食サービス	平均実利用数	107	102.5	117.1	126	130	112	126.5	
	延利用数	9,433	9,345	10,330	11,329	11,578	10,012	11,480	
7 . 訪問給食	平均実利用数	4.0	2.3	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	
	延利用数	260	161	63	6	0	0	0	
8 . 送 迎	延利用数	19,295	18,860	20,419	21,779	22,610	20,890	22,854	片道送迎を1回としてカウント。
9 . 相談件数	年間相談件数	1,388	1,004	1,369	1,321	1,321	989	846	
10 . 介護者教室	総参加者数	72	102	49	47	47	64	39	

ウ 品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	備 考
1 . 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	29.8	29.0	27.0	27.0	33.0	33.0	31.4	平成18年度から運営受託(品川区より)・定員数を8名から10名に変更。平成19年5月より土曜日開設
	延利用数	2,071	2,319	1,937	1,196	2,371	2,640	2,413	
	平均利用率(%)	77.6	79.1	66.6	60.8	81.2	91.5	82.7	
2 . 給食サービス	平均実利用数	29.8	29.0	27.0	20.0	33.0	33.0	31.4	
	延利用数	2,071	2,319	1,937	1,196	2,371	2,592	2,413	
3 . 送 迎	延利用数	4,408	4,440	3,504	2,385	4,216	4,257	4,113	片道送迎を1回としてカウント。
4 . 相談件数	年間相談件数	201	155	143	152	60	31	147	

[別紙④] 防災訓練実施状況

ア 東品川在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓 練 内 容		
30	4	26	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	5	24	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	6	28	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	7	26	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	8	23	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	9	27	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	10	25	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	11	25	日	日中想定	消火・避難・通報訓練	総合防災訓練
	12	20	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
31	1	24	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	2	28	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練
	3	28	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	法人合同訓練

イ 大崎在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓 練 内 容		
30	4	16	月	日中想定	消火・避難・通報訓練	
	5	15	火	日中想定	消火・避難・通報訓練	
	6	20	水	日中想定	消火・避難・通報訓練	※6月22日(水)大崎ウィズタワー総合防災訓練
	7	12	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	
	8	31	金	日中想定	消火・避難・通報訓練	
	9	22	土	日中想定	消火・避難・通報訓練	
	10	15	月	日中想定	消火・避難・通報訓練	
	11	19	月	日中想定	消火・避難・通報訓練	※11月29日(水)大崎ウィズタワー総合防災訓練
	12	11	火	日中想定	消火・避難・通報訓練	
31	1	30	水	日中想定	消火・避難・通報訓練	
	2	15	金	日中想定	消火・避難・通報訓練	
	3	21	木	日中想定	消火・避難・通報訓練	

ウ 五反田保育園ふれあいデイホーム

年	月	日	曜日	訓 練 内 容
30	4	20	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	5	12	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
	6	13	水	日中想定 消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)
	7	26	木	日中想定 消火・避難・通報訓練
	8	28	火	日中想定 消火・避難・通報訓練
	9	28	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	10	27	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
	11	20	火	日中想定 消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)
	12	3	月	日中想定 消火・避難・通報訓練
31	1	23	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	2	19	火	日中想定 消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)
	3	25	月	日中想定 消火・避難・通報訓練

エ 東品川在宅介護支援センター(東品川わかくさ荘)

年	月	日	曜日	訓 練 内 容
30	9	27	木	夜間想定 消火・避難・通報訓練
	11	25	日	日中想定 消火・避難・通報訓練 総合防災訓練

ヒヤリハット報告状況

※未受診または受診しても治療にいたらなかったもの

	東品川在宅 S C	大崎在宅 S C	五反田保育園 ふれあいDH
4月	1	0	1
5月	2	0	1
6月	2	0	0
7月	3	1	1
8月	2	1	0
9月	3	2	1
10月	2	2	1
11月	2	1	1
12月	1	1	1
1月	2	3	0
2月	4	0	0
3月	2	0	2
合計	26	11	9

[内訳]
東品川 S C 転倒12件、車中転倒1件、浴室内転倒1件
浴槽入水1件、打撲2件、接触2件
異食1件、誘導1件、無断外出5件

大崎 S C 浴室にて転倒7件、転倒1件、その他3件

五反田 転倒1件、切傷2件、車中1件
連絡3件、異食1件、お湯1件

事故報告状況

※受診し継続治療・入院等にいったもの

	東品川在宅 S C	大崎在宅 S C	五反田保育園 ふれあいDH
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	1	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	1	0	0
3月	0	0	0
合計	2	0	0

[内訳]
東品川 S C 車中転倒1件
浴室内転倒、右足膝蓋骨折 1 件

品川区ヘルパーステーション事業報告

1. 基本方針の遵守

利用者の皆様がいつまでも住み慣れた地域で生活していけるようにサービスの充実に取り組みました。

2. 重点目標への対応

(1) 地域事業者と連携したサービスの提供

福栄会の他事業所との連携と共に、地域の方(利用者の近所の方)とも連携し、サービスを提供しました。

(2) 大規模多機能施設としての機能を活かす

①居宅介護支援事業・通所介護事業・短期入所事業と情報交換等を常に行い、利用者のご家族のニーズを迅速に臨機応変な対応を行えるようにしました。

②障害者の地域における自立生活と社会参加を促すことを目的に地域生活支援事業移動支援事業を開始しています。

(3) 利用者の自立支援努めます

法人のサービス方針に謳われている、利用者の人間性、また生きてきた過程を尊重します。そして、一人一人の生きがいのある生活の援助をし、利用者のADLの維持または向上に専門的知識を活かしました。

3. サービス提供体制

(1) サービス提供責任者の必要人員や訪問介護員の必要数等、常に事業所として必要とされる適正な人員配置を行いました。

正規職員（サービス提供責任者）	3名
登録ヘルパー	4名
非常勤ヘルパー	1名

(2) サービス提供にあたっては懇切丁寧に利用者またはそのご家族に対応し、サービス提供方法等について、分かりやすく説明しました。

(3) 利用状況及び過去の推移

ア 訪問介護利用状況（品川区ヘルパーステーション東品川）

—平成30年度—

（平成30年4月～平成31年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	介護	29	29	28	27	31	29	28	29	29	29	29	29	346	28.8
	予防	14	15	15	16	15	18	18	18	18	17	17	17	198	16.5
	生活	10	10	8	7	8	7	8	8	10	10	8	9	103	8.5
利用延人数	介護	337	400	449	448	531	441	430	386	370	416	429	419	5056	421.3
	予防	65	83	75	79	86	99	109	110	101	89	84	86	1066	88.8
	生活	38	44	37	33	40	32	39	39	42	40	32	34	450	37.5
派遣時間数	介護	305.1	351.3	395.1	403.3	445	376.9	374.3	342.9	325.58	352.9	377	349.75	4399.1	366.5
	予防	62.75	76.25	72.25	77.75	80	92.75	102	103	97.25	85.5	80	81.75	1011.2	84.2
	生活	33.75	38	32.5	27.75	32	28.75	34	34.75	38	34.75	27.5	29	390.7	32.5

イ 訪問介護利用状況（品川区ヘルパーステーション東品川）

—平成29年度—

（平成29年4月～平成30年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	介護	33	33	32	31	31	30	30	29	28	24	25	28	354	29.5
	予防	15	15	15	15	15	13	14	14	14	15	13	14	172	14.3
	生活	6	6	7	7	7	8	9	9	9	7	9	9	93	7.8
利用延人数	介護	408	458	435	427	428	386	420	414	368	319	316	380	4759	396.6
	予防	71	79	77	70	77	69	78	77	70	76	62	69	875	72.9
	生活	25	30	35	34	38	36	41	41	38	29	34	40	421	35.0
派遣時間数	介護	412.1	458.75	431.4	423.1	412.6	391	404.5	387.9	345.58	313.58	290.3	342.8	4613.6	384.4
	予防	67.75	73.5	71	64.75	70.75	66.9	75.5	74.5	68.25	64.5	60	66.5	823.9	68.7
	生活	24	23.75	30.75	30.25	36	31.5	36.75	35.75	35.25	24.75	27.9	32	368.7	30.7

ウ 品川区障害者等訪問介護事業（品川区ヘルパーステーション東品川）

—平成30年度—

（平成30年4月～平成31年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	4	5	4	3	3	4	4	4	4	3	2	3	43	3.5
利用延人数	23	34	10	4	3	8	8	7	7	6	6	7	123	10.2
派遣時間数	25	41.75	16.5	15.5	14	22.5	17.75	18.5	15	16	11	15	229	19

エ 品川区障害者等訪問介護事業（品川区ヘルパーステーション東品川）

—平成29年度—

（平成29年4月～平成30年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	2	3	4	4	3	4	4	3	3	2	3	3	38	3.2
利用延人数	12	16	21	27	20	20	22	7	15	13	11	22	206	17.2
派遣時間数	21.5	28.33	41	49	36.25	39	31.5	12	28.5	22.66	25	35.83	371	30.9

福栄会リハビリテーションセンター事業報告

1. 基本方針の遵守

高齢者・障害者、施設入所・在宅及び心身の状況に関わらず、その人に必要なリハビリを身体機能に応じて実施しました。また、理学療法士・看護師・介護職など多職種がチームとなり、総合性のあるリハビリテーションを実施しました。

2. 重点目標への対応

- (1) 介護予防事業「マシンでトレーニング」「身近でトレーニング」において、事業内容を充実させるとともに、在宅介護支援センターと連携し、虚弱高齢者の受け入れを積極的に行いました。また、自宅でも継続できる運動の紹介や「うんどう教室」等の案内など、修了者へのフォローアップにも力を入れました。
- (2) 高齢者福祉部・障害者福祉部の各施設・事業所とリハビリテーションについての連絡や協力を継続して行い、必要に応じて理学療法士を派遣し、身体機能に応じた適切なリハビリを提供しました。また、各施設・事業所の職員が日々継続してリハビリが行えるよう連絡を取り合い、フォローアップしました。
- (3) 入所施設での「抱えない介護」の取組みを推進し、各利用者にとって安全で自立支援につながる最適な移乗方法の選択、職員の腰痛予防と介護技術の向上を図りました。また、介護職員と協力して利用者の転倒・転落の再発予防に努めました。

3. サービス提供内容

- (1) 施設入所・在宅を問わず環境や状況に配慮し、利用者個々の身体機能・生活状況に合わせたリハビリの提供を行いました。
- (2) 大崎在宅サービスセンター等へ定期的に理学療法士の派遣を行い、リハビリメニューの確認と評価を実施しました。また、障害者福祉部（しいのき学園・西大井福祉園・かがやき園）などの各施設でのリハビリ相談を継続して実施しました。
- (3) 介護者の視点に立った介助法の検討及び研修実施への取り組みとして、職員の介護スキル・マナーの向上や腰痛対策等を必要に応じて介護職員とともに検討を行いました。

＜サービス提供体制＞

リハビリの内容	サービス提供時間	職員体制（一日当り）
①運動療法 （立位・歩行訓練等）	午前／ 9時30分～11時30分	常勤理学療法士2名 非常勤理学療法士または 非常勤介護士等2名
②温熱療法	午後／	
③福祉用具相談等	13時30分～16時00分	

機能訓練実施状況

個別リハビリ利用者数（上段：実人数(登録数) 下段：延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307	
基本デイ	96	96	97	96	93	87	88	87	85	80	79	76	1,060	88
	701	742	726	712	714	617	673	640	583	555	567	573	7,803	650
予防デイ	37	37	37	36	34	35	35	35	36	35	34	35	426	36
	187	186	194	192	199	189	194	193	177	170	173	200	2,254	188
認知デイ(ぼかぼか)	16	15	18	15	15	14	13	14	13	12	12	12	169	14
	145	150	152	146	139	130	148	132	111	106	115	129	1,603	134
認知デイ(なごみ)	20	18	20	20	21	23	21	20	17	14	13	18	225	19
	149	147	154	149	179	184	192	174	138	124	118	152	1,860	155
マシンでトレーニング	10	10	10	10	10	10	9	9	10	10	9	8	115	10
	36	32	34	41	25	38	27	28	27	29	26	26	369	31
身近でトレーニング	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	23	22	281	23
	79	71	91	79	66	88	82	76	74	68	67	78	919	77
単独リハビリ	23	21	21	20	20	18	18	17	18	19	18	17	230	19
	67	68	63	59	57	57	58	57	53	51	50	52	692	58
晴楓ホーム	82	83	83	83	84	81	82	82	82	81	81	82	986	82
	396	357	324	348	375	441	504	497	425	374	379	418	4,838	403
ショートステイ	45	43	47	50	45	42	47	42	37	42	45	40	525	44
	225	237	243	237	252	225	245	241	197	159	203	216	2,680	223
実人数合計	353	347	357	354	346	334	336	329	321	316	314	310	4,017	335
延べ人数合計	1,985	1,990	1,981	1,963	2,006	1,969	2,123	2,038	1,785	1,636	1,698	1,844	23,018	1,918
一日の利用者数平均	79	74	76	76	74	79	79	78	74	68	71	71		75

高齢者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
大崎在宅サービスセンター	5	4	9	10	8	8	12	10	8	7	9	6	96	8

障害者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
しいのき学園	13	5	9	9	18	11	13	10	4	14	9	10	125	10
西大井福祉園	10	0	0	0	5	9	9	10	10	9	8	9	79	7
かがやき園	3	1	0	0	5	3	4	2	2	2	0	2	24	2
障害者福祉部計	26	6	9	9	28	23	26	22	16	25	17	21	228	19

※5～7月の西大井福祉園及び6～7月のかがやき園に関しては、職員体制が整わず実施していない。

※2月のかがやき園に関しては、感染症の影響で実施していない。

東品川わかくさ荘事業報告

1. 基本方針

入居者が安心した生活を営めるよう、安全性の高い建物設備の維持管理を区所管課とともに進めました。また、日常生活上の相談に応じる他、緊急時は法人他施設と連携しながら多面的な支援体制を推し進め、支援内容の質の向上に努めました。

2. 重点目標

(1) 安心・安全な生活の確保

- ①緊急通報システム（生活リズムシステム）や朝夕の巡回などにより、入居者の安全確認を行い、事故防止に努めました。また、緊急時には、病院などの関係機関と速やかに連携を図る必要がある為、品川区所管課、東海ホームと連携し、定期的に入居者情報の更新を行いました。
- ②日頃より健康状態の確認を含めた声掛けなどを通じて、入居者が居室内で孤立しないよう支援を継続しました。
- ③建物機械設備は施設管理職員が適切に維持管理をしました。また、専門業者による定期点検を実施し適正な建物管理を行いました。

(2) 防災対策への取り組み

高齢者住宅での火災発生に備え、今年度も「迅速な避難」を第一に入居者対象の防災訓練を実施しました。また、法人で実施する近隣町会との合同防災訓練への参加を呼びかけました。

(3) 利用者の意見、要望の調整

日常会話や相談窓口で収集した入居者の意見・要望は、状況確認・調整等を行うとともに、対応困難な事例は品川区所管課へ速やかに報告し調整しました。入居者の理解を得られるよう対応に努めました。

<東品川わかくさ荘管理体制概要>

職 員	配置数	担 当 業 務
常勤職	1 名	防火管理、建物管理者
常勤職（支援センター）	1 名	相談業務、一部ワーデン業務
準職員（支援センター）	1 名	一部ワーデン業務
常勤職（総務課）	1 名	経理、施設管理、一部ワーデン業務
防災宿日直 （法人本部職員）	1 名	夜間帯の見回り・緊急対応等

平成30年度東品川わかくさ荘事業報告資料（指定管理含む）

平成31年3月末現在 単位：(人)

		全体	女性	男性	非該当	支援 1		支援 2		介護 1		介護 2		介護 3		介護 4		介護 5			
					女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	
年齢関係 要支援 要介護度	高齢者平均年齢	82	84	80																	
	高齢者最年少年齢	73	73	70																	
	高齢者最年長年齢	102	102	87																	
	高齢者年齢比（ 6 5 ～ 6 9 代）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	高齢者年齢比（ 7 0 ～ 7 9 代）	18	9	9	7	7	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	高齢者年齢比（ 8 0 ～ 8 9 代）	24	14	10	9	8	1	1	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	高齢者年齢比（ 9 0 ～ ）	6	6	0	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
居室関係 （合計 5 2 室）	高齢者枠当年度入居者数	5	1	4																	
	高齢者枠当年度退居者数	5	4	1																	
	高齢者枠当年度末入居者数（ 5 0 室）	48	29	19																	
	高齢者平均居住年数	7	9	6																	
	障害者当年度入居者数	0	0	0																	
	障害者当年度退去者数	0	0	0																	
	障害者枠当年度末入居者数（ 2 室）	0	0	0																	
緊急対応 （4月～3月）	高齢者日中緊急対応（件数）	9	5	4																	
	高齢者夜間緊急対応（件数）	6	4	2																	
	障害者夜間緊急対応（件数）	0	0	0																	
その他の対応 （4月～3月末）	生活相談・環境整備等への個別対応 （件数）	170			備考																
	健康管理面への対応（件数）	58			備考																

障害者福祉部事業報告 目次

障害者福祉部事業報告	8 5
第一しいのき学園事業報告	8 7
第二しいのき学園事業報告	9 6
品川区立西大井福祉園事業報告	1 0 6
品川区立西大井つばさの家事業報告	1 1 6
グループホーム森前事業報告	1 2 1
グループホーム金子山事業報告	1 2 5
品川区立かがやき園事業報告	1 2 9
南品川むつみ園事業報告	1 4 0
福栄会障害者相談支援センター事業報告	1 4 9
かもめ第一・第二・第三工房事業報告	1 5 2
品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告	1 6 0
品川区立家庭あんしんセンター事業報告	1 6 3
品川区ひまわり荘事業報告	1 6 4
品川区子育て支援センター事業報告	1 6 7
品川区子育て短期支援事業報告	1 6 9
平塚ファミリー・サポート・センター事業報告	1 7 1
平塚きぼう荘（障害者住宅）事業報告	1 7 2

品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設 1 8 3

障害者福祉部事業報告

1. 基本方針の遵守

平成29年度のグループホーム金子山を開設から2年目となる西大井地区3か所のグループホームの安定運営を図ると共に、相談支援事業所を始め、通所・入所・短期入所等全事業所が連携して利用者・ご家族の高齢化等による状況変化に対応し地域福祉の向上に努めました。

2. 重点目標への対応

- (1) 西大井地区3か所のグループホームの運営においては、運営拠点である西大井福祉園、バックアップ施設のかがやき園など、西大井地区の連携を図り、世話人業務の標準化・夜間体制の強化などに取り組みました。
- (2) 福栄会障害者相談支援センターは、相談支援事業並びに地域生活支援拠点として、家庭環境の変化や緊急時対応等について品川区障害者福祉課や障害者福祉部の事業所と必要に応じて連携し対応してきました。
- (3) 新規事業の準備として区内の賃貸物件をあたるなど、開設に向けた検討を重ねると共に、既存事業の分析を行いました。通所事業（生活介護・就労継続支援B型）においては、城南信用金庫への就労支援（J&Fワークス）の取り組みや、利用者・家族の高齢化等による居所・サービス変更などにより、利用率が下がった事業所がありました。新規事業の展開については長期的な視点で継続して検討します。

3. サービス支援体制

(1) 各施設の利用実績

事業・施設名	障害者自立支援法に基づく事業、施設	定員	利用率 ※（％）
第一しいのき学園	生活介護	40	95.4%
第二しいのき学園	就労継続支援B型	60	85.6%
区立西大井福祉園 （多機能型）	生活介護	25	116.3%
	就労継続支援B型	15	100.2%
区立西大井つばさの家	共同生活援助	7	84.9%
グループホーム森前	共同生活援助	6	86.3%
グループホーム金子山	共同生活援助	10	78.3%

区立かがやき園	施設入所支援	3 0	91.0%
	生活介護	3 0	101.6%
	短期入所	3	113.6%
南品川むつみ園	生活介護	2 0	60.6%
かもめ第一工房	就労継続支援 B 型	2 5	83.5%
かもめ第二工房	就労継続支援 B 型	2 0	75.6%
かもめ第三工房	就労継続支援 B 型	2 0	97.5%
精神障害者地域生活支援センター	相談支援事業・地域活動支援センター		—
福栄会障害者相談支援センター	相談支援事業		—

※利用率は、実開園日数に対しての利用率です。

第一しいのき学園事業報告（生活介護）

1. 重点目標への対応

（1）障害者サービスの質の向上を図る

①社会福祉士：1名合格

②医療的ケア（喀痰吸引等）研修：1名受講終了（実地研修を含む）

上記の他、定例ケース会議を継続し、支援方針の統一をより進めました。また、臨床心理士や理学療法士の定期相談を行い、職員全体の課題対応力を高めました。

（2）職場環境の改善

利用者の特性、ニーズに対応したグループ編成の変更を行い、それに伴ってパーテーションや稼働間仕切り等の工事を行い、利用者の安全と安心の向上を図りました。

（3）日中活動の充実と安全性の向上

（2）の取り組みと共に、外出・創作・調理・園芸など各活動の充実を図り、様々な利用者の能力・可能性を引き出す取り組みを行いました。

2. 家族・支援者との協力体制

通所の継続のみならず地域において生活するうえで必要なサービス調整や緊急対応等、相談支援事業所や法人内外の他事業所と連携しながら対応しました。

家族・保護者とは定期的に情報交換を行う他、利用者の状態や家族状況に対応し必要随時、面談や家庭訪問を実施しました。

3. 地域交流及び貢献活動

作業で取り組んでいる、エコキャップの回収について、近隣小学校や企業など協力してもらえる団体の拡大を図りました。また地域の特別支援学校や特別支援学級の体験利用等の受入を行いました。

更に平成30年10月から、三菱トラック・バス株式会社（東品川3丁目）において開始した子ども食堂「福栄みらい塾」を運営する「福栄みらい塾運営委員」に近隣町会等と共に参加し、準備・運営にあたってきました。平成31年3月からは、当初の会場が建替えのため、福栄会2階どんぐり広場を会場としました。

4. 事故防止策・虐待防止

(1) 事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は別表 1 1 のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組む他、ケース会議の際に行動障害等への適切な対応について検討し、統一した対応による支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及びBCPに基づき毎月 1 回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔第一しいのき学園実績資料〕

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内 訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
40	48	28	58.3	20	41.7

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	26	4	2	28
女	21	0	1	20
計	47	4	3	48

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

施設	第二しいのき学園			
年齢(歳)	男	女	計	%
～19	1	0	1	0.02
20～29	9	4	13	0.27
30～39	7	7	14	0.29
40～49	11	8	19	0.40
50～59	0	1	1	0.02
60～69	0	0	0	0.0
70～	0	0	0	0.0
人数計	28	20	48	100
最年少	19	22		
最高齢	48	52		

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	33.6 歳	37.1 歳	35.1 歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1 度			2 度			3 度			4 度			非該当			合 計		
施設名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第二	1	1	2	24	15	39	3	2	5	0	2	2	0	0	0	28	20	48
構成比	4.2			81.2			10.4			4.2			0.0			100%		

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

愛の手帳		1 度	2 度	3 度	4 度	非該当	合 計
所持人数		2 名	39 名	5 名	2 名	0 名	48 名
身 障 手 帳	1 級	肢体 1 名	肢体 1 名				肢体 2 名
	2 級		肢体 3 名	肢体 1 名			肢体 4 名
	3 級		肢体 4 名 視覚 1 名				肢体 4 名 視覚 1 名
	4 級		肢体 1 名				肢体 1 名
	5 級		肢体 1 名				肢体 1 名
	計	1 名	11 名	1 名	0 名	0 名	13 名

(3) 障害支援区分の状況

障害支援	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
区分	人数	0 名	0 名	6 名	22 名	10 名	10 名	0 名	48 名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
256 日	10,240	9,764 人	95%

(2) 送迎車両運行及び利用者状況

送迎車両コース	利用人数	所要時間	対応車種	運転	添乗者
荏原コース	17 名	85 分	マイクロバス 29 人乗	職員	職員 1 名
東海コース	13 名	85 分	リフト付マイクロバス※	委託	職員 1 名
大井町コース	7 名	85 分	車いす対応ワゴン※	職員	職員 1 名
西大井コース	2 名	70 分	8 人乗ワゴン	職員	職員 1 名
合計	39 名	※車椅子 2 台対応車両。合計 4 コースで 6 台対応。			

(3) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力 通園	徒歩	2	0	2
	交通機関	0	1	1
	小計	2	1	3
家庭 介護 通園等	徒歩等	4	2	6
	交通機関	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	4	2	6
合 計		6	3	9

5. 支援概要

(1) グループ編成

第一 しいの き学園	A	1 班			2 班			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
		6	8	14	11	9	20	17	17	34
	B							合計		
		男	女	計				男	女	計
		11	3	14				11	3	14

(2) 余暇活動の実施状況

活 動	内 容
音楽レクリエーション	火曜日の午後に音楽講師のもと、楽器や歌などを通し身体を動かしたり歌をうたうなどの活動を行いました。
ダンス	木曜日の午後にダンス講師のもと、ダンスを通して心身のリフレッシュを行いました。
スポーツ	スポーツの森公園や近隣を歩き運動を行いました。
ドライブ	マイクロバスを使用しドライブを行いました。
調理活動	毎週水曜日の午後の時間に第一しいのき学園にて、ベランダ菜園の野菜を利用して、さまざまな料理を作りました。作ったものはグループで試食しました。

※各活動についての参加人数については、利用者本人の希望やその日の体調等を考慮し、状況に応じ変更しています。

(3) 年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
4	6 日 (金)	新利用者を迎えるつどい	
	27 日 (金)	第 1 回学園連絡会	学園連絡会
5	13 日 (日)	福栄会まつり	
6	27 日 (水)	しいのき学園健康診断	
9	21 日 (金)	第一しいのき学園日帰り旅行①	上野動物園
10	5 日 (金)	第一しいのき学園日帰り旅行②	八景島シーパラダイス
	19 日 (金)	第一しいのき学園日帰り旅行③	八景島シーパラダイス
	31 日 (水)	ハロウィンパーティ	
11	2 日 (木)	第一しいのき学園日帰り旅行④	横浜オービイ
	6 日 (火)	福栄会 秋のさんま祭り	
	8 日 (木)	第一しいのき学園日帰り旅行⑤	横浜相原果樹園
	16 日 (金)	第 2 回学園連絡会	学園連絡会
12	7 日 (金)	障害者記念のつどい	区行事
	8 日 (土)		
	25 日 (火)	クリスマス会	
1	18 日 (金)	新成人を祝う会	
3	15 日 (金)	第 3 回学園連絡会	学園連絡会

6. 家族とのかかわり

(1) 学園連絡会の開催状況

区 分	実施日	内 容
第 1 回学園連絡会	平成 30 年 4 月 27 日 (金)	平成 30 年度事業計画・職員体制について モニタリング・支援計画について
第 2 回学園連絡会	平成 30 年 11 月 16 日 (金)	上半期事業報告・下半期事業について 平成 30 年度旅行行事について
第 3 回学園連絡会	平成 31 年 3 月 15 日 (金)	下半期事業報告概要 下半期事業報告 次年度事業計画について

(2) しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
4 月	新年度を迎えるつどい しいのき祭り・家族懇親会報告
5 月	福栄会祭り 梅の収穫の様子
6 月	調理クラブ・ベランダ菜園の様子 プラネタリウム見学報告
8 月	プール活動の様子 行事報告 熱中症対策
9 月	日帰り旅行報告
10 月	日帰り旅行報告
11 月	学園行事 看護師より
12 月	クリスマスパーティー 地域交流事業・和輝く
1 月	新年のご挨拶
2 月	節分・豆まきの様子 J A L 羽田工場見学
3 月	ひな祭り 味の素工場見学

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区 分	人数	備 考
専門学校・大学・企業等	24 名	保育、社会福祉援助技術現場実習、等の実習

8. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
東京都社会福祉協議会	知的発達障害部会総会	5 月 16 日	1
品川介護専門学校	医療的ケア(喀痰吸引等)研修	6 月 5 日	1
東京都社会福祉協議会	新しい事例検討の在り方を学ぶ	6 月 6 日	1
港特別支援学校	学校公開	6 月 8 日	1
東京都社会福祉協議会	強度行動障害支援基礎講座	6 月 22 日	1
都通研	自閉症当事者の世界への理解と支援	7 月 30 日	1
日本てんかん協会	てんかん基礎講座	8 月 9 日 10 日	1
都通研	障害福祉における権利擁護	9 月 20 日	1
品川福祉カレッジ	オプション講座	10 月 29 日	3

品川福祉カレッジ	オプション講座	11 月 15 日	4
東京都社会福祉協議会	中堅職員重点テーマ強化研修	11 月 20 日 21 日	1
品川区こども未来部	私が「障害について」語るなら	11 月 29 日	1
品川福祉カレッジ	オプション講座	12 月 20 日	5

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
虐待防止研修	6 月 13 日 (水) 19 日 (火)	10
メンタルヘルス研修	7 月 20 日 (金)	2
防犯研修	8 月 23 日 (木)	3
安全運転者講習	11 月 13 日 (火)	3
感染症予防研修	11 月 28 日 (水)	6
法人経営基礎研修	12 月 2 日 (土)	2

9. トワイライト実施状況

家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

施設	第二しいのき学園		
	延べ人数	1 時間	2 時間
4 月	17	10	7
5 月	30	6	24
6 月	23	11	12
7 月	29	17	12
8 月	33	22	11
9 月	24	19	5
10 月	30	21	9
11 月	34	23	11
12 月	19	12	7
1 月	22	12	10
2 月	24	12	12
3 月	25	11	14
合計	310	176	134
月平均回数	25. 8	14. 6	11. 1

10. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	8	5	3	10	8	3	6	2	9	11	10	12	87

- ・他傷/他害行為（44件）
- ・職員への暴力/暴言（16件）
- ・転倒/落下（9件）
- ・送迎時（4件）
- ・怪我（3件）
- ・所在不明（3件）
- ・職員の対応（2件）
- ・無断外出（2件）
- ・報告ミス（2件）
- ・紛失/盗難（1件）
- ・薬の飲み忘れ（1件）

(2) 事故報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3

- ・他傷/他害（2件）
- ・転倒（1件）

11. 感染症発生状況

インフルエンザ	感染性胃腸炎
1名	2名

第二しいのき学園事業報告（就労継続支援B型）

1. 重点目標への対応

（1）利用者サービスの向上

利用者の高齢化・重度化に対し、関係機関と連携を図るとともに、定期的にケース会議を開催、支援方針の統一を図りました。

また、支援技術の更なる向上に向け積極的に研修等へ参加しました。

（2）就労継続支援サービスの提供

利用者が自立した社会生活を営むことができるよう、生産活動や日中活動を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。また、平成30年度平均工賃額は18,241円となり目標（16,000円）を達成することができました。

（3）職場環境の整備

ソファの更新や備品及び作業材料の整備、整理整頓を心掛けるなど利用者が休息できる空間の増加を図りました。

2. 家族・支援者との協力体制

家族・保護者とは定期的に連絡会を行い、事業の報告等を行うなど情報交換に努めました。また利用者の日々の様子等については必要に応じて報告を行うと共に面談や家庭訪問を実施しました。

利用者が必要とするサービスの調整や緊急対応については相談支援事業所や法人内外の他事業所を連携し対応しました。

3. 地域交流及び貢献活動

地域のお祭り等で自主製品の販売や毎月第三土曜日に地域交流サロン『わかやぐ』を開催し地域との交流を行いました。また地域の特別支援学校や特別支援級、在宅の方の体験利用等の受入れを行いました。

4. 事故防止策・虐待防止対策

（1）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は実績資料（別表10）のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し職員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

（２）虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、ケース会議において支援方針の統一を図り支援の質の向上に取り組みました。

５．防災対策

防災計画及びＢＣＰに基づき毎月１回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔第二しいのき学園実績資料〕

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内 訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
60	60	38	63.3	22	36.7

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	40	3	5	38
女	26	1	5	22
計	66	4	10	60

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

施設	第二しいのき学園			
年齢(歳)	男	女	計	%
～19	1	0	1	2%
20～29	6	3	9	15%
30～39	8	6	14	23%
40～49	14	10	24	4%
50～59	4	3	7	1%
60～69	3	0	3	6%
70～	2	0	2	4%
人数計	38	22		100%
最年少	19	22		
最高齢	75	56		

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	43.8 歳	40.9 歳	42.7 歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1 度			2 度			3 度			4 度			非該当			合 計		
施設名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第二	0	0	0	10	4	14	21	10	31	6	8	14	1	0	1	38	22	60
構成比	0%			23%			52%			23%			2%			100%		

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

愛の手帳		1 度	2 度	3 度	4 度	非該当	合 計
所持人数		0 名	14 名	31 名	14 名	1 名	60 名
身 障 手 帳	1 級			肢体 1 名		肢体 1 名	肢体 2 名
	2 級						
	3 級						
	4 級						
	計	0 名	0 名	1 名	0 名	1 名	2 名

(3) 障害支援区分の状況

障害支援	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
区分	人数	2 名	22 名	10 名	3 名			23 名	60 名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
256 日	15,360 日	13,138 人	85.5%

(2) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力 通園	徒歩	8	5	13
	交通機関	19	12	31
	その他	2	0	2
	小計	29	17	46
家庭 介護 通園等	徒歩等	0	0	0
	交通機関	3	1	4
	その他	6	4	10
	小計	9	5	14
合 計		38	22	60

5. 支援概要

(1) グループ編成

C グループ	合計		
	男	女	計
	17	13	30
D グループ	合計		
	男	女	計
	21	9	30

(2) 余暇活動の実施状況

活 動	内 容
芸術	クラブ講師2名のもと、「書道」と「創作(絵画等)」に分かれて活動しました。共に仕上がった作品は、法人内で行った小さな作品展や品川区障害者作品展に展示しました。
調理活動	毎週火曜日(祝日の翌日除く)に2階どんぐり広場にて軽食やおやつ作りなどの調理活動を行いました。
スポーツクラブ	毎週火曜日の午後にマイクロバスにて大井ふ頭中央海浜公園や日比谷公園などに行きボールやプラフープなどを使い、体を動かしました。また雨天時にはドライブを行い楽しみました。

※上記の活動については、毎週火曜日の利用者朝礼時に参加の有無について利用者の方に選択をしていただきました。

(3) 年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
4	6 日(金)	新利用者を迎えるつどい	
	27 日(金)	第 1 回学園連絡会	学園連絡会
5	13 日(日)	福栄会まつり	
6	27 日(水)	しいのき学園健康診断	
9	27 日(金) ～28 日(金)	第二しいのき学園一泊旅行① (早川町)	
10	16 日(火)	第二しいのき学園日帰り旅行① (富士サファリパーク)	
	17 日(水)	第二しいのき学園日帰り旅行② (浅草観光)	
	19 日(金)	第二しいのき学園日帰り旅行③ (ジブリの森美術館)	
	25 日(木)	第二しいのき学園日帰り旅行④ (鉄道博物館)	
11	6 日(火)	秋のさんま祭り	
	7 日(水) ～8 日(木)	第二しいのき学園一泊旅行② (静岡県伊東市)	
	14 日(水)	第二しいのき学園日帰り旅行⑤ (大洗水族館)	
	15 日(木)	第二しいのき学園日帰り旅行⑥ (三崎口まぐろ切符の旅)	
	16 日(金)	第 2 回学園連絡会	学園連絡会
12	7 日(金) 8 日(土)	障害者記念のつどい	区行事
1	18 日(金)	新成人を祝う会	
2	1 日(金)	節分・豆まき	
3	15 日(金)	第 3 回学園連絡会	学園連絡会

(4) 作業実施内容

作業種目	内 容
クリーニング (集荷・納品を含む)	・区内保育園 17 か所のシーツ、白衣、掛けカバー、エプロンなどの洗濯、たたみ ・同法人高齢者施設（入所・通所共に）のオムツ、タオル、リネン類、私物、予防衣、シーツ、エプロン、おしぼり等の洗濯たたみ ・同法人障害者施設（入所・通所）のタオル、エプロンリネン類、シーツ、おしぼり等の洗濯、たたみ ・同法人の制服の洗濯 ・区内高齢者施設の私物、タオル、おしぼり等の洗濯、たたみ ・図書館の風呂敷の洗濯 ・区内公共施設のリネン類の洗濯 ・他区の公共機関のリネン類やカーテンの洗濯
清掃作業	・区内公園 17 ヶ所の清掃、福栄会館内、外周清掃、2 階食堂清掃 ・同法人内の高齢者施設内共用部分清掃 ・同法人サービスセンターの外周清掃、東品川わかくさ荘の館内清掃 ・同法人障害者施設の館内清掃
軽作業	・パンフレット、新聞納品（塗装資材）、 ・内職（封入作業など）、ペン入れ、シール張り等
お菓子 自主製品作り	・喫茶海岸通り販売用お菓子製造、販売 ・地域の各種イベントの参加 ・同法人高齢者施設、誕生日会用ケーキ、おやつの製造 ・贈答用お菓子の製造、販売
リサイクル	・法人内機密文書等の処理、古紙回収及び販売、アルミ、鉄屑販売、小型家電の回収、解体、希少金属の取り出し、販売 ・エコキャップ運動（ペットボトルキャップの回収）
喫茶実習	・喫茶「海岸通り」での喫茶作業（接客・掃除・金銭の授受等）

(5) 工賃支給状況

年間総支給額	12,987,300 円
支給対象利用者延べ人数	712 人
月平均工賃（1 人）小数点以下四捨五入	18,241 円

6. 家族とのかかわり

(1) 学園連絡会の開催状況

区 分	実施日	内 容
第1回学園連絡会	平成30年 4月27日(金)	平成30年度事業計画・職員体制について モニタリング・支援計画について
第2回学園連絡会	平成30年 11月16日(金)	上半期事業報告・下半期事業について 平成30年度旅行行事について
第3回学園連絡会	平成31年 3月15日(金)	下半期事業報告概要 下半期事業報告 次年度事業計画について

(2) しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
4月	新年度を迎えるつどい しいのき祭り・家族懇親会報告
5月	福栄会祭り 梅の収穫の様子
6月	調理クラブ・ベランダ菜園の様子 プラネタリウム見学報告
7月	七夕飾りの様子 クラブ活動の様子
8月	プール活動の様子 行事報告 熱中症対策
9月	日帰り旅行報告
10月	日帰り旅行報告
11月	学園行事 看護師より
12月	クリスマスパーティー 地域交流事業・和輝く
1月	新年のご挨拶
2月	節分・豆まきの様子 J A L羽田工場見学
3月	ひな祭り 味の素工場見学

(3) 地域とのかかわり

ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
余暇活動ボランティア	3名	毎週火曜 PM/AM 木曜	書道・絵画
作業補助	2名	AM・PM・不定期	作業補助

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区 分	人数	備 考
専門学校・大学・企業等	31名	保育、社会福祉援助技術現場実習、等の実習

8. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人数
東社協	新しい事例検討の在り方を学ぶ	6 月 6 日	1
品川特別支援学校	学校公開	6 月 8 日	1
ふれあい作業所	公園清掃従事者講習会	6 月 20 日	2
地域生活支援 ネットワーク	S S T 研修会	7 月 15 日 16 日	3
東社協	強度行動障害指導者養成特別委員会	7 月 24 日他	1
日本てんかん協会	てんかん基礎講座	8 月 9 日 10 日	1
都通研	障害者福祉における権利擁護	9 月 20 日	1
品川区	品川区食品衛生実務講習会	10 月 11 日	2
東社協	知的発達障害部会総会	10 月 17 日	1
品川介護専門学校	コミュニケーション技法を学ぶ	10 月 29 日	3
品川介護専門学校	ソーシャルワークと権利擁護	11 月 15 日	1
東京都福祉保健局	サービス管理責任者（就労）	11 月 29 日 30 日	1
東社協	中堅職員研修	12 月 11 日 12 日	1
東京都福祉保健局	工賃アップセミナー	12 月 20 日	1
品川介護専門学校	認知症の特性を有する知的障害者の ケア	12 月 20 日	3
都通研	個別支援計画を再考する	1 月 30 日	1
T O S C A	青年期の発達障害の困難性と支援	2 月 24 日	1

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
虐待防止研修	6 月 13 日・19 日	10
メンタルヘルス研修	7 月 20 日	2
防犯研修	8 月 23 日	8
安全運転者講習	11 月 13 日	6
感染症予防研修	11 月 28 日	7
法人経営基礎研修	12 月 2 日	1

9. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	0	0	1	3	4	6	5	1	7	1	4	2	34

- ・他傷/他害行為（14件）・所在不明（8件）・職員への暴言、暴力（5件）
- ・器物破損（3件）
- ・体調悪化（1件）・パニック（3件）

(2) 事故報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2	7

- ・所在不明（3件）・他傷、他害（2件）・転倒（2件）

10. 感染症発生状況

インフルエンザ	感染性胃腸炎
7名	1名

品川区立西大井福祉園事業報告 (生活介護・就労継続支援B型)

1. 基本方針

利用者が地域社会で日常生活を営むため、西大井福祉園における日中活動の内容を充実させ、生活介護と創作及び生産活動、社会参加の機会を提供しました。

2. 重点目標

(1) 生活介護サービスの提供

日中活動の内容を充実するため、「生活訓練」「余暇活動」「生産活動」「社会科見学」「旅行」「地域交流」など利用者一人ひとりの状況に応じたサービスを提供しました。

(2) 就労継続支援サービスの提供

利用者が自立した社会生活を営むことができるよう、生産活動や日中活動を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。

【目標】平成30年度平均工賃 15,600円

【実績】平成30年度平均支給工賃 16,248円

(3) 法人内西大井地区の連携

3つのグループホームが円滑に、また一体となって運営ができるよう日中の事務局として、夜間のバックアップ施設であるかがやき園とともに協力体制を整えました。

3. 家族・支援者との協力体制

施設運営への理解及び利用者の様子を報告する場として、年3回の園連絡会を開催しました。また、実際の活動については行事や季節ごとにわけ、さらに写真を使用することで、伝わりやすい掲示をしました。

4. 交流及び貢献活動

昨年に引き続き平成31年2月に富士見ヶ丘児童遊園で西大井五丁目伊藤町会、西大井六丁目町会との合同総合防災訓練を実施しました。

近隣マンション組合の会合の場として、施設の休業日に食堂を貸出しました。(8件貸出し)

オータムフェスティバルを開催し、地域住民との交流を図りました。

5. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

「福栄会ヒヤリハット・リスクレベル評価表」に基づき、職員間で供覧し、情報を共有しました。また、職員会議等で事例分析をすることで事故の防止に努めました。

(2) 虐待防止

法人主催の虐待防止研修と虐待防止チェックリストを活用して業務の振り返りを行い、意識向上を図りました。

〔 西大井福祉園 実績資料 〕

1、利用者人員と入退所状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

（1）利用者人員

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
生活介護	25 名	33 名	23 名	70%	10 名	30%
就労継続支援 B 型	15 名	18 名	15 名	83%	3 名	17%

注）内訳の比率は、現員に対するもの。

（2）入退園状況

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	37 名	1 名	0 名	38 名	他施設からの入所増 他施設入所による減
女	14 名	0 名	1 名	13 名	
計	51 名	1 名	1 名	51 名	

2．年齢状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

（1）年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～24	3	2	5	10
25～29	2	4	6	11
30～34	8	3	11	22
35～39	10	1	11	22
40～44	11	2	13	25
45～49	4	1	5	11
50～54	0	0	0	0
55～59	0	0	0	0
60～	0	0	0	0
人数計	38	13	51	100
最年少	23	23	—	—
最高齢	48	49	—	—

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平 均
平均年齢	37.2 歳	32.0 歳	35.9 歳

3. 障害状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1 度			2 度			3 度			4 度			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	24	10	34	10	2	12	4	0	4	38	12	50

※B 判定 1 名

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

愛の手帳 所持人数		1 度	2 度	3 度	4 度	合 計
		0 名	34 名	12 名	4 名	50 名
身体 障害者 手帳	1 級		視覚 1 名			1 名
	2 級		肢体 1 名			1 名
	3 級					
	5 級			肢体 1 名		1 名
	計	0 名	2 名	1 名	0 名	3 名

(3) 障害支援区分の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

現員	なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
生活介護	0 名	0 名	0 名	4 名	19 名	10 名	0 名	33 名
就労支援	5 名	0 名	2 名	6 名	5 名	0 名	0 名	18 名

生活介護 平均 4.2

就労支援 平均 2.3

4. 通園状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

(1) 利用者の出席状況（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

年間開所日数	要出席者延べ人数	出席者延べ人数	出席率
生活介護	6,400 人	7,446 人	116.3%
就労支援	3,840 人	3,948 人	102.8%
256 日	10,240 人	11,394 人	111.2%

(2) 送迎車両運行及び利用者状況

送迎車両コース	利用人数	所要時間	対応車種
リフト・コース	12 名	85 分	リフト付マイクロバス
キャラバン・コース※	11 名	80 分	キャラバンチェアキャブ [®] N V 350
西大井チェア・コース※	9 名	85 分	キャラバンチェアキャブ [®]
計	32 名	※コースは 2 便運行	

(3) 通園形態 (人)

施 設		西大井福祉園		
通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	4	2	7
	交通機関	1	0	1
家庭介護通園	徒歩等	10	5	14
送迎車両利用		23	6	32
合 計		38	13	51

5. 支援概要

(1) グループ編成 (平成 31 年 3 月 31 日現在) (人)

生活介護									就労継続 B			合計		
1 班			2 班			3 班			4 班					
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
9	2	11	6	5	11	8	3	11	15	3	18	38	13	51

(2) クラブ活動の実施状況 (生活介護事業)

活動名	内 容
ドライブ	年間を通じて東京タワー周辺・羽田空港・お台場・平和島方面へ出かけました。行き先によってはバスから降りて公園内を散策しました。
カラオケ	毎週水・金曜日の午後に食堂にて、曜日により参加利用者を変えて実施しました。
室内運動	毎週月曜日の午後に音楽に合わせて体操やストレッチ、バランスボールを使って体を動かす室内運動を実施しました。
芸術	墨と筆を使って字や絵を書いたり、色鉛筆を使った絵画を実施しました。仕上がった作品は展示しました。
体育館運動	毎週火曜日の午前にウエルカムセンター原にて、講師の指導の下に体を動かしました。かがやき園、むつみ園の利用者も合流し、交流の場になりました。

(3) 生産活動支援状況

清掃作業・軽作業は作業の拡充を行い、工賃向上に努めました。

①生産活動の内容

作業種目	内 容
クラフト作業 (自主製作品)	・ ビーズ製品…携帯ストラップ、メガネチェーン・髪ゴム ・ 織物…マフラー ・ 牛乳パックリサイクル製品…押し花はがき、しおり
軽作業	・ 宅配寿司等の箸セット、割箸袋入れ、惣菜パックへのシール貼り、チラシ折り、カップ詰め他
清掃作業	・ 近隣区立公園 5 ヶ所の清掃 ・ 森前障害者施設清掃

②自主製作品の販売状況

シンフォニーとして地域の各種イベント、近隣企業等の社会貢献活動の協力による自主制作品の社内販売等へ出店しました。その他、ひかり薬局・テルベ・リボン旗の台店・区内 5 箇所の図書館での販売、西大井福祉園内での保護者への販売も随時実施しました。

(4) 年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	備 考
4	13	第一回園連絡会・家族会総会	
	10	新年度を迎える集い	
5	13	第 26 回福栄会まつり	法人本部にて開催
6	7	プラネタリウム	五反田文化センター
	15	家族会夕食会	
	21	プラネタリウム	五反田文化センター
7	4	じゃがいも掘り交流会	旗の台菜園
	18・24・ 25・31	プール	※生活介護対象 かがやき園にて実施
8	1・15・ 22・28・ 29	プール	※生活介護対象 かがやき園にて実施
	16	プールのスイカ割り	
9	7	八景島シーパラダイス(水族館) ①	生活班
	21	八景島シーパラダイス(遊園地)	生活班
	27	ぶどう狩り	就労班

10	12	江ノ島・鎌倉	就労班
	19	八景島シーパラダイス（水族館）②	生活班
	27	第12回オータムフェスティバル	西大井地区合同
11	2	東京ドイツ村①	生活班
	6	さんま祭り	法人本部にて開催
	9	カップヌードルミュージアム	就労班
	13	品川菜園収穫祭	旗の台菜園
	16	東京ドイツ村②	生活班
	28	第二回園連絡会	
12	13	ズーラシア	生活班
	26	ケーキコンテスト	
2	1	節分	
	13	平和の森公園アスレチック	※旅行不参加者対象
3	12・26	運動会	ウエルカムセンター原
	12	銭湯（入浴訓練）	※生活介護対象区内銭湯利用
	14	第三回園連絡会	

※毎週火曜日（午前）：体育館での講師による運動

※随時活動：調理活動

6. 家族とのかかわり

（1）家族参加行事等の開催状況

区 分	内 容	実施日	備 考
家族会主催行事	夕食会	6月15日（金）	職員参加

（2）園連絡会等の開催状況

区 分	実施日	内 容
第一回	平成30年4月13日（金）	平成30年度事業計画
第二回	平成30年11月28日（水）	平成30年度上半期事業報告
第三回	平成31年3月14日（木）	平成30年度事業報告

（2）西大井福祉園だよりの編集内容

発行月	西大井福祉園だより 発行内容
4月	職員紹介／新年度を迎える集い、工事終了報告
5月	福栄会祭り、ドライブ（東京タワー、お台場）、調理活動
6月	緑化活動、プラネタリウム、家族会

7 月	梅の収穫体験、じゃがいも収穫体験、プール活動
8 月	スイカ割り、プール活動、調理活動
9 月	日帰り旅行、梨の集荷体験
10 月	日帰り旅行、緑化活動
11 月	日帰り旅行、第 6 回オータムフェスティバル、さんま祭り、収穫祭
12 月	日帰り旅行、ケーキコンテスト
1 月	就労グループ活動（博物館見学）、生活グループ活動（正月遊び）
2 月	豆まき、アスレチック
3 月	池上梅園、緑化活動、調理活動

7. 地域とのかかわり

（1）ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
クラフト作業補助	3	通年	押し花はがき
グループ補助	1	通年（毎木曜日）	活動補助

（2）利用者実習生の受け入れ状況（年間延べ人数）

区 分	人 数
港特別支援学校実習生	3 名

（3）職員実習生受け入れ状況

区 分	人 数
社会福祉士実習	2 名
介護福祉士実習	5 名
保育士実習	1 名
教職員介護等体験実習	4 名

8. 職員研修参加状況

（1）外部研修

品川介護福祉専門学校	喀痰吸引研修	6 月 5 日～9 月 11 日	1 名
日本てんかん協会	てんかん基礎講座	8 月 9 日・10 日	1 名
東京都社会福祉協議会	最新のキズの処置	7 月 7 日	1 名
東京都社会福祉協議会	強度行動障害の理解と支援システム	7 月 24 日	1 名
社会福祉法人嬉泉	自閉症実践医療セミナー	9 月 22 日	1 名

昭和大学医学部	高齢者の骨折	9月12日	1名
品川介護福祉専門学校	品川福祉カレッジ	9月12日・13日	2名
東京都社会福祉協議会	中堅職員研修	10月16日・17日	1名
品川区立心身障害者福祉会館	摂食嚥下のおはなし	11月9日	1名
品川介護福祉専門学校	口腔リハビリの実際	11月12日	1名
東京都福祉保健局	東京都強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	1月15日・16日	1名

（２）法人内部研修

研修内容	日程	参加者人数
虐待防止研修	6月13日・19日	8名
防犯研修	7月18日	10名
幹部職員研修	8月25日	1名
業績評価者研修	11月21日	1名
法人経営基礎研修	11月2日	1名
上級救命再講習	1月31日・2月27日	2名
上級救命講習	8月1日	1名

9. 防災訓練の実施状況

回	実施日	内 容
1	4月24日	火災想定による避難訓練
2	5月25日	火災想定による避難訓練
3	6月27日	火災・地震想定による避難訓練
4	7月27日	火災想定による避難訓練
5	8月24日	火災想定による避難訓練
6	9月25日	火災・地震想定による避難訓練
7	10月17日	火災想定による避難訓練
8	11月19日	火災想定による避難訓練
9	12月25日	火災・地震想定による避難訓練
10	1月28日	火災想定による避難訓練
11	2月26日 2月23日	火災想定による避難訓練 3町会合同による総合防災訓練
12	3月25日	火災・地震想定による避難訓練

10. 家族支援事業「トワイライトステイ」実施状況

内 訳	件数	17:15～18:15	17:15～19:00
利用件数合計	件	7 件	8 件

11. ヒヤリハット・事故件数

(1) ヒヤリハット報告状況

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計	
件数	4	3	2	6	2	7	24	
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
件数	5	2	5	1	8	8	29	53

※ヒヤリハット：他害行為、所在不明、転倒等（多い順）

(2) 事故報告状況

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
件数	0	0	0	0	1	0	1	1

※事故：その他（1 件）

品川区立西大井つばさの家事業報告 (外部サービス利用型共同生活援助)

1. 基本方針

入居者が住み慣れた地域で生活する主体者として、家庭的な雰囲気の中で共同し自立した日常生活を営むため、一人ひとりの状況に応じた最適なサービスを提供しました。

2. 重点目標

(1) 関係機関との連携

入居者の状況等必要に応じ、各相談支援センター及び日中活動事業所等と随時情報交換を行い連携し入居者の状況に応じた支援にあたりました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

高齢化により、サービスの移行が必要となった入居者に対し、本人の意向に沿ってご家族、障害者相談支援センター、日中活動事業所、介護支援専門員と協議の場を持ち、介護保険サービスの調整を行い、高齢福祉サービスの利用につなげました。

(3) 法人内西大井地区の連携

西大井福祉園、かがやき園と共に、グループホーム森前、グループホーム金子山の運営及び緊急時のバックアップ体制を整えました。

3. 家族・支援者との協力体制

年2回開催した家族懇談会では、事業計画や事業報告、施設での様子、帰宅時の家庭での様子などの報告と意見交換等を行いました。また、個別の要望等については、その都度面接を行い利用者ご家族及びサービス管理責任者、また、必要に応じて管理者も交えた話し合いを行いました。

4. 地域交流及び貢献活動

地域行事への参加や地域住民との交流を図り、福栄会が運営するグループホーム及び障害者に対する理解と協力が得られるよう努めました。

5. 事故防止・虐待防止

「福栄会ヒヤリハット・リスクレベル評価表」に基づき作成し、職員間で供覧し、情報を共有しました。また職員会議の中で、事例の分析を確認する等、事故の防止に努めました。また、法人主催の虐待防止研修（6月13日・

19日)と虐待防止チェックリストを活用して業務の振り返りを行い、虐待防止に向けた意識向上を図りました。

〔 西大井つばさの家 実績資料 〕

1. 利用者人員と入退所状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

（1）利用者人員（人）

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	7 名	6 名	5 名	71%	1 名	14%

注）内訳はの構成率は、原因に対する比率を示します。

（2）入退園状況（平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日）（人）

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	5 名	2 名	2 名	5 名	緊急一時利用
女	1 名	0 名	0 名	1 名	
計	6 名	0 名	0 名	6 名	

2. 年齢状況

（1）年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0
25～29	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0
35～39	1	1	2	33
40～44	0	0	0	0
45～49	1	0	1	17
50～54	0	0	0	0
55～59	0	0	0	0
60～	3	0	3	50
人数計	5	1	6	100
最年少	37	39	—	—
最高齢	75	39	—	—

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	58.6 歳	39.0 歳	55.3 歳

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1 度			2 度			3 度			4 度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	0	0	0	4	0	4	1	1	2	5	1	6

(2) 障害支援区分の状況

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0 名	0 名	0 名	1 名	0 名	0 名	5 名	6 名

4. 日課表

日課	時間	備考
起床	6 : 00 ~ 7 : 00	朝食 6 : 30 頃
就寝	22 : 00 ~ 23 : 00	夕食 18 : 15 頃
門限	19 : 00	施錠 22 : 00 開錠 6 : 30
入浴	順次	週 4 回以上

5. 日中活動事業所

通園施設	男	女	計
しいのき学園	4	0	4
ふれあい作業所	1	1	2
かがやき園	0	0	0
合 計	5	1	6

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備 考
2 月	近隣町会合同総合防災訓練	グループホーム森前・グループホーム金子山・西大井福祉園・かがやき園との合同
3 月	日帰り旅行（高尾山）	グループホーム森前とグループホーム金子山の合同

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回 家族懇談会	平成30年6月30日（土）	平成30年度事業計画と平成29年度会計報告
第2回 家族懇談会	平成30年3月24日（土）	平成30年の事業報告

8. 職員研修参加状況

（1）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人数
東社協	グループホーム世話人等研修会	12月9日	1

（2）法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
虐待防止研修	6月13日、6月19日	2
防犯研修	7月18日	1
幹部職員研修	8月25日	1
法人経営基礎研修	11月2日	1
業績評価者研修	11月21日	1
感染症研修	12月4日	1

9. ヒヤリハット・事故発生状況

（1）ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	1	0	0	0	0	1

※ヒヤリハット…通所にとまなうもの

（2）事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	1	0	0	0	0	0	0	1

※事故報告…所在不明

グループホーム森前事業報告 (外部サービス利用型共同生活援助)

1. 基本方針

入居者が住み慣れた地域で生活する主体者として、家庭的な雰囲気の中で共同し自立した日常生活を営むため、一人ひとりの状況に応じた最適なサービスを提供しました。

2. 重点目標

(1) 関係機関との連携

入居者の状況等必要に応じ、各相談支援センター及び日中活動事業所等と随時情報交換を行い連携し入居者の状況に応じた支援にあたりました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

高齢化により、サービスの移行が必要となった入居者に対し、本人の意向に沿ってご家族、障害者相談支援センター、日中活動事業所、介護支援専門員と協議の場を持ち、介護保険サービスの調整を行い、高齢福祉サービスの利用につなげました。

(3) 法人内西大井地区の連携

区立西大井福祉園、区立かがやき園と共に、区立西大井つばさの家、グループホーム金子山の運営と緊急時のバックアップ体制を整えました。

3. 家族・支援者との協力体制

西大井つばさの家 参照

4. 地域交流及び貢献活動

西大井つばさの家 参照

5. 事故防止・虐待防止

西大井つばさの家 参照

〔 グループホーム森前 実績資料 〕

1. 利用者人員と入退所状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

（1）利用者人員（人）

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	6 名	5 名	1 名	16.7%	4 名	66.7%

注）内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

（2）入退園状況（平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日）（人）

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	2 名	0 名	1 名	1 名	介護保険サービスへの移行
女	4 名	0 名	0 名	4 名	
計	6 名	0 名	1 名	5 名	

2. 年齢状況

（1）年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0
25～29	0	0	0	0
30～34	0	1	1	16.7
35～39	0	0	0	0
40～44	0	0	0	0
45～49	0	3	3	50.0
50～54	0	0	0	0
55～59	0	0	0	0
60～	1	0	1	16.7
人数計	1	4	5	100
最年少	64	31	—	—
最高齢	64	49	—	—

（2）平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	64.0 歳	43.3 歳	47.4 歳

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1 度			2 度			3 度			4 度			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	0	0	0	1	2	4	0	2	2	1	4	5

(2) 障害支援区分の状況

障害支 援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	4 名	5 名

4. 日課表

日 課	時間	備 考
起床	6 : 00 ~ 7 : 00	朝食 6 : 30 頃
就寝	22 : 00 ~ 23 : 00	夕食 18 : 15 頃
門限	19 : 00	施錠 22 : 00 開錠 6 : 30
入浴	順次	週 4 回以上

5. 日中活動事業所

通所施設	男	女	計
ふれあい作業所 (西品川)	0	1	1
かがやき園	1	0	1
心身障害者福祉会館	0	0	2
福祉工場しながわ	0	2	2
一般就労	0	1	1
合 計	1	4	5

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備 考
2 月	近隣町会合同総合防災訓練	グループホーム森前・グループホーム金子山・西大井福祉園・かがやき園との合同
3 月	日帰り旅行 (高尾山)	グループホーム森前とグループホーム金子山の合同

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回 家族懇談会	平成30年6月30日（土）	平成30年度事業計画と平成29年度会計報告
第2回 家族懇談会	平成30年3月24日（土）	平成30年の事業報告

8. 職員研修参加状況

（1）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人数
東社協	グループホーム世話人等研修会	12月9日	1

（2）法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
虐待防止研修	6月13日、6月19日	2
防犯研修	7月18日	1
幹部職員研修	8月25日	1
法人経営基礎研修	11月2日	1
業績評価者研修	11月21日	1
感染症研修	12月4日	1

9. ヒヤリハット・事故発生状況

（1）ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	1	0	0	0	0	1

※ヒヤリハット…忘れ物

（2）事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

グループホーム金子山事業報告 (介護サービス包括型共同生活援助)

1. 基本方針

入居者が住み慣れた地域で生活する主体者として、家庭的な雰囲気の中で共同し自立した日常生活を営むため、一人ひとりの状況に応じた最適なサービスを提供しました。

2. 重点目標

(1) 関係機関との連携

入居者の状況等必要に応じ、各相談支援センター及び日中活動事業所等と随時情報交換を行い連携し入居者の状況に応じた支援にあたりました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

週末には、西大井つばさの家とグループホーム森前の利用者とともに、外出や昼食をとることで仲間意識の向上につなげました。また、季節行事や合同の食事会を開催することで、利用者、家族、世話人、職員間における顔の見える関係づくりに努めました。

(3) 法人内西大井地区の連携

区立西大井福祉園、区立かがやき園と共に、区立西大井つばさの家、グループホーム森前の運営と緊急時のバックアップ体制を整えました。

3. 家族・支援者との協力体制

西大井つばさの家 参照

4. 地域交流及び貢献活動

西大井つばさの家 参照

5. 事故防止・虐待防止

西大井つばさの家 参照

〔 グループホーム金子山 実績資料 〕

1. 利用者人員と入退所状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

（1）利用者人員（人）

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	10 名	10 名	10 名	100.0%	0 名	0%

（2）入退園状況（平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日）（人）

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	10 名	0 名	0 名	10 名	
女	0 名	0 名	0 名	0 名	
計	10 名	0 名	0 名	10 名	

2. 年齢状況

（1）年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0
25～29	0	0	0	0
30～34	3	0	3	30
35～39	0	0	0	0
40～44	3	0	3	30
45～49	2	0	2	20
50～54	1	0	1	10
55～59	0	0	0	0
60～	1	0	1	10
人数計	10	0	10	100
最年少	32	0	—	—
最高齢	60	0	—	—

（2）平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	43.2 歳	0 歳	43.2 歳

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1 度			2 度			3 度			4 度			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	1	0	1	6	0	6	3	0	3	10	0	10

(2) 障害支援区分の状況

障害支 援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0 名	1 名	1 名	2 名	0 名	0 名	6 名	10 名

4. 日課表

日 課	時 間	備 考
起床	6 : 00 ~ 7 : 00	朝食 6 : 30 頃
就寝	22 : 00 ~ 23 : 00	夕食 18 : 15 頃
門限	19 : 00	施錠 22 : 00 開錠 6 : 30
入浴	順次	週 4 回以上

5. 日中活動事業所

通園施設	男	女	計
第二しいのき学園	3	0	3
西大井福祉園	3	0	3
福祉工場しながわ	2	0	2
ふれあい作業所（西大井）	2	0	2
合 計	10	0	10

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備 考
2 月	近隣町会合同総合防災訓練	グループホーム森前・グループホーム金子山・西大井福祉園・かがやき園との合同
3 月	日帰り旅行（高尾山）	グループホーム森前とグループホーム金子山の合同

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回 家族懇談会	平成30年6月30日（土）	平成30年度事業計画と平成29年度会計報告
第2回 家族懇談会	平成30年3月24日（土）	平成30年の事業報告

8. 職員研修参加状況

（1）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人数
東社協	グループホーム世話人等研修会	12月9日	1

（2）法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
虐待防止研修	6月13日、6月19日	2
防犯研修	7月18日	1
幹部職員研修	8月25日	1
法人経営基礎研修	11月2日	1
業績評価者研修	11月21日	1

9. ヒヤリハット・事故発生状況

（1）ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	1	0	0	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	1

※ヒヤリハット…不適切行為

（2）事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

品川区立かがやき園事業報告 (施設入所支援・生活介護・短期入所)

1. 重点目標への対応

(1) 生活介護サービスの提供

日中活動の内容を充実するため、「生活訓練」「余暇活動」「生産活動」「社会科見学」「旅行、地域交流」など、利用者一人ひとりの状況に応じたサービスを提供しました。

(2) 短期入所事業の充実

介護休養等でかがやき園が直接受け付けるのは2床までとし、3床目は各相談支援センターからの要請、4床目は品川区役所からの指示で受け入れるなどの緊急枠を確保する仕組みを作りました。その結果、保護者の入院等による緊急利用で連続して7日以上利用をした方が8名、さらに他区より緊急受け入れ先確保困難により1名を受け入れました。平成30年度の延べ利用者数1,227名の内、約1割、延べ174名を緊急一時保護として受け入れ地域の福祉ニーズに対応しました。

(3) 法人内西大井地区の連携

昨年度開設した「グループホーム金子山」「グループホーム森前」「西大井つばさの家」について、品川区立西大井福祉園と連携を図りながら運営を進めました。

また、職員の防災参集訓練時にグループホーム3箇所の利用者の安否確認及び西大井地区の法人管理建物の安全確認を行う等の訓練を実施しました。

(4) 開設から14年が経過し建物の経年劣化を考慮しつつ施設入所者の生活環境を整える為、品川区と協議しながら下記の改修工事を行いました。

設備更新

- 小浴室ガス給湯設備更新工事
- 転倒防止対策追加更新工事
- 1階厨房系統 給湯システム更新工事
- 1階厨房 厨房機器更新工事

改修工事

- 非常用発電設備工事
- 階段遮引戸追加かさ上げ工事
- 男性棟居室入口修理工事
- 居室漏水修繕工事
- 2階男性トイレ内装改修工事

小破修繕

- 共有部の壁紙の張替

2. 家族・支援者との協力体制

個別支援計画の作成にあたっては、ご家族を含めて3者面談を行い内容の確認を行いました。特にグループホーム等への地域移行希望者には、計画相談の相談員を含め3者面談を行い、7月末に女性1名がグループホームへ、2月中旬に女性1名が自宅へ戻りました。

年3回開催した家族連絡会では、事業計画や事業報告、施設での様子、帰宅時の家庭での様子などの報告と意見交換等の充実に努めました。また、昨年度に引きつづき園内でミニコンサートや喫茶、豚汁大会等を開催し、家族会・支援者との交流・協力体制を深めました。

3. 地域交流及び貢献活動

品川区及び品川区生活支援センター（心身障害者福祉会館）や福栄会障害者相談支援センターと連携し、就労や他の施設に適応できなかった知的障害者や引きこもりの知的障害者等を「体験利用」として10名、延べ289人を受け入れました。

その内、2名については、区内の通所施設への利用につながり、1名はかがやき園に入所しました。また、かがやき園の上層階にある西大井6丁目区民住宅と地域開放事業（ミニサロン）を11月より毎月1回区民住宅の集会室で開催し、延べ49名の高齢者等が参加して下さいました。更に区内の障害者団体の交流会をかがやき園において2回開催し延べ72名が参加して下さいました。

4. 事故・虐待防止策について

（1）事故防止について

ヒヤリハット・事故報告書を「福栄会ヒヤリハット・リスクレベル評価表」に基づき作成し、職員間で供覧し、情報を共有しました。また事故発生防止委員会を定期的に開催し、直近の事故・ヒヤリハットを確認する等、事故の防止に努めました。

（2）虐待防止について

虐待防止委員会において、虐待防止・サービス向上を目的とし研修計画やチェックリスト等を検討・実施し人権意識の向上を図りました。

法人主催の虐待防止研修（6月13日、6月19日に開催）と虐待防止チェックリスト（10月1日～10月20日に実施）を活用して業務の振り返りを行い、虐待防止に向けた意識向上を図りました。また、概ね2ヶ月に1回程度かがやき園自己点検票を記入し、日常業務の振り返りを行い、虐待防止に向けた意識向上を図りました。また、身体拘束を廃止する観点から身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束や抑制を是正するための検討を随時行いました。

品川区立かがやき園実績資料

(1) 利用者の入退所状況

<施設入所支援>

平成31年3月31日現在 単位：人

		入所者数			退所者数			月末在籍数
		病院 その他から	グループホーム 他施設から	区内通所 施設から	地域移行	他施設入所	入院・死亡	
4月	男	18	0	0	0	0	0	18
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	30	0	0	0	0	0	30
5月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
6月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
7月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	1	0	0	11
	計	0	0	0	1	0	0	29
8月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	29
9月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	1	0	0	0	12
	計	0	0	1	0	0	0	30
10月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
11月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
12月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
1月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
2月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	1	1	0	0	12
	計	0	0	1	1	0	0	30
3月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
総 計		30	0	2	2	0	0	30

※入所「区内通所施設から」は、在宅利用者を示す。

「病院 その他から」には年度当初に契約したかがやき利用者数を含む。

※退所「地域移行」は、グループホーム・自宅を示す。

「他施設入所」には他の障害者支援施設・高齢者施設を示す。

<生活介護>

平成31年3月31日現在 単位：人

		契約者数			退園者数			月末在籍数
		生活介護 利用者	家庭から 新規	家庭から その他	他事業所へ	入 院	死 亡	
4 月	男	19	0	0	0	0	0	19
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	31	0	0	0	0	0	31
5 月	男	0	1	0	0	0	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	1	0	0	0	0	32
6 月	男	0	0	0	0	0	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	32
7 月	男	0	0	0	0	0	0	20
	女	0	1	0	0	0	0	13
	計	0	1	0	0	0	0	33
8 月	男	0	0	0	1	0	0	19
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	1	0	0	32
9 月	男	0	0	0	0	0	0	19
	女	0	1	0	0	0	0	14
	計	0	1	0	0	0	0	33
10月	男	0	0	0	0	0	0	19
	女	0	0	0	0	0	0	14
	計	0	0	0	0	0	0	33
11月	男	0	0	0	0	0	0	19
	女	0	0	0	0	0	0	14
	計	0	0	0	0	0	0	33
12月	男	0	0	0	0	0	0	19
	女	0	0	0	0	0	0	14
	計	0	0	0	0	0	0	33
1 月	男	0	1	0	0	0	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	14
	計	0	1	0	0	0	0	34
2 月	男	0	0	0	0	0	0	20
	女	0	0	1	1	0	0	14
	計	0	0	1	1	0	0	34
3 月	男	0	1	0	0	0	0	21
	女	0	0	0	0	0	0	14
	計	0	1	0	0	0	0	35
総 計		31	5	1	2	0	0	35

(2) 利用者状況

(施設入所支援・生活介護)

平成31年3月31日現在

①障害状況 (人)

愛の手帳	男性	女性	計	%
1度	0	0	0	0.0
2度	15	9	24	68.6
3度	7	2	9	25.7
4度	0	2	2	5.7
合計	22	13	35	100.0

(人)

障害支援区分	男性	女性	計	%
区分1	0	0	0	0.0
区分2	0	0	0	0.0
区分3	4	0	4	11.4
区分4	6	7	13	37.1
区分5	7	5	12	34.3
区分6	5	1	6	17.1
計	22	13	35	100.0

※区分3の内1名は50歳以上。

平均障害支援区分		備考
生活介護	区分5.0	
施設入所支援	区分4.7	

②年齢構成 (人)

年齢(歳)	男性	女性	計	%
15～19	0	0	0	0.0
20～24	0	0	0	0.0
25～29	1	0	1	2.9
30～34	2	0	2	5.7
35～39	5	2	7	20.0
40～44	1	1	2	5.7
45～49	4	3	7	20.0
50～54	5	3	8	22.9
55～59	3	3	6	17.1
60～64	1	0	1	2.9
65～70	0	0	0	0.0
70以上	0	1	1	2.9
合計	22	13	35	100.0

(才)

平均年齢	男性	女性	平均
	46.3	51.4	48.3

(3) 地域生活移行の状況

平成30年3月31日現在

単位：(人)

年 度		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
地域生活移行者																	
グループホーム	人 数	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	9
	か所数	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	8
アパート		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自 宅		1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7
小 計		1	4	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	14
他 施 設		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	5
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		1	4	4	3	0	1	0	0	0	0	0	1	2	3	2	19
利用者現員	男性	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	
	女性	12	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	11	11	12	
合 計		30	30	30	30	30	29	29	30	30	30	30	30	28	29	30	

(4) 在園者の健康相談・通院状況（延べ人数）

平成30年3月31日現在

単位：人

	内科	外科	整形外科	耳鼻科	眼科	皮膚科	泌尿・婦人	精神科	神経内科	脳外科	歯科	合計
4月	11 1		12	1			2	1			4	11 21
5月	15 5		12		2		2	1			1 10	16 32
6月	11 8		13			1	1	1			3	11 27
7月	7 1	1	16	1	1	1	1				6	7 28
8月	17 1		12		2		1				4	17 20
9月	16 2		12				1				1 7	17 22
10月	11 4	1	12				1				1 3	12 21
11月	11 3		12				2				5	11 22
12月	21 13		13				1	1			3	21 31
1月	16 8		13	2			1				6	16 30
2月	10 7		12				1				1	10 21
3月	17 2		12				1	1			1	17 17
合計	163 55	2	151	4	5	2	15	5		0	53	166 292

※上段：施設内相談数 166 名 下段：施設外診療 292 名

※季節性インフルエンザ予防接種状況：平成 29年 11月22日・12月13日 利用者合計 29人内1名は本部にて接種）
1名は東芝病院に接種

入院者状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1	1							1	1	2	1	7

原因 ○クローン病治療 1名、薬合わせ 1名、胃潰瘍 1名

(5) 行事等実施状況

月 日	行事名等	内 容	月 日	行事名等	内 容
4 8	運河まつり		10	個別支援計画中間モニタリング	
14	個別外出	お花見ドライブ	3	日帰り旅行⑤	朝霧高原
27	利用者集会	5月の予定等確認、利用者意見	12	体験学習	大根堀り
28	個別外出	Jリーグサッカー観戦	13	中延特養ホーム くつろぎ祭	
			18	体験学習	焼き芋大会
			21	品川総合福祉センター 社楽ノエスタ	
			20	社会科見学⑧	工場見学 横浜崎陽軒
			27	オータムフェスティバル	西大井地区合同納涼祭
5 3	菖蒲湯		11 4	ふれあい作業所 ふれあい祭	
10	個別外出	ドレミファダンスコンサート	6	秋のさんま祭り	利用者参加
13	福栄会まつり	利用者参加	7	荏原七福神	招福巡礼スタンプラリー
25	家族交流事業	歯のおはなし	8	区民住宅ミニサロン①	
25	利用者集会	6月の予定等確認、利用者意見	11	社会科見学⑦	販売店見学 産プリンス馬込店
28	社会科見学①	国立科学博物館	11	ウエルカムセンター原祭り	
			13	品川菜園 収穫祭	利用者参加
			18	春光特別養護老人ホーム	春光まつり
			19	宿泊旅行	伊藤温泉
			20	宿泊旅行	伊藤温泉
			28	社会科見学⑧	国会議事堂参議院
6 3	第一回家族連絡会		12 9	障害者記念のつどい	
5	体験学習	梅狩り	13	区民住宅ミニサロン②	
7	個別外出	プラネタリウム	14	健康診断	
8	家族交流事業	第一回ミニコンサート・喫茶	15	家族交流事業	豚汁&ダンス大会
10	個別外出	コンサート	19	個別外出	ブックオフ 国道1号線多摩川大橋店
20	日帰り旅行①	マザー牧場	22	家族交流事業	衣類販売
21	個別外出	プラネタリウム	22	第二回家族連絡会	
27	日帰り旅行②	横浜動物園ズーラシア	28	利用者集会	1月の予定等確認、利用者意見
28	個別外出	プラネタリウム			
29	利用者集会	7月の予定等確認、利用者意見			
7 1	家族交流事業	衣類販売	1 1	元旦 お節料理	新年挨拶（理事長等）
1	ポテトチップパーティー		10	健康診断	
4	高級スイーツ体験	ホテルオークラ東京	13	社会科見学⑨	日本ペイント明治記念館
4	交流会	源氏前保育園児とじゃがいも堀り	20	障害者団体交流会	ダウン症友の会「ボラリス品川」
5	健康診断		23	社会科見学⑩	ユニセフハウス
6	大井消防署自衛消防審査会	男子隊優勝・女子隊2位	25	利用者集会	2月の予定等確認、利用者意見
12	日帰り旅行③	ららぽーと湘南平塚 チームラボ	26	区民住宅ミニサロン③	
16	しいのき学園音楽のタベ	ジャズコンサート			
23	プール活動開始				
25	社会科見学③	大井清掃工場			
28	品川納涼祭	西大井広場まつり			
8 13	お盆 迎え火		2	次年度個別支援計画モニタリング	
15	お盆 送り火		2	節分	豆まき
24	流しそうめん大会		9	社会科見学⑪	福祉大相撲見学
24	花火大会		22	利用者集会	3月の予定等確認、利用者意見
29	体験学習	梨狩り	23	区民住宅ミニサロン④	
31	利用者集会	9月の予定等確認、利用者意見	26	個別外出	パーミヤン西六郷店
31	プール活動終了				
9 1	音楽療法		3 8	家族交流事業	第三回ミニコンサート・喫茶
5	社会科見学④	視察船 新東京丸	9	「東京2020応援プログラム」	MERRY SMILE MINATO
8	ふくしままつり	利用者参加	12	個別外出	銭湯体験 富士見湯
9	社会科見学⑤	パナソニックセンター「リスーピア」	13	社会科見学⑫	工場見学 花王川崎工場
12	社会科見学⑥	消防博物館	15	第三回家族連絡会	
14	体験学習	梨狩り	19	個別外出	はま寿司 ウィラ大井町店
19	日帰り旅行③	山手線一周の旅	24	障害者団体交流会	ダウン症友の会「ボラリス品川」
21	体験学習	築地場外市場見学	29	利用者集会	4月の予定等確認、利用者意見
26	日帰り旅行④	東京湾一周の旅	30	区営住宅ミニサロン	
28	社会科見学⑦	品川区長選挙 期日前投票			
28	利用者集会	10月の予定等確認、利用者意見			
30	家族交流事業	第二回ミニコンサート・喫茶			

(6) 施設入所支援、生活介護 ヒヤリハット・事故状況

平成31年3月31日現在 単位：人

ヒヤリハット報告状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	9	9	8	4	7	8	8	10	6	5	1	11	86
施設入所	6	4	2	6	9	14	7	6	5	3	1	7	70
短期入所	2	2	0	0	1	4	3	1	2	1	1	1	18

興奮、自傷、暴力、転倒、誤薬等（多い順）

事故報告状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
施設入所	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
短期入所	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3

器物破損3件、怪我・傷2件、誤薬1件、無断外出1件、他害1件

(7) 研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
東京都社会福祉協議会	5/19	知的発達障害者支援部会 保健医療スタッフ会幹事会	1
品川福祉カレッジ	11～1月全20回	喀痰吸引実地研修	1
品川区社会福祉協議会	6/9	しながわ子ども食堂フォーラム2018	3
学校法人 調布学園	6/30, 7/1	社会福祉士実習指導者講習会	1
東京都社会福祉協議会	7/7	知的発達障害者支援部会 保健医療スタッフ会幹事会	1
東京都社会福祉協議会	8/1～8/2	社会福祉職務階層別研修 初任者研修	2
東京都社会福祉協議会	9/16～9/21	平成30年7月豪雨災害広島県（三原市）職員被災地派遣	1
東京都社会福祉協議会	9/22	知的発達障害者支援部会 保健医療スタッフ会幹事会	1
福祉保健財団	9/20, 21	東京都介護職員等による喀痰吸引研修指導者看護師研修会	1
日本社会福祉士会	9/29	地域包括ケア全国実践研究集会	1
東京都福祉保健局	10/16～10/17	東京都強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	1
東京都福祉保健局	10/11～10/12	東京都強度行動障害支援者養成研修 実践研修	1
城南特別支援学校	10/31	学校公開	2
東京都福祉保健局	12/4～12/5	東京都強度行動障害支援者養成研修 実践研修	1
(株) ディアロー	1/16～1/18	大田区認証保育所 ここわ保育園 職員派遣保育実習	1
東京都社会福祉協議会	2/21～2/22	東京都 知的発達障害者部会 総会	1
品川総合福祉センター	2/1	大井三丁目ゆうゆうプラザ 職員見学研修	1
東京都社会福祉協議会	10/6	知的発達障害者支援部会 保健医療スタッフ会幹事会	1
東京都福祉保健局	3/25	受動喫煙防止対策に関する施設管理者向け説明会	1

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
かがやき園	4月～6月	OJT研修（新任、異動）	3
法人	6/13, 19	虐待防止研修	7
かがやき園	7/18	福祉施設における不審者侵入時の対応	9
法人	7/20	メンタルヘルス研修	14
法人	8/25、11/10	法人経営者研修	1
法人	8/23	福祉施設における不審者侵入時の対応	4
法人	10/2	新人フォローアップ研修	1
かがやき園	12/7～27 全7回	感染症予防研修	26
法人	11/28	感染症防止研修	8
法人	11/17	実務研究発表	1
法人	11/13	安全運転講習	1
法人	12/3	法人基礎研修	2
法人	12/1～12/21	品川区立西大井福祉園 職員派遣研修	1
法人	3/26	小規模福祉施設の防火実務講習会	2
法人	1/31、2/28	上級救命講習	6

(8) 防災訓練実施状況

年	月	日	曜日	訓練内容	
30	4	27	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	5	25	金	日中想定	[火点：2階事務室]
	6	29	金	日中想定	[火点：2階事務室]
	7	20	金	日中想定	[火点：2階事務室]
	8	31	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	9	28	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	10	19	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	11	30	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	12	28	金	日中想定	[火点：1階食堂]
31	1	25	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	2	20	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	3	29	金	日中想定	[火点：1階食堂]

西大井六丁目複合施設防火管理関係構成員

事業所名	管理権原者	防火管理者	使用階等
西大井六丁目 第三区営住宅	品川宅建センター 取締役	宅建センター防火管理者	3階～6階
品川区立 かがやき園	福栄会理事長	施設長	1階～2階
統括防火管理者		施設長	

(9) 実習・研修生受入状況（年間受け入れ人数）

	受入学校数	人数	備考
保育実習	7	16	
福祉実習	3	7	介護福祉・社会福祉
計	10	23	

(10) 短期入所事業 日中所属施設別利用状況

定員 3 360 1080 年平均利用率 114% 平成30年度実績

日中所属施設		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 延べ人数	年間 実人数	一人当たり 利用日数
第一しいのき	延べ人数	20	26	28	29	54	25	35	41	29	19	18	26	350	12	29
	実人員	7	7	5	6	8	5	7	8	7	5	4	6			
第二しいのき	延べ人数	19	22	13	4	6	4	2	13	6	3	2	3	97	12	8
	実人員	7	7	5	1	2	2	1	2	2	1	1	1			
西大井福祉園	延べ人数	27	28	38	35	24	45	48	43	43	25	25	52	433	21	21
	実人員	9	9	11	11	8	9	10	14	8	7	10	15			
心障会館	延べ人数	8	9	8	4	6	6	9	6	6	9	5	10	86	5	17
	実人員	3	3	2	2	2	2	3	2	2	3	2	3			
サンかもめ	延べ人数	13	11	9	11	7	9	10	0	6	4	3	3	86	1	86
	実人員	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1			
かがやき生活	延べ人数	2	0	3	7	0	0	2	4	2	2	2	4	28	2	14
	実人員	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1			
南品川むつみ園	延べ人数	7	7	8	6	7	9	9	8	4	3	0	0	68	6	11
	実人員	2	2	3	2	2	3	3	3	1	1	0	0			
学齢児	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他	延べ人数	30	25	0	4	0	0	0	0	0	18	2	0	79	4	20
	実人員	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0			
合計	述べ人数合計	126	128	107	100	104	98	115	115	96	83	57	98	1,227	63	19
	実人数合計	31	30	28	25	23	22	26	30	22	20	20	27			

南品川むつみ園事業報告（生活介護）

1. 重点目標への対応

（１）日中活動の充実

日中活動を軽作業とウォーキングや室内運動、体育館利用などの運動と分け、利用者の健康維持・向上に努めるとともに、季節に合わせた行事などの余暇活動も行い活動の充実を図りました。

また、年間を通して随時室内の環境整備を行い、利用者の方が快適に過ごせる環境づくりを行いました。

（２）利用者サービスの質の向上

個別対応が必要な利用者に対し、専門職や関係機関と連携を図りながら対応を行いました。また、保護者の高齢化等による緊急対応は関係機関などと連携しながら対応にあたりました。

2. 家族・支援者との協力体制

家族・保護者とは定期的に連絡会を行い、事業の報告等を行うなど情報交換に努めました。また利用者の日々の様子等については必要に応じて報告を行うと共に面談や家庭訪問を実施しました。

3. 地域貢献、関係機関との連携

施設の行事や活動紹介などを通して地域との交流に取り組むと共に、町会や近隣の学校等の地域活動に積極的に参加し、交流を深めました。

区内にお住まいの福祉サービスに繋がりにくい地域の知的障害者の受け入れを行いながら、相談支援センターと共に適切な事業所へ繋げる、また、障害者のご家族を対象とした交流会を実施する等を通し地域に貢献しました。

4. 事故防止策・虐待防止対策

（１）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は実績資料（別表１０）のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し職員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

（２）虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、ケース会議において支援方針の統一を図

り支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及びBCPに基づき毎月1回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔南品川むつみ園実績資料〕

(平成31年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内 訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
20	14	12	85.7	2	14.3

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	12	2	2	12
女	2	1	1	2
計	14	3	3	14

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	1	0	1	7.1
20～29	6	2	8	57.2
30～39	1	0	1	7.1
40～49	3	0	3	21.5
50～59	1	0	1	7.1
60～	0	0	0	0
人数計	12	2	14	100
最年少	19	22		
最高齢	50	23		

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	31.0 歳	22.5 歳	29.79 歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1 度			2 度			3 度			4 度			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	8	1	9	3	1	4	1	0	1	12	2	14

(2) 身体障害者手帳の併所持・主な合併症状をもつ利用者の状況

愛の手帳		1 度	2 度	3 度	4 度	非該当	合 計
所持人数		0 名	9 名	4 名	1 名	0 名	0 名
身 障 手 帳	1 級						
	2 級						
	3 級						
	4 級						
	計	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名

(3) 障害支援区分の状況

障害支援	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
区分	人数	0 名	0 名	5 名	6 名	3 名	0 名	0 名	14 名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
255 日	5,100 人	3,104 人	60.9%

(2) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	0	0	0
	交通機関	0	0	0
家庭介護通園	徒歩等	0	0	2
送迎車両利用		12	2	14
合 計		12	2	14

(3) 送迎車両運行及び利用者状況

送迎車両	利用人数	主なコース	所要時間	対応車種
NV-350	4名	五反田・北品川方面	70分	NV-350
コンピューター	10名	西大井・大森方面	70分	ハイエース
合 計	14名			

5. 支援概要

(1) 活動の実施状況

活動名	内 容
散歩 ウォーキング	年間を通じて作業終了後に近隣を20分程度の時間で実施しました。また、作業と並行して1時間～1時間半程度の長距離のウォーキング活動も実施しました。
カラオケ	木曜日の午後に1時間～1時間半程度の時間で実施しました。
ドライブ	木曜日の午後にお台場や東京タワー、羽田空港、横浜などへのドライブを実施しました。
書道	毛筆・ペン習字を月2回程度実施しました。毛筆の作品を「品川区障害者作品展」に出品しました。
創作	月曜日の午後にしぎり絵の作品でカレンダー作りを実施しました。また、季節の飾りなども作成しました。昨年度同様、アートディレクターの方の指導も月1回実施しました。
お菓子作り	2か月1回実施し、利用者の方々も協力して季節を感じられる様なお菓子を作りました。
喫茶利用	2カ月に1回実施しました。福栄会の海岸通りに出掛け、地域交流や社会体験の場としました。
音楽レクリエーション	講師による音楽レクリエーションを月1回実施しました。
体育館活動	東品川文化センターの体育館に行って、ジョギングやストレッチなどの身体を動かす場を提供しました。 また、西大井地区と合同でウェルカムセンター原での体育館利用も実施しました。
室内運動	南品川むつみ園にてストレッチや体操等を中心に室内運動を実施しました。

(2) 生産活動支援状況

作業種目	内 容
軽作業	・レジ袋折り、新聞広げ、他

(3) 年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	備 考
4	6	新利用者を迎える集い	
5	13	福栄会まつり	
	19	第1回園連絡会	
6	7	プラネタリウム参加	他施設と合同
	27	健康診断実施	
	28	プラネタリウム参加	他施設と合同
8	31	スイカ割り大会	
10	27	オータムフェスティバル	西大井地区合同
11	6	さんま祭り	福栄会
	13	品川菜園収穫祭	品川菜園
12	11・21	日帰り旅行	千葉県佐倉
1	18	新成人を祝う会	
	25	第2回園連絡会	
3	23	第3回園連絡会	

6. 家族とのかかわり

(1) 園連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回	平成30年 5月21日(土)	平成30年度事業計画について他
第2回	平成31年 1月26日(土)	上半期概況報告及び上半期事業報告について他
第3回	平成31年 3月17日(土)	園全体の概況報告・次年度について他

(2) 園報の発行内容

発行月	発行内容
4 月	異動職員挨拶 外出活動報告 おやつ作り
5 月	職員紹介 新利用者を迎える集い
6 月	福栄会まつり アートディレクター おやつ作り
7 月	かがやきコンサート プラネタリウム 喫茶利用
8 月	日中活動報告 夏季の健康管理
9 月	日中活動報告 スイカ割り おやつ作り
10 月	オータムフェスティバルお知らせ 作品展お知らせ
11 月	収穫祭報告 さんま祭り報告 オータムフェスティバル報告
12 月	品川菜園報告 おやつ作り 作品展報告
1 月	新年のご挨拶 日帰り旅行報告
2 月	成人を祝う集い おやつ作り 節分
3 月	アートディレクター 一年の振り返り

(3) 地域とのかかわり

ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
音楽活動講師	1	通年 (月 1 回)	音楽レクリエーション
創作活動講師	1	通年 (月 1 回)	創作 (アートディレクター)

7. 実習・研修生の受け入れ状況 (年間受け入れ人数)

区 分	人数	備 考
専門学校・大学・企業等	0 名	

8. 職員研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
東京都福祉保健財団	介護支援専門員実務研修	6 月 12 日～ 10 月 10 日	1
品川福祉カレッジ	オプション講座	10 月 29 日	2
品川福祉カレッジ	オプション講座	12 月 20 日	3

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
虐待防止研修	6 月 13 日 (火)	3
メンタルヘルス研修	7 月 20 日 (金)	3
法人経営基礎研修	11 月 10 日 (土)	1
安全運転者講習	11 月 13 日 (火)	2
実務研究発表会	11 月 17 日 (土)	1
感染症予防研修	11 月 28 日 (水)	2
給与説明会	平成 31 年 1 月 24 日 (木)	3
新規施設法人内部見学会	平成 31 年 2 月 21 日 (木)	3

9. トワイライト実施状況

家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

内 訳	件数	17:15～18:15	17:15～19:15
利用件数合計	24	18	6

10. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	6	3	4	4	9	5	7	2	2	3	2	2	49

・他傷/他害行為 (43 件) ・転倒 (5 件) ・所在不明 (1 件)

(2) 事故報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

・転倒 (1 件) ・他害行為 (1 件)

1 1 . 防災訓練の実施状況

回	実 施 日	内 容
1	4 月 26 日 (木)	火災想定による避難訓練
2	5 月 24 日 (木)	火災想定による避難訓練
3	6 月 29 日 (金)	地震後火災想定による避難訓練
4	7 月 26 日 (木)	火災想定による避難訓練
5	8 月 30 日 (木)	火災想定による避難訓練
6	9 月 27 日 (金)	地震後火災想定による避難訓練
7	10 月 25 日 (木)	火災想定による避難訓練
8	11 月 29 日 (木)	火災想定による避難訓練
9	12 月 27 日 (木)	地震後火災想定による避難訓練
10	1 月 24 日 (木)	火災想定による避難訓練
11	2 月 28 日 (木)	火災想定による避難訓練
12	3 月 28 日 (木)	地震後火災想定による避難訓練

1 2 . 感染症発生状況

インフルエンザ	感染性胃腸炎
5 名	0 名

福栄会障害者相談支援センター事業報告

1. 重点目標への対応

(1) 地域拠点相談支援センターの意義・役割を認識し、体制の整備を行う

指定特定相談支援事業と地域拠点相談支援センターとしての役割を整理し、実績報告に反映させました。業務量が増える中、関係機関と今後の方針について協議を重ねていきます。

(2) 新規センターへの担当地区の円滑な引き継ぎ

グロー障害者相談支援センターへ、担当地区利用者の引き継ぎは概ね完了しており、引き継ぎ後も利用者の生活が安定している事を確認しました。

(3) 障害者相談支援センターとしての体制、力量の整備

相談員全体で、相談支援の過程を共有し、マネジメント力を高めるため、OJTを常に意識し、各種専門研修へも計画的に参加し、個々の力量の向上を図りました。

(4) 福祉サービス提供事業者等とケースカンファレンスや担当者会議等の実施

福祉サービス提供事業者等との連携のもと、ケースカンファレンスや担当者会議等を適時実施し、支援方針及びサービス調整等を行い、利用者の生活の質の向上を図りました。

(5) 加齢障害者や家族の高齢化等に対し、介護保険制度や医療保険制度の知識の習得など、相談員の相談スキルの向上に取り組み

高齢障害者や家族の高齢化等に対し、適切な支援が行えるよう、これまでの相談支援実績を生かし関係機関との連携強化を図りました。またケースマネジメントを通じて介護保険制度や医療保険制度の知識の習得に務めました。

2. 業務内容

(表 1)

指定特定相談支援事業	計画相談	(1) 対象者 ①居宅介護利用者（既利用者・新規利用者） ②通所系（就労移行支援・就労継続 A、B・自立訓練等） ③グループホーム利用者等 ④区内入所施設利用者等 ⑤その他 (2) 内 容 ①アセスメント・サービス利用計画作成（マネジメント） ②担当者会議・ケースカンファレンスなど ③モニタリング（月 1 回～年 2 回など、適宜） ④関係機関調整 （開始時、変化のある時、問題発生時に適宜行なった。また、基幹相談支援センターとの連携は積極的に行った。） ⑤支援区分調査
地域拠点相談支援センター事業	一般相談	(1) 対象者 指定相談以外で就労や福祉サービスの利用等の相談者等 (2) 内 容 ①アセスメント・ケアプラン作成（年度当初の登録更新時に実施） ②ケア会議 ③面接・訪問等による相談継続 ④緊急時対応（日中、夜間、休日等も実施） (3) 事 業 ①個別相談（訪問、同行支援も含む）
	各種会議・検討会	(1) 地域拠点相談支援センター整備・充実のための協議への出席 （部会での協議も含む）計 4 回 (2) 自立支援協議会及び、分科会への出席 ①自立支援協議会（3 回） ②相談支援部会（4 回） ③就労支援部会（1 回） ④社会資源部会（1 回）

地域援拠相談支援センター	相談	912 件 主に困難ケースの対応
	体験	13 件 グループホームや施設入所に向けての体験をして次の方針を決める
	緊急	207 件 日中・夜間を問わず、即時対応を行った
	専門性	1 件 在宅介護支援センターの地区ケア会議にて、障害福祉の制度の説明
	地域	100 件 主に調整会議を開催し、関係機関との基礎ネットワークを構築
	その他	9 件（受診同行など） 2 件（苦情対応など） 上記に該当しない項目

3. 相談支援実績

(表 2)

(年度)	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
相談件数 実	1,062	1,182	1,207	1,215	467
延	14,101	15,295	15,316	15,095	7,185
計画作成件数	275	266	172	313	241
モニタリング件数	641	334	386	529	393
カンファレンス・件	94	92	89	108	111
延参加人数	542	610	597	724	356
支援区分調査件数	68	135	130	68	114

相談方法の年度推移

(表 3)

相談方法	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
電話相談	6,564	6,600	7,491	9,762
来館相談	1,334	1,405	1,195	1,218
訪問（自宅）※	3,119	3,782	3,508	2,527
訪問（施設等）※	2,368	2,758	2,415	1,286
同行支援※	511	469	399	69
文書等	88	172	109	129
その他	117	109	199	104
合計	14,101	15,295	15,316	15,095

※困難なケースへの即応的な対応が求められ関係機関との連携が一層重要。

かもめ第一・第二・第三工房事業報告（就労継続支援B型）

1. 重点目標への対応

（1）かもめ工房三ヶ所の作業体制の検討

かもめ工房三所の特色、役割、課題を明確化するために、三所の作業種目や作業量の分化、統合を進めました。課題は残しつつも、三所の作業の再編成はほぼ確立し、三所とも売上や工賃アップが図られました。

（2）各所の事業運営

①かもめ第一工房

ア 自立生活への支援

利用者の高齢化に伴い家族支援をし、今年度2名の利用者を滞在型グループホームの入居、1名の利用者を生活保護受給に結びました。

イ 職員のスキルアップ

利用者から病気の相談に応えるためや、本人への対応、本人と主治医のコミュニケーション補助のために、同行通院を積極的に行い、状態悪化による緊急入院対応を、昨年同様今年度も2件行いました。

この状態悪化時の対応等を通し、職員のスキルアップに結びました。

また、今年度品川区の实地検査の結果に基づき、職員が業務の点検や整理をし、様々な気づきを持ち業務の平準化を図りました。

ウ 製菓作業の充実

作業の再編成により、第一では、製菓作業に力点を置き、二種類の新製品を製造し、販売方法で地域の他団体との共同作業も行いました。

②かもめ第二工房

ア 利用率の向上

今年度は利用率75.6%で、昨年度の72.1%よりアップしました。軽作業の受注を積極的に行い多様な作業を提供する事により、作業意欲の向上に努めました。又、月一回ゲーム大会を実施する事等により、余暇の充実を図るとともに他利用者・職員とのコミュニケーション場面の提供に努めました。

イ 生活講座の充実

簡単に出来るメニューを選んでの調理実習、身近な社会資源についての講座・服薬に関する講座等、実生活に活かせる題材を選んで実施してきました。コミュニケーションに関しても、作業場面を選んでのSSTを行いました。2月には、品川福祉保健従事者実践・研究発表会で実践報告を行いました。

ウ 高齢化への対応

家族同席の面談はほとんど出来なかったが、個別面談の際に家庭状況の聞き取りを行い、必要に応じて家庭へのアプローチを行い、一人暮らしの利用者のフォロー、家族との連携強化に努めてきました。

③かもめ第三工房

ア 利用率の改善

利用者の作業へのモチベーション、スキルアップへの支援で安定的通所に繋がり、利用率は29年度の82%から97%にアップしました。

また、新規利用者6名を受け入れました。

イ 就労支援

就労支援の一環として、三所合同の企業見学を地域の企業のご協力により実施し、障害者雇用の現状や就労に対するイメージ作りに貢献しました。しかし、今年度は就労に繋げることは出来ませんでした。

ウ 医療や家族との連携

今年度は高齢の親と暮らす利用者への支援（家庭訪問、同行通院等）を重視し、家族や医療との連携を進め、地域生活を支援しました。

2. 家族・支援者との協力体制

かもめ工房全体の高齢化に伴い、60代の利用者が80代90代の親や家族の介護・支援をしている状況も多くなっている現状に対応し、親も本人も自立した生活を送ることができるように、家族や関係機関との連携、支援を行いました。

3. 地域との交流及び貢献活動

地域のイベントへの参加、ボランティア・実習生の受け入れ、地元企業や他団体、地域の大学等と連携した活動を通じて精神障害者の理解を促進すると同時に、地域の方々に喜んでいただける活動を推進しました。

4. リスクマネジメント・虐待防止への取組強化

(1) リスクマネジメント

ヒヤリハット、事故発生状況は別表8のとおりです。今年度は日常業務の中で多くのヒヤリハットに気づくこと、事故再発防止のために事故原因の分析を徹底することを確認し点検しました。また、障害特性上の症状からくる（幻聴・妄想等）ヒヤリハットや事故に繋がることもあるため、緊急時の対応等を医療との連携で確認しました。

(2) 虐待防止

人権擁護、人権尊重の視点を強く持ち支援しました。特に、精神的に不安定な時の職員と利用者とのコミュニケーションについては、言動や行動に、細心の注意をはかり支援にあたりました。

5. 各所利用状況（平成31年3月31日現在）

(1) 利用者人員

施設名	定員	在籍者数	内訳			
			男	比率%	女	比率%
第一工房	25	36	19	53%	17	47%
第二工房	20	28	16	57%	12	43%
第三工房	20	38	22	58%	16	42%

(2) 入退所状況

施設名	在籍者数 (H30.4)	増	減	年度末 在籍数	退所者理由			
第一工房	40	3	7	36	就労	0名	他サービス	2名
					状態悪化	0名	死亡	0名
					その他	3名	転居	2名
第二工房	28	6	6	28	就労	0名	他サービス	0名
					状態悪化	0名		
					その他	6名		
第三工房	33	6	1	38	就労	0名	他サービス	0名
					状態悪化	0名	死亡	0名
					その他	1名		

(3) 年齢構成

施設／年齢		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
第一工房 36名	男		1	4	8	3	3	
	女		3	5	5	3	0	1
第二工房 28名	男		0	1	5	7	3	
	女		1	3	4	3	1	
第三工房 38名	男		0	5	8	6	3	
	女		1	4	8	3	0	

(4) 平均年齢

施設／年齢	男（平均）	女（平均）	平均年齢	最年少者	最高齢者
第一工房	45.6	41.5	43.7	24	70
第二工房	53.0	44.9	49.5	29	69
第三工房	47.9	43.9	46.2	22	63

(5) 精神障害者福祉手帳取得状況

施設／等級	1 級	2 級	3 級	他障害手帳	なし	合 計
第一工房	0	26	7	1	2	36
第二工房	3	19	4	(2)	2	28
第三工房	0	25	11	1	1	38

(6) 生活状況

施設／状況	障害年金 受給者	老齢年金	無年金	生活保護 受給者	家族同居	単身者
第一工房	23	0	13	13	23	13
第二工房	19	0	9	6	17	10
第三工房	22	0	16	11	24	14

(7) 利用状況（平成30年4月～平成31年3月）

施設／状況	実開所日数	延べ人数	月平均人数	一日平均人数	利用率
第一工房	246日	5,137人	433人	20.9人	83.5%
第二工房	247日	3,736人	311人	15.1人	75.6%
第三工房	246日	4,728人	426人	19.2人	96.1%

6. 作業状況（平成30年4月～平成31年3月）

(1) 館内清掃

No.	施設名称	作業スケジュール	分担
1	北品川つばさの家	週5回	第一工房
2	品川区立西大井福祉園	週5回	第二工房
3	品川区立かがやき園	週3回	第二工房
4	西大井六丁目第三区営住宅	月1回	第二工房

(2) 公園清掃

N o .	公園名	作業スケジュール	分担	面積 (㎡)
1	源氏前公園	月・水・金 (週3回)	第一工房	1, 0 6 9
2	源氏前特定児童遊園	月・水・金 (週3回)		3 3 4
3	ごこう広場	月・金 (週2回)		5 8
4	弁天通公園	月・金 (週2回)		6 6 3
5	中六桜広場	月・金 (週2回)		1 6 6
6	庚申公園	月・金 (週2回)		4 9 2
7	荏原町公園	月・水・金 (週3回)		8 8 3
8	北品川三丁目児童遊園	月・金 (週2回)		3 3 9
9	戸越六丁目児童遊園	月・金 (週2回)		9 5
1 0	小関公園	月・水・金 (週3回)		1, 1 2 5
1 1	御殿山の丘公園	月・金 (週2回)		8 6 9
		小計		6, 0 9 3
1 2	西大井六丁目ふれあい広場	月・水・金 (週3回)	第二工房	1, 2 1 5
1 3	谷垂公園	月・水・金(週3回)		5 6 4
1 4	森前公園	月・水・金 (週3回)		5 8 8
1 5	宮下公園	月・金 (週2回)		3 8 4
1 6	森下公園	月・金 (週2回)		7 9 8
1 7	豊町二丁目防災広場	月・金 (週2回)		1 2 8
1 8	二鳳公園	月・金 (週2回)		2 0 1
1 9	豊四防災広場	月・金 (週2回)		1 2 5
2 0	豊四中央防災広場	月・金 (週2回)		2 0 6
2 1	豊町5丁目児童遊園	月・金 (週2回)		2 7 7
2 2	二葉中央のんき通り広場	月・金 (週2回)		2 6 2
		小計		4, 7 4 8
2 3	平塚中央公園	月・水・金 (週3回)	第三工房	1, 3 2 0
2 4	西五反田公園	月・水・金(週3回)		2, 2 6 2
2 5	本三くじら広場	月・金 (週2回)		1 5 9
2 6	ころく坂の上広場	月・金 (週2回)		2 2 2
2 7	かむろ坂公園	月・金 (週2回)		1, 1 3 1
2 8	谷山公園	月・金 (週2回)		7 7 5
2 9	亀の甲児童遊園	月・金 (週2回)		1 5 7
3 0	西八丁公園	月・金 (週2回)		5 1 9
3 1	中原公園	月・金 (週2回)		4 1 9

3 2	中原東公園	月・金（週2回）	第三工房	3 4 8
3 3	荏原児童遊園	月・金（週2回）		1 4 6
3 4	峰原公園	月・金（週2回）		6 2 1
3 5	荏三公園	月・水・金（週3回）		7 7 7
3 6	にしよん広場	月・金（週2回）		3 4 6
3 7	西五反田四丁目遊園	月・金（週2回）		4 1
3 8	小山台一丁目防災広場	月・金（週2回）		2 8 9
		小計		9, 5 3 2
		総合計		2 0, 3 7 3

（3）自主製品イベント販売

販売実施日	場所	行事名称
4 月 7 日（土）	東品川海上公園	運河まつり
4 月 21 日（土）	品川区二葉中央のんき通り広場	防災フェア
5 月 13 日（日）	福栄会本部	福栄会まつり
6 月 3 日（日）	京陽公園	住宅フェア
7 月 5 日（木）	生活支援センターたいむ	ハワイアン集い
7 月 21 日（土）	港特別支援学校	みなと夏まつり
8 月 4 日（土）	西大井広場	品川納涼祭
8 月 25 日（土）	海上公園	東親会まつり
9 月 8 日（土）	中小企業センター	福祉まつり
9 月 28 日（金）	荏原病院	荏原病院 デイケア販売
9 月 29 日（土）	旧東海道	宿場まつり
10 月 6 日（土）	東品川海上公園・天王洲公園	運河まつり
10 月 18 日（木）	きゅりあん	ふれあい寄席
10 月 20 日（土）	富士見ヶ丘児童遊園	鹿島神社祭礼
10 月 27 日（土）	西大井六丁目ふれあい広場	オータムフェスティバル
10 月 28 日（日）	品川総合福祉センター	紅葉フェスタ
10 月 28 日（日）	三光教会	三光教会バザー
11 月 4 日（日）	さくら会	さくら会まつり
11 月 9 日（金）	きゅりあん	子育てメッセ
11 月 11 日（日）	ウェルカムセンター原	原まつり
11 月 13 日（火）	品川菜園	品川菜園収穫祭
11 月 18 日（日）	春光福祉会	春光会まつり
11 月 24 日（土）	中小企業センター	大商業祭

11月29日（木） ～12月1日（土）	代官山ヒルサイドテラスE棟	渋谷作品展
12月7日（金）	きゅりあん	障害者記念の集い
12月8日（土）	戸越保育園	戸越保育園バザー
2月23日（土） ～2月24日（日）	大井第二地域センター	大井第二地区文化祭

上記以外：月1回学研、月2回リハビリ病院 合計：平日44回、土日祝祭日23回

（４）工賃支給状況

施設	年間総支給額	支給対象延べ人数	平均金額
第一工房	4,657,747円	424人	10,985円
第二工房	4,069,281円	299人	13,610円
第三工房	5,167,943円	426人	12,131円

7. 運営状況（平成30年4月～平成31年3月）

（１）安全管理状況（事故件数）

施設	発生件数	事故発生内容
第一工房	3件	利用者転倒歯を折る・準職員車ドア頭部接触し縫合・車両事故。
第二工房	1件	車輛事故
第三工房	1件	未開封のジャムにカビ発生

（２）ボランティア受け入れ状況

施設	作業補助	昼食作り	行事
第一工房	5名	0名	0名
第二工房	3名	2名	0名
第三工房	6名	0名	0名

（３）実習生受け入れ状況

依頼元機関	延人数
東京福祉大学	93人
東京福祉専門学校	76人
東京医療保健大学	176人
品川介護専門学校	30人
東京医科歯科大学	20人
社会福祉士会	6人
合計	401人

8. 平成30年度 事故等の発生の状況

	ヒヤリハット報告				
	第一	第二	第三	たいむ	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	1	1	0	2
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	0	1
11月	1	0	0	0	1
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	1
3月	1	0	0	0	1
合計	4	1	1	0	6

内訳：公園清掃時、職員に対する近隣住民苦情

軽作業梱包時、箱の蓋の閉め忘れ

職員の連絡ミスで一時的に利用者が駐車場に置き去り

ボランティアさんが倒れ救急搬送。検査結果異常無し

利用者館内清掃時モップの水切り不完全で職員転倒

製菓シーラー不完全でやり直し

	事故報告				
	第一	第二	第三	たいむ	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	0	1
10月	1	0	0	0	1
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	1	0	1
1月	0	0	0	0	0
2月	0	1	0	0	1
3月	0	0	0	0	0
合計	3	1	1	0	5

内訳：利用者が車に荷物搬入事転倒、歯を折る

準職員がバックドアに頭部接触、縫合

未開封のジャムからカビが検出

作業中、車体がポールや木に接触(2件)

品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告

1. 重点目標報告

障害者総合支援法に基づき、福祉サービス利用者に対し計画相談を実施し、また地域活動支援センターⅠ型の事業者として、次の重点目標を計画し実施した。

相談支援事業件数 8 3 4 5 件

地域活動支援センター利用総数 3 6 7 9 名

開所日数、2 5 6 日 従事職員 6 名

(1) 相談支援機能の充実

自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、グループホーム、居宅介護、移動支援等様々な福祉サービス利用に際しサービス利用計画作成を行いました。地域移行支援サービス開始2年目を迎え、今年度は2件の実績を挙げました。

また、今年度より、開始された、就労定着支援は23件の実績となりました。

(2) 地域活動支援センター事業として、創意工夫したプログラムで交流室の活性化や障害者や地域の方へ多彩な地域交流会・講演会等を開催し精神障害に対する啓発活動を実施しました。

(3) 障害者雇用のニーズの高まりに応じて障害者雇用の就労支援・定着支援を就労支援センター等関係機関と協力・連携し、職員も積極的に研修等で研鑽を積むなど、障害者の特性を熟慮した支援を強化しました。

2. 相談支援体制 (従事職員6名)

職 種	常 勤	非常勤	合計	職 務 内 容
管 理 者 (相談支援専門員兼務)	1		1	施設運営管理の総括（含む生活全般に係る相談・サービス利用計画作成）
相談支援専門員	5		5	生活全般に係る相談・サービス利用計画作成

3. サービス内容

相談支援事業	相談支援（サービス等利用計画を含む）	特定相談	(1) 実績（実数） ①居宅介護（既利用者・新規利用者） 47名 ②通所系（就労移行・就労継続A, B・自立訓練等） 238名 ③グループホーム（共同生活援助） 20名 ④地域移行支援 2名 ⑤就労定着支援 (2) 内容 ①アセスメント・サービス利用計画作成 実274名 ②ケア会議 延263名（含む⑤） ③区分認定調査 実 27名 ④モニタリング（月1回～年1回） 延354名 ⑤関係機関調整（相談導入時の他、事例の計画立案、変更、困難事例への対応、検討等）
		一般相談	(1) 対象者：区内在住の精神障害者へ、生活・就労・健康・福祉サービス等の各種相談 (2) 方法 面接、電話、訪問等による相談支援 その他、関係機関との調整・会議等
		ピアカウンセリング	(1) 対象者：たいむ利用者で面接希望者 (2) 内容：個別・グループ相談等（年間12回 総数36名参加） (3) PR 活動：施設内に掲示及びたいむりいNEWSに掲載して周知しました。個別での相談ばかりでなく、グループ相談も行いました。

地域活動支援センター事業	交流促進 (交流の場と居場所の提供)	(1) 地域交流事業：年間4回。利用者との交流を図りながら地域へ精神障害の理解を深めました。参加延べ人数87名(内地域住民参加34名) (2) 自主活動：(ボランティアによる運営 実施内容 以下①～⑧) 参加人数 1166名(延) 年間256日開催 ①パソコンクラブ 週2回 ②茶道クラブ 月1回 ③体操クラブ 週1回 ④アートクラブ 週1回 ⑤新聞クラブ 週1回 ⑥ワーキングクラブ週2回 ⑦読み合いの会 月1回 ⑧傾聴交流 随時 (3) たいむミーティング：月1回「たいむ」の利用者がテーマを決めて話し合います。ミーティングで、人の話を聞くこと、人の前で話すことに慣れるように経験する場として実施しました。年間12回、64名参加 (4) 交流室利用者(自主活動以外) 2162名(延) 年間256日開催
	生活支援	(1) 食事サービス：週2～3回のサービスを提供。 (2) 入浴サービス：116名利用(延数) 自宅での入浴困難者で、利用者は固定していました。
	その他	(1) 関係機関連絡会：自立支援協議会の定例会として年3回開催しました。構成メンバーは障害者福祉課、保健センター、かもめ工房、グループエヴァ、パルレ、発達障害者支援施設「ぷらーす」、GH「ふくふく」等精神障害者支援に関わる各機関で年3回開催しました。事例検討を通して精神障害に関する課題の検討や共有化を図りました。 (2) 品川区精神連絡会：構成メンバーは区障害者福祉課相談係、3保健センター精神担当、福栄会精神障害課長、たいむ職員で構成し、年3回開催しました。直近の精神保健福祉の動向等を共有しました。また、総合的な支援が必要な困難事例を通して、地域の精神障害者支援への課題や問題を共有しました。サービス利用や制度について、理解、共有しました。メンバー間の連携意識の向上につながりました。 (3) たいむりいNEWSの発行 掲載記事の内容を創意工夫し、毎月の発刊を待ち望む声が多く寄せられました。 (4) 自主活動について 今年度より読み合いの会を毎月のプログラムに導入し、静かに傾聴しながら意見の交換を行えました。 ワーキングプログラムは、軽作業作成を通して参加者の集中力や巧緻性等を観察し、利用者のアセスメントツールとして役立ちました。

品川区立家庭あんしんセンター事業報告

1. 重点目標への対応

(1) 人材育成の促進

質の高いサービス提供が出来るよう、外部研修については各職員が習得したスキルや知識を確認したうえで、各自に適した研修に参加できるよう努めました。内部研修については、施設全体の共通課題を抽出し計画的に実施しました。

また、ひまわり荘・子育て支援センターで、それぞれ行われていた外部のスーパーバイザーを招いたカンファレンスに相互参加できるよう開催方法を工夫し、新しい知識や視点が学べるよう努めました。

(2) 子育て短期支援事業 ショートステイ利用者の拡大及び、体制の整備

地域で必要な方がサービス利用に繋がるよう、要保護児童対策地域協議会分科会を通じて各関係機関へ、具体的な利用事例を交えながら幅広く周知活動を行い、利用の促進を図りました。

「行動指針」・「安全確保マニュアル」などを適時更新及び、「日常業務の振り返りチェックシート」を作成し、定期的な確認を行い「業務の標準化」を進めました。また、定期的に打ち合わせや研修会（非常職員含む）を開催し、その内容が全体周知されるよう努めました。

	平成29年度	平成30年度
ショートステイ宿泊数（延べ）	125泊	130泊
育児疲れを理由とする宿泊数（延べ）	45泊	82泊
全体に占める割合	36%	63%
実利用世帯数	7世帯	7世帯

(3) 地域貢献の充実

ひまわり荘の利用者・退所者及び、地域の子どもを対象に、学習の支援、居場所の提供、食事の提供などを行うプログラムとして「家庭あんしんセンター学習支援」を開催し、地域貢献の充実を図りました。

また、小学校での英語学習にあわせて、参加者全員で取り組む簡単な英語学習の時間を作るなど、個人の課題学習だけではなく、楽しみながら参加が継続できるよう工夫をしました。体制整備として教員免許を持った非常勤職員を採用しました。

開催日	回数	人数
第1・3土曜日 13時～16時	25	151

※夏休み特別プログラムー生クリーム・塩を使用した「バター作り」

※冬休み特別プログラムーお正月「書初め」

品川区ひまわり荘事業報告

1. 重点目標への対応

(1) 人材育成の促進

役職者と職員が面談を行い、研修計画を立て、その研修計画に沿った外部研修に参加するように努めました。

また、子育て支援センターの心理職員にカンファレンスへ参加してもらい、ロールプレイを通じた具体的な支援技術を学びました。

(2) 暫定定員の解除に向け品川区との連携強化

母子生活支援施設を必要とする地域の母子世帯を広く受け入れすることができるよう、品川区子ども家庭支援課と暫定定員の解除を目指し、さらなる連携に努めました。世帯数は30年度末において、年度当初より4世帯増えました。

	年度当初	入所	退所	年度末
世帯数	7	8	4	11
人 数	17	17	9	25

(3) アフターケアの継続と充実

家庭訪問や公共機関への同行をするなど退所支援計画票に沿って、退所後も安心して地域で生活が送れるようアフターケアを行いました。また、退所した利用者の状況に応じて関係機関との連携に努めました。

2. 事業内容

(1) ひまわり荘年間行事

月	日	曜日	行事名	内 容	参加人数
4	13	金	春を呼ぶ会	互助会・職員紹介・食事会	母7名・子10名
5	5	土	端午の節句	記念撮影	子12名
7	7	土	七夕	短冊飾り	全利用者
8	19	日	夏祭り	退所者招待	総勢37名
10	21	日	日帰り旅行	バスハイク ソレイユの丘	母2名・子3名
12	16	土	年末お楽しみ会	クリスマス会	母5名・子6名
1	11	金	新年お楽しみ会	食事会、福笑	母3名・子4名
2	3	日	節分	豆まき	母3名・子6名
3	3	日	ひな祭り	記念撮影	母10名・子13名

(2) 学童保育の年間行事

月	日	曜日	行事名	参加人数	内 容
5	1 1	金	母の日	3名	手作りメッセージカード作り
5	1 3	日	福栄会まつり	3名	福栄会祭り参加
5	2 7	日	外出・食育行事	4名	お弁当作り・林試の森公園
6	1 5	金	お楽しみ会	5名	お菓子パーティー、ゲーム大会
7	23-24	月火	学童お泊まり会	4名	学童室で宿泊練習
8	2-3	木金	学童宿泊行事	5名	高尾の森わくわくビレッジ
8	2 4	金	夏休みプログラム	2名	萩中プール
1 0	1 0	水	カラオケ大会	7名	うたまる戸越店 カラオケ
1	7	月	学童新年会	5名	正月遊び
3	1 5	金	食事会	1 0名	母子食事会

(3) 乳幼児行事

月	日	曜日	行事名	参加人数	内 容
5	1 2	土	母の日	5名	手作りメッセージカード作り
7	8	日	絵具遊び	5名	絵具遊び
9	8	土	お菓子作り	4名	パフェ作り

3. 支援の具体的内容

(1) 子どもの育ちへの支援

①子ども（学齢期以降）との面談を実施し、子どもの状況に応じた支援計画を作成しました。子どもと一緒にその成果を確認しました。

②乳幼児への支援

乳幼児行事や補助保育等を実施しました。

	延べ人数	内容
補助保育等	9 4	保育園送迎など

③学童への支援

平成30年度は対象となる小学生の入所が多くあり、ひまわり荘の学童保育で、学習や遊びを活発に展開しました。

(2) 生活への支援

①あんしんと信頼のための取り組み

傾聴と寄り沿いを基本姿勢として母子の支援にあたりました。

②利用者の理解と支援

入所している母子が抱える様々な課題に対して、必要な支援を行い課題解決に向けて利用者と共に取り組みました。

③関係機関との連携

品川区子ども家庭支援課、生活福祉課、保健センター、学校・保育園等と連携して、利用者支援を行いました。

④健康のための支援

利用者の健康診断を年2回実施しました。また、利用者の状況に応じ通院同行を行いました。

(3) 自立支援計画作成

利用者、品川区子ども家庭支援課、ひまわり荘の三者で利用者の課題確認をし、自立支援計画を作成しました。6月、11月には三者で面談を行い課題解決に向けた取り組みと進捗状況を確認しました。

(4) 退所後のアフターケア

退所後の生活安定の為、支援計画を作成し、アフターケアを計画的に実施しました。家庭訪問など、支援の充実を図りました。

(5) 緊急一時事業

平成30年度は3世帯、延べ利用日数3日の緊急一時保護事業の利用がありました。

4. 地域貢献、関係機関との連携

(1) 子どもの学力向上の為、地域の立正大学BBSボランティアの協力を得て、学習支援を実施しました。

(2) 利用者それぞれが必要となる地域の各機関の支援を入所中に繋げ、退所後に母子が地域で孤立しないよう支援しました。

5. 事故防止策・虐待防止・防災対策

(1) 施設を適切に効率よく管理するために、定期的な建物保守管理を実施しました。

(2) 利用者の安全を確保するため、防災訓練を行いました。

(3) 事故防止の取り組みとして、ヒヤリハットの活用、危険箇所の点検、事故発生時の報告・分析と再発予防、マニュアルの作成・見直しなどリスクマネジメントに取り組みました。

(4) 虐待防止の取り組みとして、虐待防止規程に基づき人権意識向上に取り組みました。

品川区子育て支援センター事業報告

1. 重点目標への対応

(1) 養育支援訪問事業要綱に基づいた事業を実施しました。

(実施状況)

主 訴	世帯数	延回数	内 容
養育困難	2	30	(生活支援) 児と直接のやり取りをしながら、児の健全育成へ一助となるよう関わりを持つ
虐待相談	1 (身体的)	7	(専門相談) 安全な環境づくりへの助言 児との関わりの方を実際に示しながら助言

上記以外に、活動に入る予定の家庭で家庭の都合で中止となった家庭(1件)
検討時・報告時に決められた書類を作成し、検討会議や報告会議にあげ、
要綱に基づいた運用を行いました。

(2) 児童相談所機能の品川区への設置スケジュールが未確定であった為、子育てセンターとして特別に対応することはありませんでした。

2. 支援の具体的内容

(1) 親子の関わりを重視した子育て広場の運営

親子のかかわり遊びの時間(原則として毎週1回、1時間程度)を設け、親子遊びの楽しみを体験できる時間をつくと共に、子どもとのかかわり方のスキルの獲得を支援することで児童虐待予防の一助としてきました。個別相談を利用している親子については、個別相談担当者と連携しながら個別相談場面・集団場面それぞれの特性を生かして親子を支援できるように働きかけました。

(2) 支援方針会議及び検討会議の継続

- ①全ケース：月1回支援センター独自の支援方針会議(ケース進行管理)
- ②新規ケース及び困難ケース：年間6回外部講師を招きカンファレンスでの検討
- ③その他：週1回の支援センター会議でのケース報告及び緊急な対応が必要なケースへの検討

(3) 虐待予防の取り組み

- ①虐待防止や虐待の重篤化防止を目的として養育支援訪問事業及び育児支援ヘルパー事業に取り組みました。
- ②虐待の連鎖を断ち切るために、子どもの心理的ケアや虐待に対する心理教育が必要な子どものケアを行なって行きました。

(4) 広く区民への虐待防止への取り組み

「子育て応援出前講座」と称して、区内児童センターに支援センターの職員を派遣し区民向けの児童虐待防止講座や子育て講座を13施設で行いました。

身近なところで専門的な話を聞く場として、区内関係機関職員向けの公開講座を開催しました。

3. 関係機関との連携

(1) 児童虐待問題をはじめ、子育ての困難さを抱える家庭の課題に対して、子育て支援センターは要保護児童対策地域協議会の中核施設として、地域関係機関との情報交換・連携を進めました。

(2) 児童相談所については、月1回のモニタリング会議での情報の共有化だけでなく、相談への対応について専門的助言を受けました。

4. 事故防止策・虐待防止・防災訓練

(1) 利用者の安全を確保するため、防災訓練には、広場利用者にも声を掛け参加を促しました。

(2) 職員はマニュアルに沿った対応を身につけました。

(3) 虐待防止の取り組みとして、虐待防止規程に基づき人権意識向上に取り組みました。

品川区子育て短期支援事業計画

1. 重点目標

(1) ショートステイ・トワイライトステイ利用者の拡大

レスパイト利用を含め拡大した子育て短期支援事業の対象者に対応し、利用者年齢、特性を考慮した保育環境の整備を進め、サービスの向上に努めました。

(2) ショートステイ・トワイライトステイ利用者受け入れの標準化

子育て支援センターと連携し、フローチャートを作成し受け入れの標準化を図る予定でしたが、フローチャートの完成には至りませんでした。次年度も継続して取り組みます。

2. サービス提供体制

職 名	人数	主な担当業務
子育て短期事業相談員	2	相談登録及び子育て短期の運営
子育て短期臨時職員	9	子育て短期の業務全般

3. 支援の具体的内容

短期入所事業	定員	5名
	1回の利用期間	7日以内（1泊2日からの宿泊を伴う利用）
	1回の利用時間	24時間（午前8時から、翌日の午後8時の間）
	利用料金	1泊2日6,000円（減免制度あり） （2泊目以降は1日につき3,000円を加算）
	対象児童	品川区に住所のある1歳半以上小学6年生以下の子ども
夜間養護事業	定員	20名
	1回の利用	1日から最長6ヶ月程度の利用・延長可能
	利用時間	午後5時から午後10時
	利用料金	1回1,200円（減免制度あり）
	対象児童	品川区に住所のある1歳半以上小学6年生以下の子ども
その他	送迎あり（迎えのみ）1回	300円

(1) 支援内容

- ①おやつを含めた食事の提供と身の回りのケア
- ②学習及び遊びの援助
- ③通園及び通学の援助
- ④その他必要とする援助

4. 事故防止策・虐待防止・防災対策

(1) 虐待防止への取り組み

①施設内の全体研修として「虐待防止研修」を実施した。

実施日時：平成31年1月21日（月）

内容：「子どもの権利を守る」・「基本的な子どもとの関わり方」等

講師：子ども虐待防止センター

②虐待防止規程に基づき法人全体の虐待防止研修への参加や、「業務・虐待チェックリスト」を活用した取り組みを定期的の実施し、人権意識向上に取り組みました。

③利用児童の安全を確保するため、職員研修（非常勤職員を含む）を実施し、「安全確保マニュアル」・「職員行動指針」に基づいた対応を職員間で周知徹底しました。

④事故・ヒヤリハット報告の検討を迅速に行い、必要な対応を職員間で周知徹底しました。

⑤危険なものがないか室内環境を整備し、定期的に確認を行いました。

⑥業務開始前の打ち合わせで、利用児童の特性を踏まえた対応を確認し、安全に留意した対応を行いました。

(2) 事故防止の取り組みとしてスタッフの保育技術の向上を目指しました。また、ヒヤリハットの活用、危険箇所の点検、事故発生時の報告・分析と再発予防、マニュアルの作成・見直しなどリスクマネジメントに取り組みました。

(3) 利用者の安全を確保するため、防災避難訓練を行いました。また、震災対策として、震災マニュアルに基づき行動し防災対応に万全を期しました。

平塚ファミリー・サポート・センター事業報告

1. 重点目標への対応

新規提供会員登録の拡大を継続しました。平成30年度は大井ファミリー・サポート・センターと協力して提供会員養成講座を4回開催し、平塚ファミリー・サポート・センターでは11名の新規提供会員登録がありました。

しかし、これまで活動してきた提供会員の退会（高齢化、転居等の理由など）があり、提供会員の登録数は減少傾向にあります。

実 績	29年度（実績）	30年度（実績）	増減
提供会員登録数	224人	203人	▲21

2. サービス提供体制

職 名	人数	主な担当業務	保有資格
アドバイザー	2	会員登録・コーディネート等	保育士・幼稚園教諭等

3. 事業内容

次の事業を実施しました。

- (1) 提供会員の養成講座及び依頼会員加入時の説明及び登録等
- (2) 会員間の相互援助活動の調整及びトラブル等の調整助言
- (3) 相互援助活動を進めるための会員の交流会及び講習会の実施
- (4) 事業内容の広報活動
- (5) 関係機関との連絡調整
- (6) 事故への迅速な対応
- (7) 緊急対応（活動）

4. 関係機関との連絡調整

保健所・保育園・幼稚園・子育て支援センター等と依頼内容及び会員状況により、情報交換を行い、連携しながら会員をサポートしました。

5. 事故防止対策と事故後の対応

- (1) 安全チェックリスト表を活用しました。
- (2) 事故事例を記録し、事例の分析、リスクの発見、再発の防止に取り組みました。
- (3) 「ヒヤリ・ハット」事例を活用して、事故防止・改善に役立つ情報を提供会員研修会・提供会員交流会等で取り上げ、危険察知の目を養うなど活用しました。

平塚きぼう荘（障害者住宅）

併設されている平塚きぼう荘設備管理を行い、必要な支援を行いました。リズムセンサーの不具合があり、設備の更新工事（品川区障害者福祉課にて）を行いました。

居住室数 2室

家庭あんしんセンター実績報告

平成30年度

30年度 品川区立家庭あんしんセンター 別表1 年間実績報告

来館者	項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容	
	保護者	父親	37	41	48	46	27	65	264	70	61	58	64	80	76	409	673	父親来館数	
		母親	181	194	207	150	153	176	1061	197	75	74	210	228	194	978	2039	母親来館数	
		その他	7	10	1	7	15	9	49	8	3	2	2	1	3	19	68	上記以外の保護者来館数(ひまわり荘来館者・児含む)	
		小 計	225	245	256	203	195	250	1374	275	139	134	276	309	273	1406	2780		
	子ども	乳幼児	182	152	163	111	118	156	882	172	63	80	168	184	181	848	1730	乳幼児来館数(ショート・トワイライトステイを含む)	
		小学生	86	116	113	117	124	93	649	126	103	90	84	113	93	609	1258	小学生来館数(ショート・トワイライトステイを含む)	
		中学生・高校生	2	2	3	2	4	8	21	3	4	4	2	3	1	17	38	中学生・高校生来館数	
		小 計	270	270	279	230	246	257	1552	301	170	174	254	300	275	1474	3026		
	その他		82	78	52	78	34	46	370	59	76	57	71	86	112	461	831	上記以外の来館者数	
			577	593	587	511	475	553	3296	635	385	365	601	695	660	3341	6637		

ひまわり荘

ひまわり荘	項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容	
	入所状況	継続入所	9	9	8	8	9	9		9	9	8	8	8	10			前月より継続入所世帯数	
		新規入所	2	1	0	1	1	0	5	0	0	0	0	2	1	3	8	新規入所世帯数	
		小 計	11	10	8	9	10	9		9	9	8	8	10	11				
	在所期間	6ヶ月未満	2	3	3	4	5	5	3	2	2	2	1	2	3			在所年数世帯数	
		～1年未満	1	0	0	0	0	0		2	3	3	4	5	5				
		1年～2年未満	6	5	3	2	1	1		1	1	1	1	1	1				
		2年～3年未満	0	1	2	2	3	3		3	3	2	2	2	2				
		3年～4年未満	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		4年～5年未満	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		5年以上	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		小 計	9	9	8	8	9	9		9	9	8	8	10	11				
	母親の状況	～19歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0			母親の年齢人数	
		20～24	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		25～29	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2				
		30～39	3	4	4	3	4	4		4	4	4	4	5	5				
		40～49	3	3	2	3	3	3		3	3	2	2	3	4				
		50～59歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		60歳以上	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		小 計	9	9	8	8	9	9		9	9	8	8	10	11				
	子どもの状況	0歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0			子どもの年齢階層人数	
		1歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		2歳	2	1	1	1	0	0		0	0	0	0	0	0				
		小 計 1～2歳	2	1	1	1	0	0		0	0	0	0	0	0				
		3歳	2	2	1	1	2	2		2	2	2	2	3	3				
		4歳	2	2	3	1	1	1		1	1	0	0	1	1				
		5歳	2	2	0	1	1	1		1	1	2	2	2	2				
		小 計 3～5歳	6	6	4	3	4	4		4	4	4	4	6	6				
		6歳	2	2	3	2	1	1		1	1	1	1	1	2				
		7歳	2	2	1	2	2	2		2	2	2	2	2	2				
		8歳	0	1	0	1	1	1		1	1	0	0	0	0				
		9歳	0	0	1	1	3	3		3	3	3	2	2	2				
		10歳	0	1	1	1	1	0		0	0	0	1	1	1				
		11歳	0	0	0	0	0	1		1	1	1	1	1	1				
		小 計 6～11歳	4	6	6	7	8	8		8	8	7	7	7	8				
		12歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		13歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		14歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		小 計 12～14歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		15歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		16歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		17歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		小 計 15～17歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		18歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		19歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		20歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		小 計 18～20歳	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0				
		小 計	12	13	11	11	12	12		12	12	11	11	13	14				
	退所状況	結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		退所世帯数	
		復縁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		実家に同居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		公営住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1			
		民間アパート・住込	0	1	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		小 計	0	1	1	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	4		
緊急一時保護	世帯数		1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	3		
	延べ人数		2	0	0	6	0	0	8	0	0	0	0	0	5	5	13		

子育て支援センター

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容
相 談 件 数 (延 べ)	養護相談	449	496	626	467	444	548	3030	829	765	615	594	816	656	4275	7305	児童虐待の防止に関する法律の第2条に規定する身体的虐待、性的虐待、心理的虐待および保護の怠慢・拒否(ネグレクト)に関する相談
	その他の相談	380	414	431	458	496	440	2619	367	507	604	368	372	420	2638	5257	保護者の家出、失踪、死亡、離婚、入院、稼働、服役による養育困難児、迷子、親権を喪失した親の子、後見人を持たぬ児童等児童虐待相談以外の環境的問題を有する子ども、養子縁組に関する相談
	保健相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肢体不自由相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視覚障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	言語発達障害等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	構音障害、吃音、失語等音声や言語の機能障害を持つ子ども、言語発達遅滞、学習障害や注意欠陥多動性障害等発達障害を有する子ども等に関する相談
	重度心身障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自閉症等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非行相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相 談 件 数 (家 庭 相 談 員)	ぐ犯行為等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	触法行為等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	性格行動相談	31	29	46	42	24	24	196	34	41	25	20	45	13	178	374	子どもの人格の発達上問題となる反抗、友達と遊べない、落ち着かない、内気、緘黙、不活発、家庭内暴力、生活習慣の著しい逸脱等生活若しくは行動上の問題を有する子どもに関する相談
	不登校相談	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	適性相談	0	4	0	0	0	0	4	9	0	0	0	0	0	9	13	進学適性、職業適性、学業不振等に関する相談
	育児・しつけ相談	37	60	61	65	46	57	326	54	77	93	52	29	26	331	657	家庭内における幼児のしつけ、子どもの性教育、遊び等に関する相談
	その他相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	いすれにも該当しないもの
	いじめ相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童買春等被害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	897	1003	1164	1032	1011	1069	6176	1293	1390	1337	1034	1262	1118	7434	13610	児童虐待の防止に関する法律の第2条に規定する身体的虐待、性的虐待、心理的虐待および保護の怠慢・拒否(ネグレクト)に関する相談
相 談 件 数 (家 庭 相 談 員)	養護相談	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	その他の相談	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	0
	保健相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肢体不自由相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視覚障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	言語発達障害等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重度心身障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自閉症等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非行相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相 談 件 数 (家 庭 相 談 員)	ぐ犯行為等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	触法行為等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	性格行動相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不登校相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	適性相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児・しつけ相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	いじめ相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童買春等被害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	3	0
合 計		897	1003	1166	1032	1011	1069	6178	1293	1390	1338	1034	1262	1118	7435	13613	児童虐待の防止に関する法律の第2条に規定する身体的虐待、性的虐待、心理的虐待および保護の怠慢・拒否(ネグレクト)に関する相談

家庭あんしんセンター実績報告

平成30年度

児童虐待防止	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容
	見守りサポート事業(実件数)	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	12	児童相談所からの要請により在宅での指導が必要な家庭への支援
	協議会ケース会議	0	0	2	1	1	1	5	0	0	0	0	0	1	1	6	ケース会議出席回数
	受理方針会議	4	4	4	4	4	4	24	4	5	4	4	4	4	25	49	子ども育成課・支援センター合同会議開催数
	関係者会議(実施回数) : 受理方針会議(週1回) ・ PCAN(月1回) ・ PCAN3(月1回) ・ 主任児童委員部会(月1回) その他の会議(適宜) : 3区支援センター連絡会 ・ 児童相談所主催連絡会議等																

※【30年度の受理方針会議・PCAN3について】 4/19より両会議は区の都合により、区役所での開催に変更。これより前年度より来館者が毎月10名程減少している

地域組織化	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容
	子育て支援事業	177	200	194	134	159	156	1020	203		51	214	216	189	873	1893	フラっと広場(20年度より土曜日開催開始)
	親子交流事業(開催回数)	5	5	6	5	6	5	32	6			6	5	5	22	54	
	あっぷぷぷランド(参加人数)	28	16	26	26	32	23	151	34			20	41	24	119	270	
	ドレミファランド(参加人数)	14	18	8		11	12	63	15			6	8	18	47	110	
【実施内容】	チャチャチャランド(参加人数)	20	26	21	18	14	19	118	22			28	16	18	84	202	
	おはなし広場(参加人数)		10	8	6	6		30	11			14	0	14	39	69	
	夜間講座・出前講座(開催回数)	0	0	4	1	1	4	10	4	2	0	0	0	0	6	16	出前講座等の区民への講座・関係者への依頼講座
	各種講座参加者数				117	43	39	81	280	111	52				163	443	子育て応援講座・子育て出前講座参加者数
	【実施内容】11/1より12/4まで館内改修工事のためフラっと広場閉鎖。 ※館内改修工事終了後もフラっと広場は空調が使用できない状態であったため、フラっと広場に日差しの入る午前中のみ開放とし交流事業は休止した。親子で来館しても室内が寒く、帰る利用者もいた。 ＜フラっと広場＞ ・あっぷぷぷランド(第1火曜・金曜)／ドレミファランド(第2火曜)／チャチャチャランド(第3火曜・金曜)／おはなし広場(第4火曜) ＜出前講座＞ 6/1 伊藤児童センター(母子26名) 6/1 八潮児童センター(母のみ25名) 6/15 後地児童センター(母子19名) 6/19 北品川児童センター(母子47名) 9/18 東中延児童センター(母子6名) 9/25 富士見台児童センター(母子24名) 9/26 南ゆたか児童センター(母子12名) 10/16 東大井児童センター(母子8名) 10/29 東五反田児童センター(母子24名) 11/26 三ツ木児童センター(母子28名) 11/28 水神児童センター(母子24名) ＜夜間講座＞ こども虐待を考える(全4回) 第1回 7/25 43名・第2回 8/22 39名・第3回 9/19 39名・第4回10/17 33名 ＜その他行事等＞ 養育体験発表会 11/17 46名																

養育支援訪問	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
	養育支援訪問事業(実世帯件数)	3	3	3	2	2	2	15	2	3	2	2	3	2	14	29	子どもの成長が懸念される家庭への訪問しての相談・指導
	養育支援訪問事業(延世帯件数)	3	3	2	2	2	3	15	2	4	2	2	3	2	15	30	
	養育支援訪問事業(実子ども人数)	4	4	3	2	2	3	18	2	4	3	2	4	3	18	36	
	養育支援訪問事業(延べ子ども人数)	4	4	3	2	2	4	19	2	5	3	2	4	3	19	38	
児童虐待の 予防的支援	内訳・専門相談 世帯数	1	1	0	1	1	0	4	1	1	0	0	1	0	3	7	養育支援訪問分類 確認 ・専門相談(専門相談員が訪問し保護者の相談に応じた場合) ・生活支援(専門相談員・支援員等が家事・育児・学習等の支援をした場合) ・混合相談(専門相談・生活支援を同時に行った場合)
	専門相談 訪問回数	1	1	0	1	1	0	4	1	1	0	0	1	0	3	7	
	生活支援 世帯数	2	2	2	1	1	2	10	1	2	2	2	2	2	11	21	
	生活支援 訪問回数	2	2	2	1	1	3	11	1	3	2	2	2	2	12	23	
	専門相談・生活支援併用 世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門相談・生活支援併用 訪問回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門相談 訪問回数(併用家庭含む)	1	1	0	1	1	0	4	1	1	0	0	1	0	3	7	
	生活支援 訪問回数(併用家庭含む)	2	2	2	1	1	3	11	1	3	2	2	2	2	12	23	
	養育支援訪問事業(新規数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

家庭あんしんセンター実績報告

平成30年度

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容		
子育て短期支援事業	ショートステイ	実人数	0	6	1	1	5	5	18	2	4	0	0	2	0	8	26	・1年間に利用した児童の数	
		内訳（幼児）	0	4	1	0	2	2	9	1	3	0	0	2	0	6	15	※1年間の内、複数の利用がある児童も『1』とカウントする。Aちゃんが4月に利用した場合4月に『1』とし、5月以降は利用があってもカウントしない。	
		内訳（小学生）	0	2	0	1	3	3	9	1	1	0	0	0	0	0	2	11	・1カ月に利用した児童の数
		実施件数	0	6	3	4	6	5	24	7	9	4	4	5	4	33	57	※1カ月の内、複数の利用がある児童も『1』とカウントする。	
		内訳（幼児）	0	4	3	1	3	2	13	4	7	3	1	2	3	20	33	・1カ月に利用した児童の延べ数	
		内訳（小学生）	0	2	0	3	3	3	11	3	2	1	3	3	1	13	24	※1カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。	
		延べ実施件数	0	9	5	6	6	5	31	7	9	4	4	5	4	33	64	・1泊2日の利用の場合、『1』とカウントする。	
		内訳（幼児）	0	6	0	5	3	2	16	4	7	3	1	2	3	20	36	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。	
		内訳（小学生）	0	3	0	1	3	3	10	3	2	1	3	3	1	13	23	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。	
		延べ宿泊数	0	24	7	9	6	10	56	14	26	5	12	7	10	74	130	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。	
		内訳（幼児）	0	20	5	7	3	2	37	8	17	4	1	2	8	40	77	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。	
		内訳（小学生）	0	4	0	2	3	8	17	6	7	1	11	5	2	32	49	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。	
	延べ日数（①+②+③+④）	0	31	10	15	12	15	83	21	34	9	16	12	13	105	188	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。		
	内訳①（2歳未満（慢性疾患児除く））	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。	
	内訳②（2歳以上（慢性疾患児除く））	0	28	10	15	12	15	80	21	34	9	16	12	13	105	185	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。		
	内訳③（慢性疾患児（2歳未満））	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。	
	内訳④（慢性疾患児（2歳以上））	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	・1泊2日の利用の場合、『2』とカウントする。	
	送迎利用件数	0	30	1	5	9	13	58	17	33	8	12	11	7	88	146	・1年間に利用した児童の数		
トワイライトステイ	実人数	41	7	8	9	3	6	74	7	1	0	0	2	2	12	86	※1年間の内、複数の利用がある児童も『1』とカウントする。Aちゃんが4月に利用した場合4月に『1』とし、5月以降は利用があってもカウントしない。		
	内訳（幼児）	17	4	3	5	2	3	34	3	1	0	0	2	2	8	42	・1カ月に利用した児童の数		
	内訳（小学生）	24	3	5	4	1	3	40	4	0	0	0	0	0	4	44	※1カ月の内、複数の利用がある児童も『1』とカウントする。		
	実施件数	41	43	42	47	35	46	254	48	36	36	37	41	40	238	492	・延べ利用日数＝延べ実施件数（1カ月に利用した児童の延べ数（1カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。））		
	内訳（幼児）	17	16	14	18	11	17	93	19	13	13	14	17	18	94	187	・延べ利用日数＝延べ実施件数（1カ月に利用した児童の延べ数（1カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。））		
	内訳（小学生）	24	27	28	29	24	29	161	29	23	23	23	24	22	144	305	・延べ利用日数＝延べ実施件数（1カ月に利用した児童の延べ数（1カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。））		
	延べ利用日数	103	143	140	149	91	147	773	182	135	124	123	157	162	883	1656	・延べ利用日数＝延べ実施件数（1カ月に利用した児童の延べ数（1カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。））		
	内訳（幼児）	31	39	40	44	26	62	242	68	47	47	48	70	75	355	597	・延べ利用日数＝延べ実施件数（1カ月に利用した児童の延べ数（1カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。））		
内訳（小学生）	72	104	100	105	65	85	531	114	88	77	75	87	87	528	1059	・延べ利用日数＝延べ実施件数（1カ月に利用した児童の延べ数（1カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。））			
送迎利用件数	95	122	125	128	78	136	684	160	115	104	109	131	138	757	1441	・延べ利用日数＝延べ実施件数（1カ月に利用した児童の延べ数（1カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。））			
【実施内容】																			
トワイライトステイ利用説明会 2月9日 参加者：9世帯14名 ・ 2月23日 参加者：9世帯17名																			
※緊急ショート（5/16～5/18）：児童相談所での一時保護が決まるまでの間、区の依頼で対象児当日受け入れ対応 の2泊3日																			

育児支援ヘルパー

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容
すこやかサポート	実施件数	13	16	15	13	16	12	85	17	15	13	5	7	4	61	146	*第1子が多胎児の場合もこの欄に計上
	内訳（第1子）	7	6	7	7	9	7	43	9	8	8	3	6	2	36	79	
	内訳（多胎児を含む第2子以降）	6	10	8	6	7	5	42	8	7	5	2	1	2	25	67	
	（多胎児）	3	4	4	3	4	3	21	5	5	4	2	1	1	18	39	
	（若年出産）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	延べ利用日数	36	39	40	41	48	32	236	47	46	27	14	15	10	159	395	
	延べ利用時間数	68	77	81.5	79	90	63	458.5	93	89.5	53.5	28	31.5	19	314.5	773	

ファミリー・サポート・センター

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容
提供会員	月末会員数	211	212	210	214	214	213		213	214	215	215	215	203			※活動件数は確定値 ※養成講座・交流会・研修会
依頼会員	月末会員数	2455	2337	2355	2377	2389	2404		2423	2438	2454	2475	2500	2517			
両方会員	月末会員数	10	9	9	9	9	9		9	9	9	9	9	8			
活動件数		155	182	219	204	130	230	1120	287	279	224	197	229	214	1430	2550	
交流会等開催状況		0	1	0	1	0	0	2	0	3	1	3	2	0	9	11	
【実施内容】																	
・提供会員養成講座		大井主催 5/28～5/29 参加者：3名（登録者：0名） 大井主催 11/27・29 参加者：6名（登録者：3名） 平塚主催 7/ 9～ 7/12 参加者：6名（登録者：4名） 9/25～9/28 参加者：3名（登録者：3名）															
・両会員研修会		2/19 参加者11名															
・両会員交流会		12/10 参加者17名（子ども3名含む）															
・提供会員交流会		1/29 参加者3名 ・ 2/ 1 参加者7名															

平成30年3月末現在

品川区立家庭あんしんセンター実績報告

平成30年度 品川区立家庭あんしんセンター 別表2 年度別実績推移

児童家庭相談実績（延数）		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
養護	児童虐待			171件	673件	610件	666件	971件	1,434件	1,854件	908件	1,144件	1,053件	1,204件	2,386件	4,710件	7,305件
	その他			67件	182件	203件	934件	2,377件	2,142件	1,717件	1817件	1,880件	1,989件	2,811件	3,819件	5,248件	5,257件
保健				0件	34件	10件	6件	9件	5件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	7件	0件
障害	知的/言語発達			1,173件	781件	1,107件	28件	12件	8件	16件	8件	6件	2件	0件	0件	0件	2件
	自閉症等			1,068件	1,688件	1,651件	37件	19件	31件	2件	3件	0件	0件	0件	15件	0件	0件
	肢体不自由/視覚/重度心障			0件	2件	0件	7件	6件	61件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
非行	ぐゑ犯行為/触法行為			0件	0件	6件	5件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	22件	0件
育成	不登校/適性			26件	35件	120件	509件	66件	85件	23件	36件	6件	27件	31件	63件	30件	14件
	性格行動/育児・しつけ			320件	540件	503件	770件	839件	777件	598件	710件	456件	447件	628件	814件	948件	1,031件
その他				123件	125件	125件	2件	0件	2件	1件	0件	0件	0件	42件	0件	0件	1件
合 計（延数）				2,948件	4,060件	4,073件	2,889件	4,300件	4,547件	4,211件	3,482件	3,492件	3,519件	4,716件	7,097件	10,965件	13,610件

※ 発達相談事業は平成20年度に品川児童学園に移転しました

ショートステイ実績	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者数（件数）	56人	56人	75人	80人	62人	41人	44人	38人	21人	20人	27人	10人	11人	22人	34人	57人
宿泊数（延数）	155泊	131泊	225泊	207泊	142泊	70泊	74泊	97泊	77泊	84泊	79泊	31泊	33泊	57泊	125泊	130泊

トワイライトステイ実績	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者数（件数）	180人	203人	253人	468人	457人	483人	405人	318人	364人	435人	476人	453人	360人	385人	498人	492人
利用回数（延数）	753回	988回	1,038回	2,743回	3,766回	3,559回	2,905回	2,176回	2,768回	3,524回	3,663回	3,176回	1,938回	1,984回	2,016回	1,656回

ファミリー・サポート実績	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
提供会員登録者	193人	249人	254人	266人	177人	199人	222人	255人	234人	229人	257人	255人	229人	236人	224人	203人
依頼会員登録者	558人	811人	996人	1,196人	1,077人	1,035人	1,247人	1,417人	1,581人	1,708人	1,953人	2,103人	2,386人	2,342人	2,424人	2,517人
活動件数（延数）	1,726件	2,653件	3,569件	4,811件	5,060件	3,591件	3,516件	3,643件	3,746件	3,532件	2,766件	3,299件	3,878件	2,920件	2,614件	2,550件

※ 平成19年10月 大井ファミリー・サポート・センター開設

ひまわり荘	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
入所世帯数	7	4	7	9	10	8	9	8	5	6	4	11	3	5	7	1	8
退所世帯数	4	7	2	13	6	8	10	9	6	7	9	3	7	7	8	4	4
年度末世帯数	16	13	18	14	18	18	17	16	15	14	9	17	13	11	10	7	11

〈別表 3〉

家庭あんしんセンター職員研修実施報告

1、法人による研修

法人による研修は、事務部事業報告に記載の通り。

2、家庭あんしんセンターによる研修

研修	研修テーマ	実施時期	職員数
部署内研修	事業計画読み合わせ・重点テーマ等の確認	4月	全職員
	子育て応援夜間講座 全4回	7月	1名
		8月	1名
		9月	1名
		10月	1名
	防犯対策研修	9月	15名
	親と子の関係を育てるペアレンティングプログラム	1月	9名
	ハラスメント防止研修	2月	13名

3、外部機関による研修（ひまわり荘・子育て短期）

実施機関	研修名	参加時期	職員数
東京都社会福祉協議会 児童・女性福祉連絡会	施設見学研修会（婦人保護施設）	6月	1名
	施設見学研修会（乳児院）	9月	1名
東京都社会福祉協議会 母子福祉部会	初任者研修会	2月	1名
東京都社会福祉協議会 東京ボランティア市民活動センター	社会福祉施設でボランティアを受け入れるための募集のステップと継続のコツ	7月	1名
東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター	平成30年度福祉施設経営研修 施設長の為の財務マネジメント初級課程	8月	1名
	子ども達の育ちを支える小児健康管理	11月	1名
一般財団法人 東京都ひとり親家庭 福祉協議会	相談支援における面接技法 ～心構えとその接し方, 自己理解と他者理解～	6月	1名

NPO法人パルレ	発達特性の理解と対応 ステップアップ講座2018 ①気になる子の育て方 育て上げる支援 ②気になる言動の見立て ③集団の場で子どもが求める	9月 9月 11月	1名 1名 2名
白梅学園大学・白梅学園短期大学地域交流研究センター	今、保育に問われていること 保育内容―実施の再検討―新指針・要領をふまえて	12月	2名
社会福祉法人横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター	児童福祉施設心理担当職員合同研修	2月	1名
しながわ子ども食堂ネットワーク 品川区社会福祉協議会、品川区	しながわ子ども食堂フォーラム2018 ～地域で支え、育てる子ども食堂～	6月	3名
しながわチャイルドライン事務局	平成30年度しながわチャイルドライン2018公開講座（B） 子どものからだの成長と性	11月	2名
東京都小児保健協会	感染対策と育児支援	11月	1名
東京都食品衛生協会	食品衛生責任者養成講習会	6月	1名
りんごの木 夏季セミナー	子どもと子どものつながり	8月	1名

4、外部機関による研修（子育て支援センター）

実施機関	研修名	参加時期	職員数
東京都福祉保健局	虐待対策ワーカー研修	通年 12回	1名
日本子どもソーシャルワーク協会	東京子育て応援事業 子育て支援者対象 養育研修	6月	2名
しながわ子ども食堂ネットワーク 品川区社会福祉協議会、品川区	しながわ子ども食堂フォーラム2018 ～地域で支え、育てる子ども食堂～	6月	1名
子ども心の診療ネットワーク事業 中央拠点病院	厚生労働省 母子保健医療対策総合支援事業 子ども心の心と性	7月	2名
東京都福祉保健局	平成30年度地域子育て支援研修 地域子育て支援機関研修【入門研修】	9月	1名

荒川区	子育て講演会 2歳と思春期	11月	1名
品川区 思春期講演会	もしかしてうちのこネット依存?!	12月	1名
品川児童相談所	児童虐待への専門機関の対応について	2月	8名
社会福祉法人横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター	平成30年度 テーマ別研修 配偶者間暴力をめぐって	3月	1名

5、外部機関による研修（ファミリー・サポート・センター）

実施機関	研修名	参加 時期	職員 数
東京都	ファミリー・サポート・センター事業におけるヒヤリハットの収集および活用実践セミナー	11月	1名

〈別表４〉

家庭あんしんセンター防災訓練報告

月	日	想定	状況想定	訓練内容	参加者
4	24	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員2名、利用者7名
5	24	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員4名、利用者15名
6	26	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者8名
7	13	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員4名、利用者12名
8	23	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者13名
9	14	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員4名、利用者24名
10	23	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者21名
11	16	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者15名
12	17	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者0名
1	30	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者15名
2	22	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者6名
3	18	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者5名

※普通自衛消防力検定（荏原消防署立ち合い） 10月30日実施【合格】

※偶数月はひまわり荘における防災訓練

奇数月はひまわり荘とトワイライトステイによる防災訓練

<別表5>

平成30年度 家庭あんしんセンターヒヤリハット報告・事故報告の発生の状況

	ヒヤリハット報告				
	ひまわり	子育て短期	子育て支援	ファミサポ	合計
4月	5	0	0	0	5
5月	1	0	0	0	1
6月	1	1	0	0	2
7月	0	1	0	0	1
8月	1	0	0	0	1
9月	1	3	0	0	4
10月	2	0	0	0	2
11月	2	0	0	0	2
12月	2	0	0	0	2
1月	1	0	0	0	1
2月	2	0	0	0	2
3月	1	0	0	0	1
合計	19	5	0	0	24

転倒、擦り傷、道路への飛び出し、母子の在所確認等

	事故報告				
	ひまわり	子育て短期	子育て支援	ファミサポ	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	1	0	0	1
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	0	1

品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業報告

1. サービス向上について

平成31年3月開所の1階貸出部分は、安全・安心を基本とし、快適で清潔感あふれる施設、誰もが気軽に立ち寄り過ごすことができる施設の実現を目指しました。住民が求めるニーズに適した施設となるように地域懇談会を実施しました。

2. 業務運営への取り組み方針について

区の指導の下、安全なサービスの提供になるように施設に適合したマニュアル作成を適宜進めています。

3. 職員育成について

非常勤職員に対し、人権・情報管理・お客様対応を内容とした研修を行いました。

4. 利用者の意見・要望の収集

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、情報の収集に努めました。

5. 防災対策について

消防計画に則り、防災訓練及び消火訓練を平成31年度から実施できるように避難経路等の作成と手順の計画書を作成しました。

6. 子育て支援事業の準備について

オアシスルーム・ポップンルーム両事業の4月からの円滑なスタートのため、準備を進めました。